

**八尾市こころの健康に関する市民意識調査  
調査結果報告書(案)**

令和 5 年 10 月

八尾市

# 目 次

I 調査概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	1
II 回答者の属性.....	2
(1)性別.....	2
(2)年齢.....	2
(3)家族構成.....	3
(4)職業.....	3
III 調査結果.....	4
1 こころの健康について.....	4
(1)こころの健康への関心度.....	4
(2)最近2週間の精神状態.....	5
(3)実施しているストレス解消法.....	11
(4)「自分の居場所(こころの安らぐ場所)がない」と感じることもあるか.....	18
(5)ソーシャルキャピタル.....	19
2 日常の悩みやストレスについて.....	28
(1)悩みやストレスの有無.....	28
(2)悩みやストレスの内容.....	29
(3)悩みやストレスの相談状況.....	32
(4)悩みやストレスの相談相手.....	33
(5)インターネットの使用状況.....	36
(6)インターネットを介したコミュニケーションの頻度.....	37
(7)インターネットを介した悩みの相談状況.....	38
(8)ソーシャルサポート.....	39
(9)新型コロナウイルス感染症流行による影響.....	45
3 自殺について.....	54
(1)自殺に関する認識.....	54
4 相談することについて.....	64
(1)自殺を考えたことがあるか.....	64
(2)自殺を考えたときに相談をしたか.....	65
(3)自殺を考えたときにだれに相談したか.....	66
(4)自殺を考えたときに相談しなかったのはなぜか.....	68
(5)八尾市保健所の相談窓口の認知度.....	70
(6)相談窓口の認知度.....	72
5 自殺対策・予防等について.....	84
(1)身近な方の自殺を経験した方の有無.....	84
(2)身近な方の自殺を経験した方に起きた影響.....	85

# I 調査概要

## 1. 調査目的

本市における自殺対策を推進していくための総合的な計画「八尾市自殺対策推進計画～ほっとかれへん、自殺予防はみんなの思い～(第2次)」を策定するにあたり、こころの健康に関する市民の現状や考えなどを把握し、自殺対策に限らず、総合的なこころの健康づくりを推進するための基礎資料として活用するために調査を実施しました。

## 2. 調査設計

- ①調査対象：八尾市在住の18歳以上市民3,000人
- ②抽出方法：無作為抽出
- ③調査方法：郵送法
- ④調査期間：令和5年8月10日～8月25日

## 3. 回収結果

標本数	実質配付数	有効回答数	有効回答率
3,000	2,992	882	29.5%

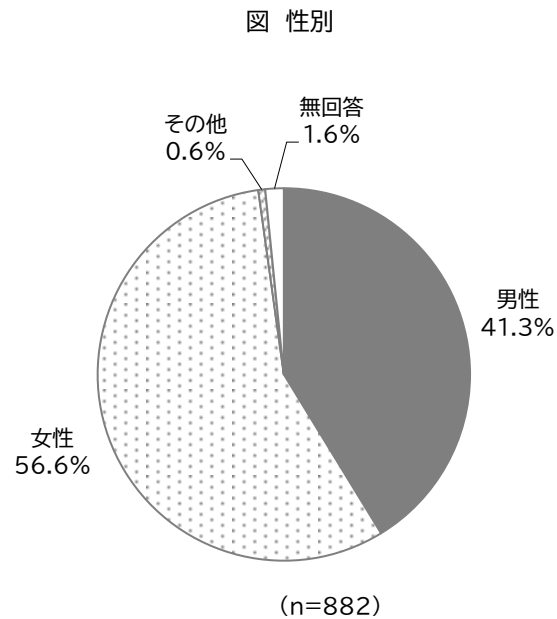
## 4. 報告書の見方

- ・ 図表中の「n」とは、集計対象者実数(あるいは該当者対象実数)のことである。
- ・ 図表の数値(%)は、すべて小数点以下第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- ・ 1つの設問に2つ以上の回答を求めた設問では、比率の合計が100%を超える。

## II 回答者の属性

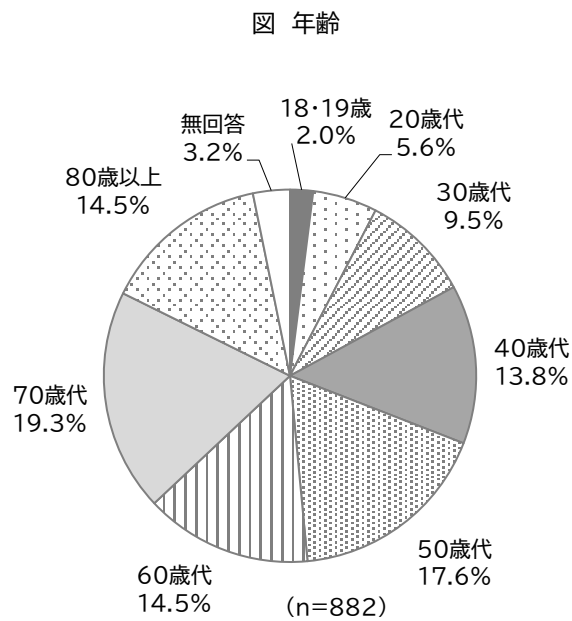
### (1)性別

回答者の性別をみると、「男性」が41.3%、「女性」が56.6%、「その他」が0.6%となっています。



### (2)年齢

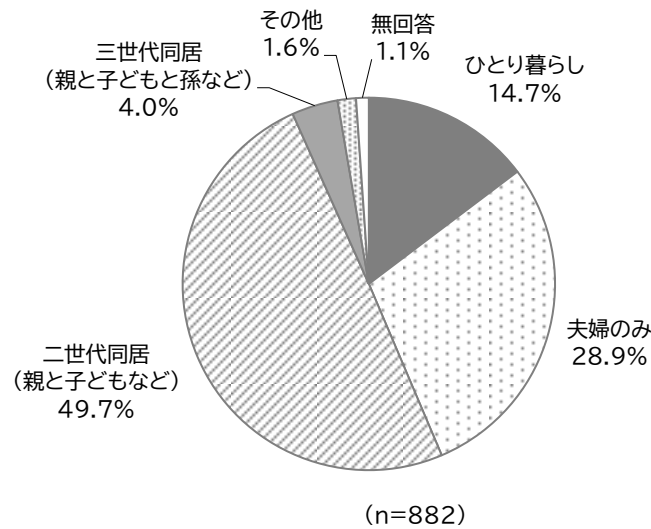
回答者の年齢をみると、「70歳代」が19.3%で最も高く、次いで「50歳代」が17.6%、「60歳代」と「80歳以上」がともに14.5%、「40歳代」が13.8%、「30歳代」が9.5%となっています。



### (3) 家族構成

回答者の年齢をみると、「70 歳代」が 19.3%で最も高く、次いで「50 歳代」が 17.6%、「60 歳代」と「80 歳以上」がともに 14.5%、「40 歳代」が 13.8%、「30 歳代」が 9.5%となっています。

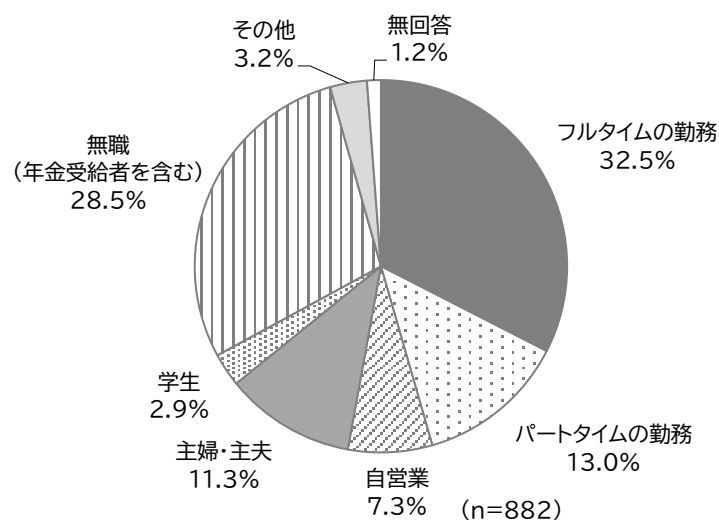
図 家族構成



### (4) 職業

回答者の職業をみると、「フルタイムの勤務」が 32.5%で最も高く、次いで「無職(年金受給者を含む)」が 28.5%、「パートタイムの勤務」が 13.0%、「主婦・主夫」が 11.3%、「自営業」が 7.3%となっています。

図 職業



### Ⅲ 調査結果

#### 1 こころの健康について

##### (1)こころの健康への関心度

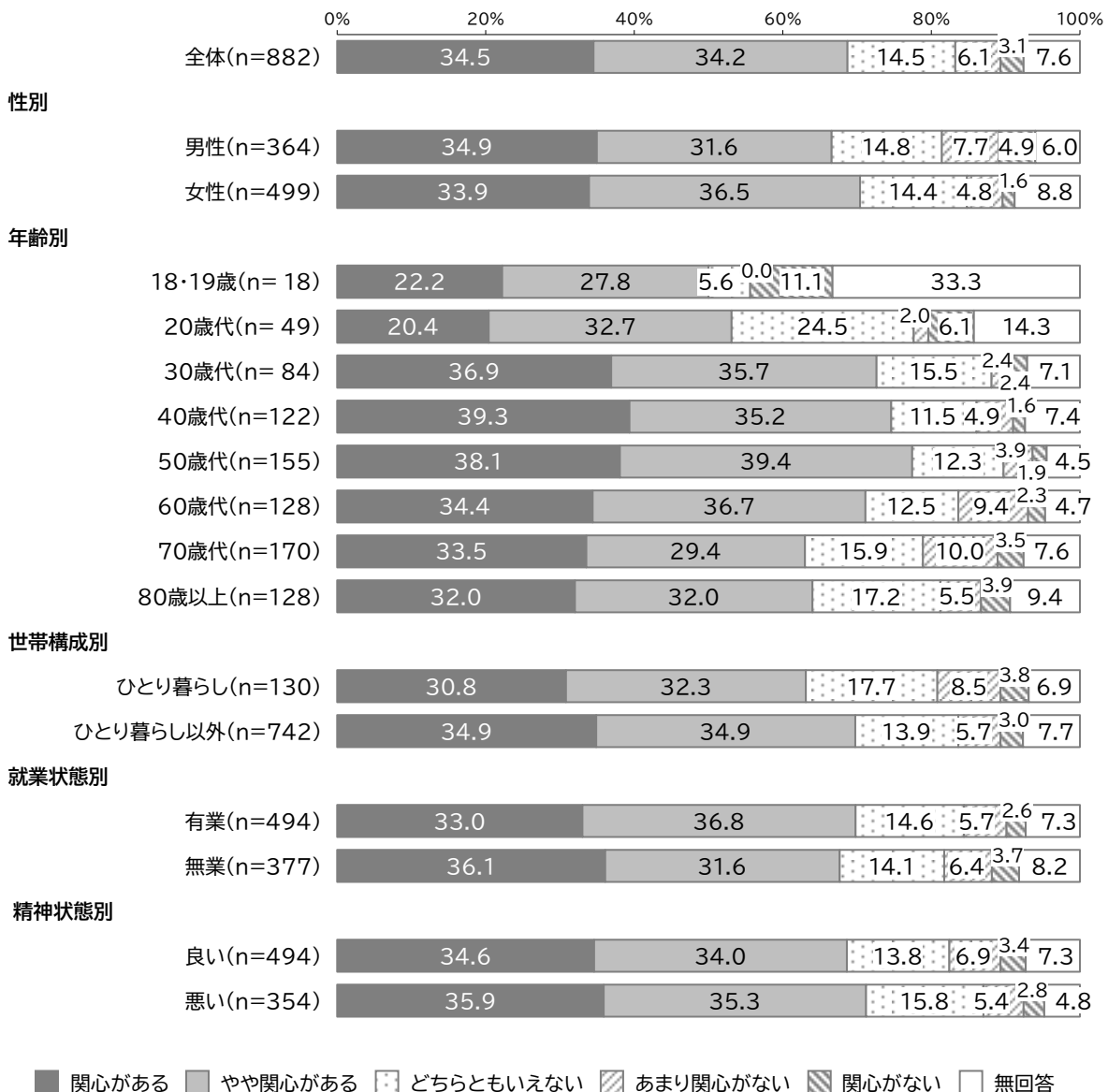
問1 あなたは、こころの健康にどのくらい関心がありますか。(〇は1つ)

こころの健康への関心度をみると、「関心がある」が34.5%で最も高く、次いで「やや関心がある」が34.2%、「どちらともいえない」が14.5%となっています。『関心がある』(「関心がある」「やや関心がある」の合計)は約7割を占めています。

性別にみると、女性の『関心がある』は、男性よりも3.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、『関心がある』は30歳代～60歳代が他の年代に比べて高く、50歳代で77.5%となっています。

図 こころの健康への関心度

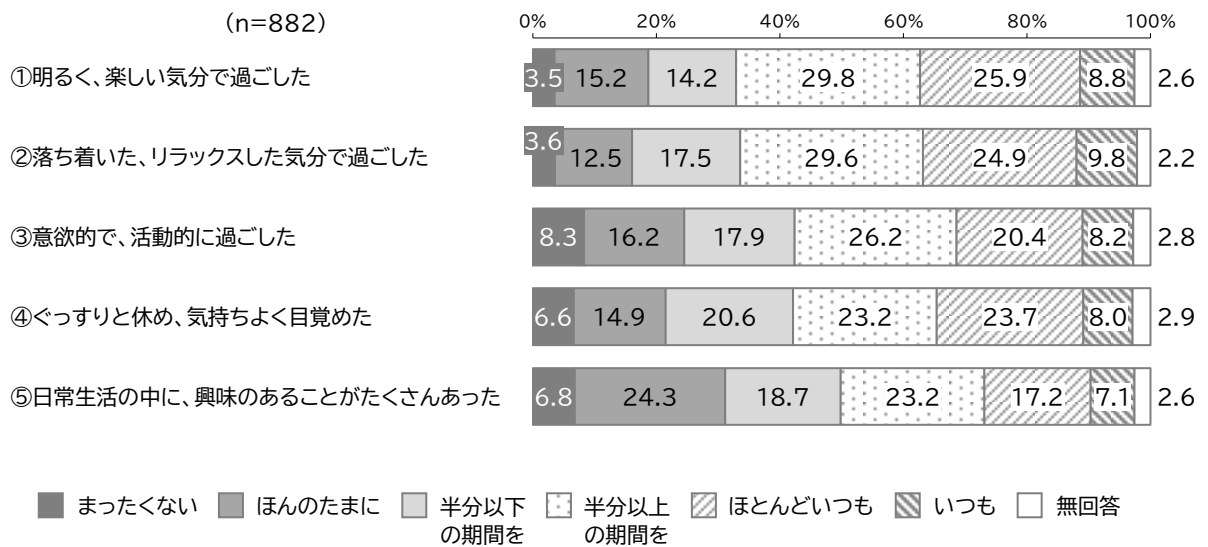


## (2)最近 2 週間の精神状態

問2 以下の5つの各項目について、最近2週間のあなたの状態に最も近いものに○をつけてください。(①から⑤について○はそれぞれ1つ)

最近 2 週間の精神状態をみると、いずれの項目も『半分以下の期間』(「まったくない」「ほんのたまに」「半分以下の期間を」の合計)は、3割以上を占めており、「⑤日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」は約半数となっています。

図 最近2週間の精神状態



### ①明るく、楽しい気分で過ごした

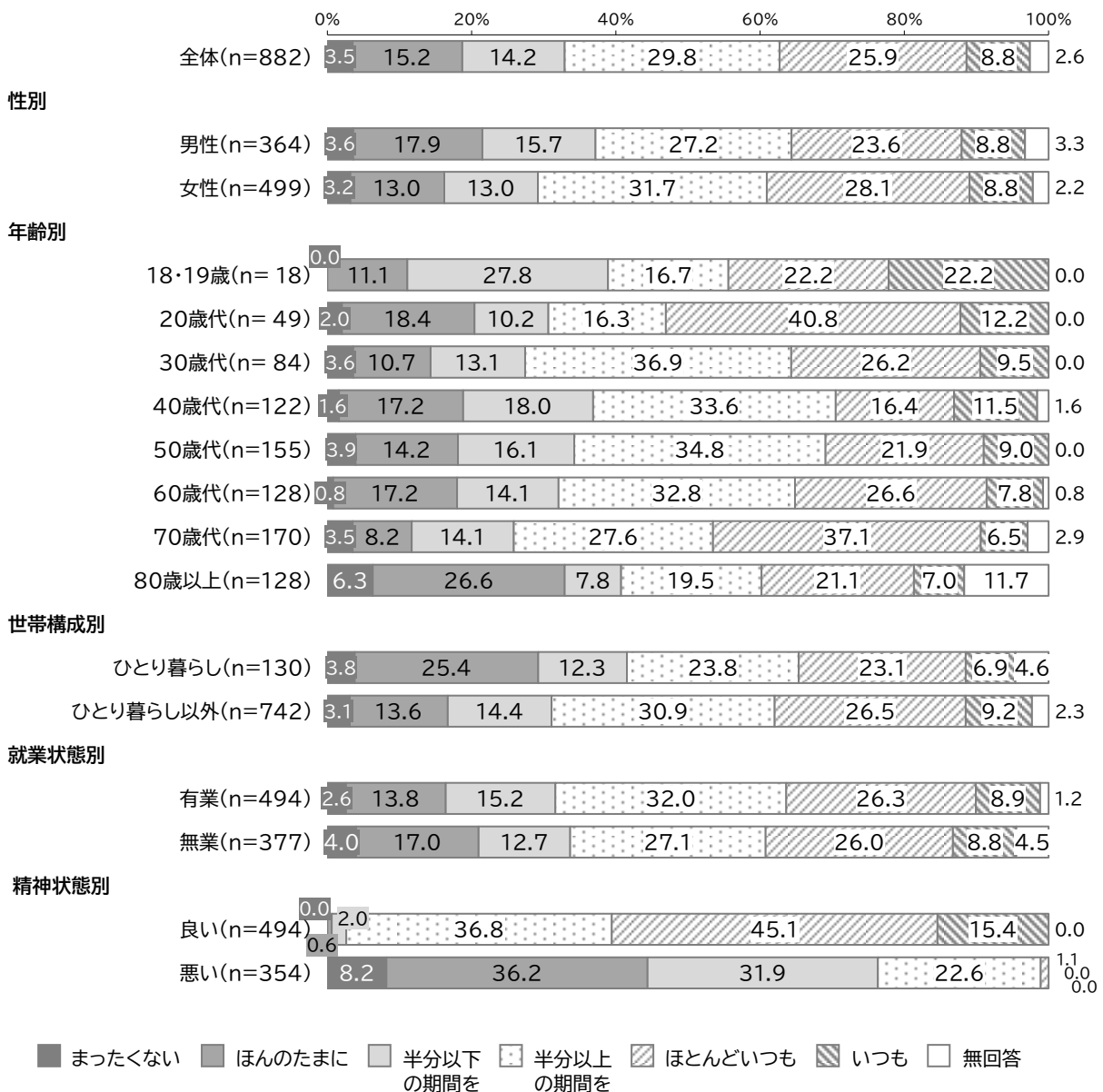
「半分以上の期間を」が 29.8%で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 25.9%、「ほんのたまに」が 15.2%となっています。『半分以下の期間』は 32.9%となっています。

性別にみると、男性の『半分以下の期間』は、女性よりも 8.0 ポイント高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の『半分以下の期間』は、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 10 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『半分以下の期間』は 76.3%となっています。

図 ①明るく、楽しい気分で過ごした





## ②落ち着いた、リラックスした気分で過ごした

「半分以上の期間を」が 29.6%で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 24.9%、「半分以上の期間を」が 17.5%となっています。『半分以上の期間』は 33.6%となっています。

年齢別にみると、40歳代で『半分以上の期間』が4割台と、他の年代に比べて高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の『半分以上の期間』は、ひとり暮らし以外の世帯よりも 7.6 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『半分以上の期間』は 74.1%となっています。

図 ②落ち着いた、リラックスした気分で過ごした



### ③意欲的で、活動的に過ごした

「半分以上の期間を」が 26.2%で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 20.4%、「半分以上の期間を」が 17.9%となっています。『半分以下の期間』は 42.4%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど『半分以下の期間』が高くなる傾向にあり、80歳以上で約半数となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の『半分以下の期間』は、ひとり暮らし以外の世帯よりも 10ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『半分以下の期間』は 86.2%となっています。

図 ③意欲的で、活動的に過ごした



#### ④ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた

「ほとんどいつも」が 23.7%で最も高く、次いで「半分以上の期間を」が 23.2%、「半分以下の期間を」が 20.6%となっています。『半分以下の期間』は 42.1%となっています。

年齢別にみると、『半分以下の期間』は 40 歳代～50 歳代が他の年代に比べてやや高く、50 歳代で 46.5% となっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『半分以下の期間』は 83.8%となっています。

図 ④ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた



### ⑤日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

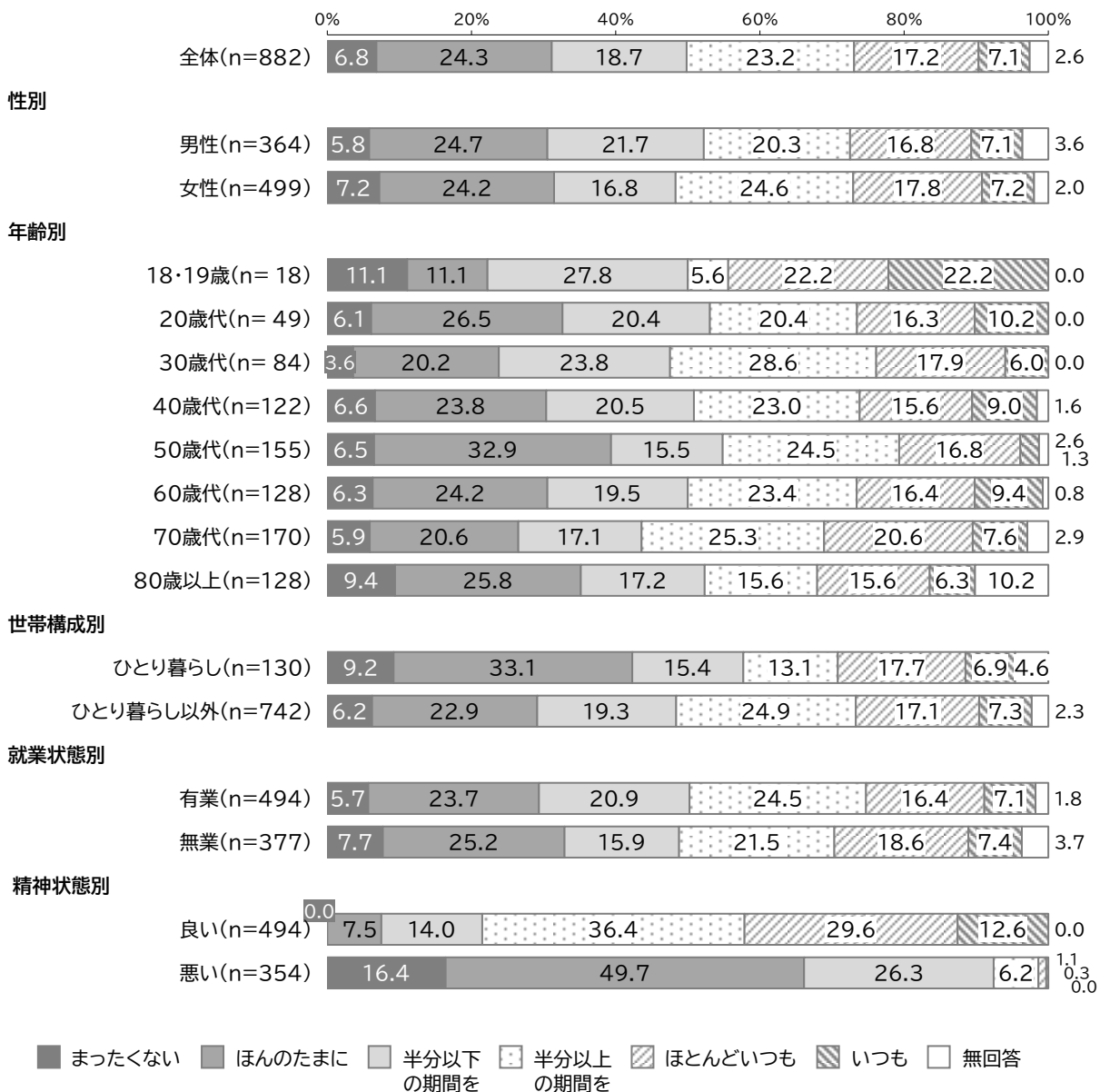
「ほんのたまに」が 24.3%で最も高く、次いで「半分以上の期間を」が 23.2%、「半分以下の期間を」が 18.7%となっています。『半分以下の期間』は 49.8%となっています。

年齢別にみると、50 歳代で「ほんのたまに」が3割台と、他の年代に比べて高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の『半分以下の期間』は、ひとり暮らし以外の世帯よりも 9.3 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『半分以下の期間』は 92.4%となっています。

図 ⑤日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

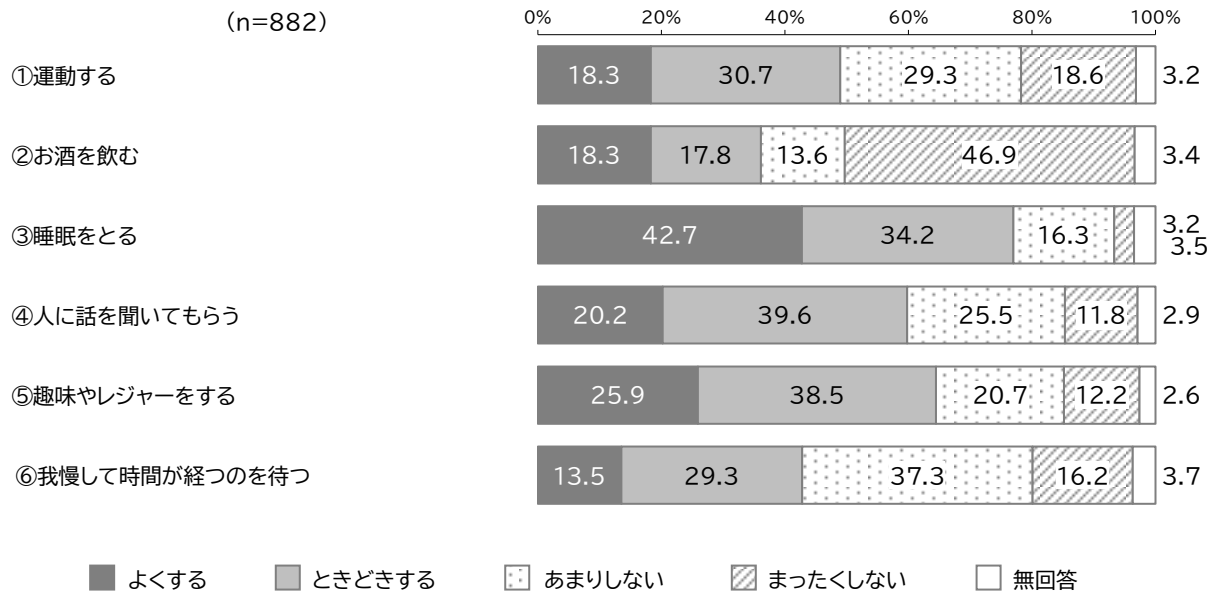


### (3)実施しているストレス解消法

問3 あなたは、日常生活の不満、悩み、苦勞、ストレス等を解消するためにどのようなことをしていますか。(①から⑥について、それぞれ〇は1つ)

実施しているストレス解消法をみると、『する』(「よくする」「ときどきする」の合計)は、「③睡眠をとる」(76.9%)、「⑤趣味やレジャーをする」(64.4%)、「④人に話を聞いてもらう」(59.8%)の順で高くなっています。

図 実施しているストレス解消法



## ①運動する

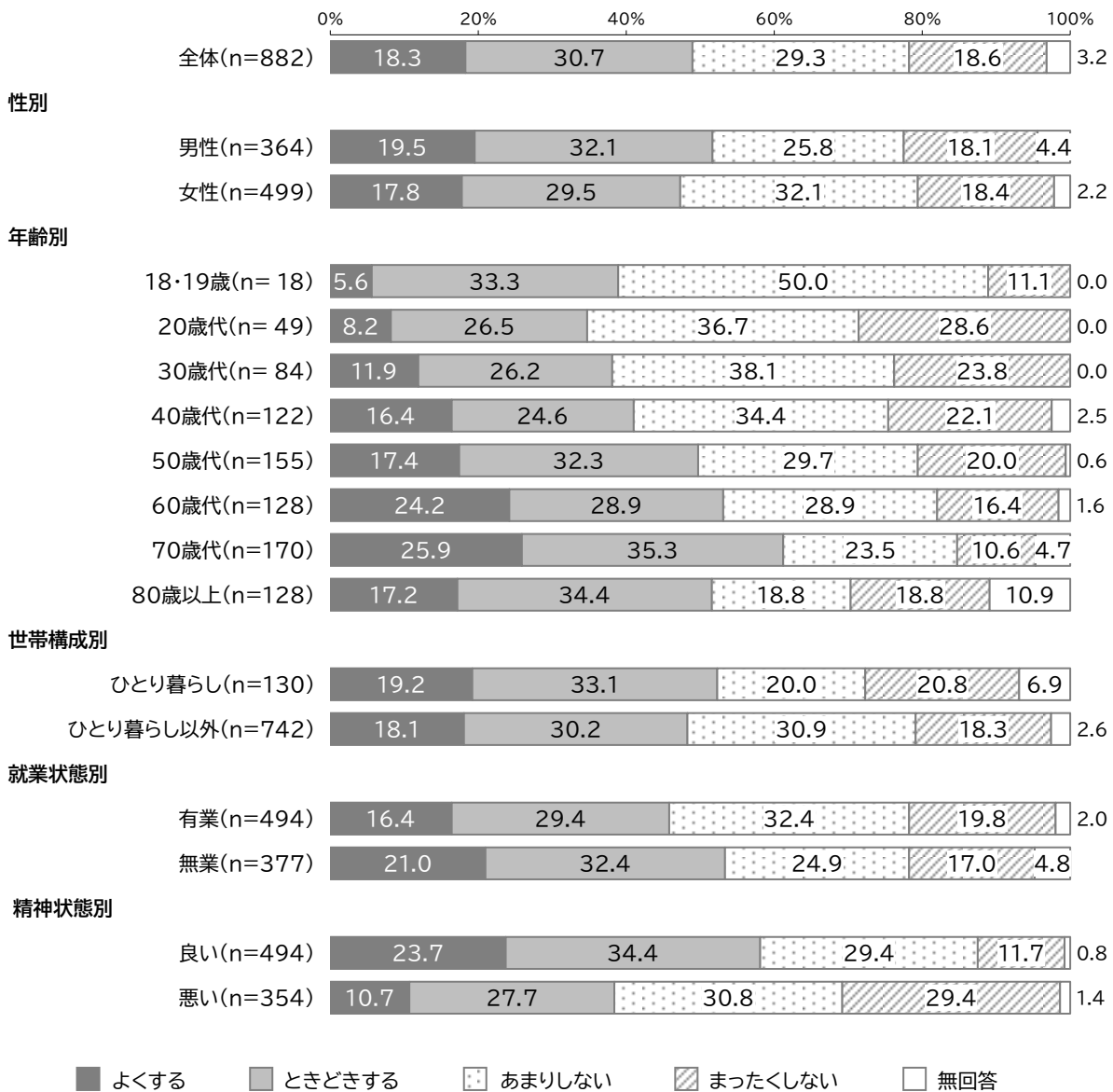
「ときどきする」が30.7%で最も高く、次いで「あまりしない」が29.3%、「まったくしない」が18.6%、「よくする」が18.3%となっています。『する』は49.0%となっています。

性別にみると、男性の『する』は、女性よりも4.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど『する』が高くなる傾向にあり、70歳代で6割程度となっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『する』は、良いグループよりも約20ポイント低くなっています。

図 ①運動する



## ②お酒を飲む

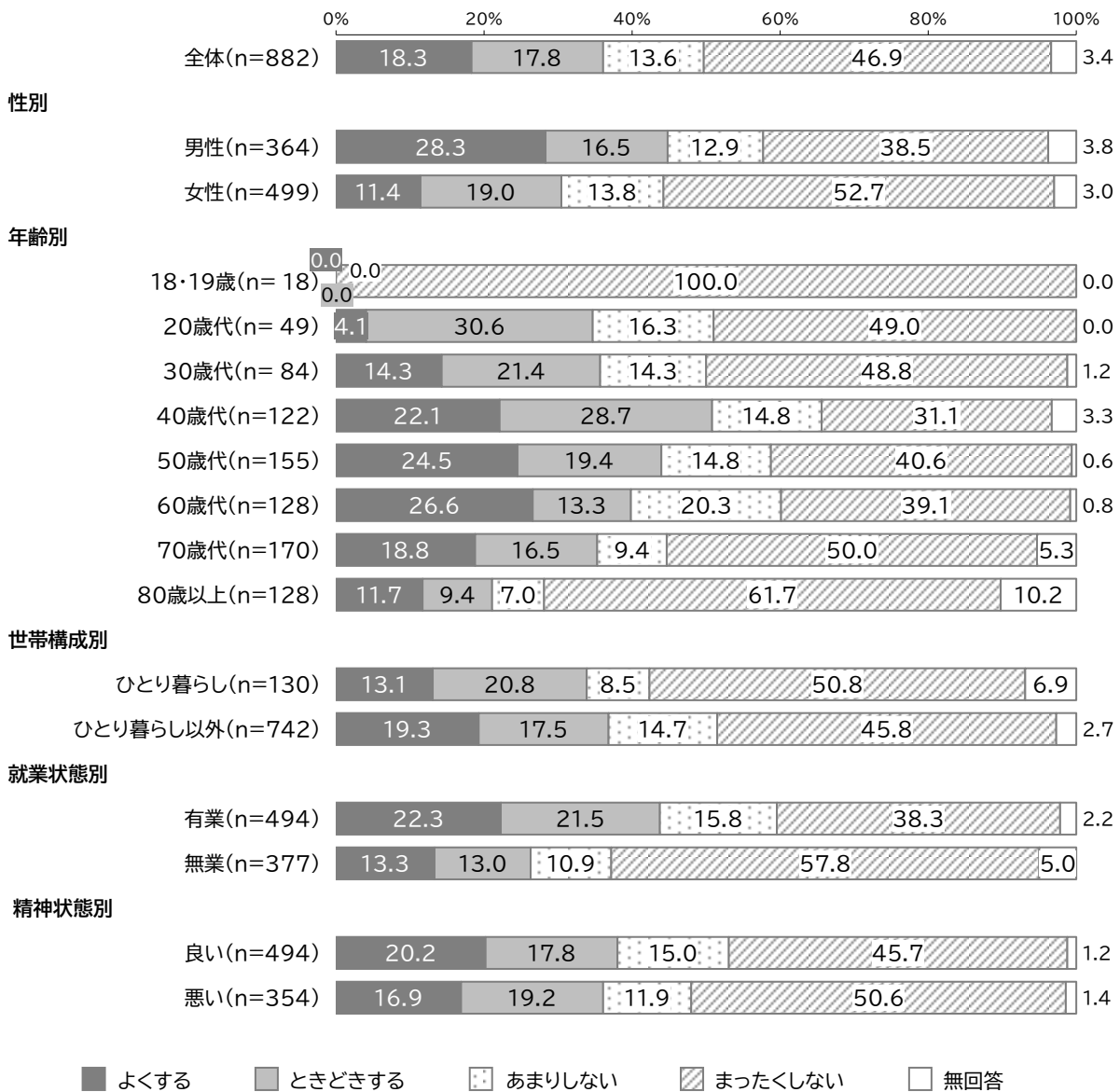
「まったくしない」が46.9%で最も高く、次いで「よくする」が18.3%、「ときどきする」が17.8%、「あまりしない」が13.6%となっています。『する』は36.1%となっています。

性別にみると、男性の『する』は、女性よりも10ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、『する』は40歳代～50歳代が他の年代に比べて高く、40歳代で約半数となっています。

就業状態別にみると、有業者の『する』の割合は、無業者の約2倍となっています。

図 ②お酒を飲む



### ③睡眠をとる

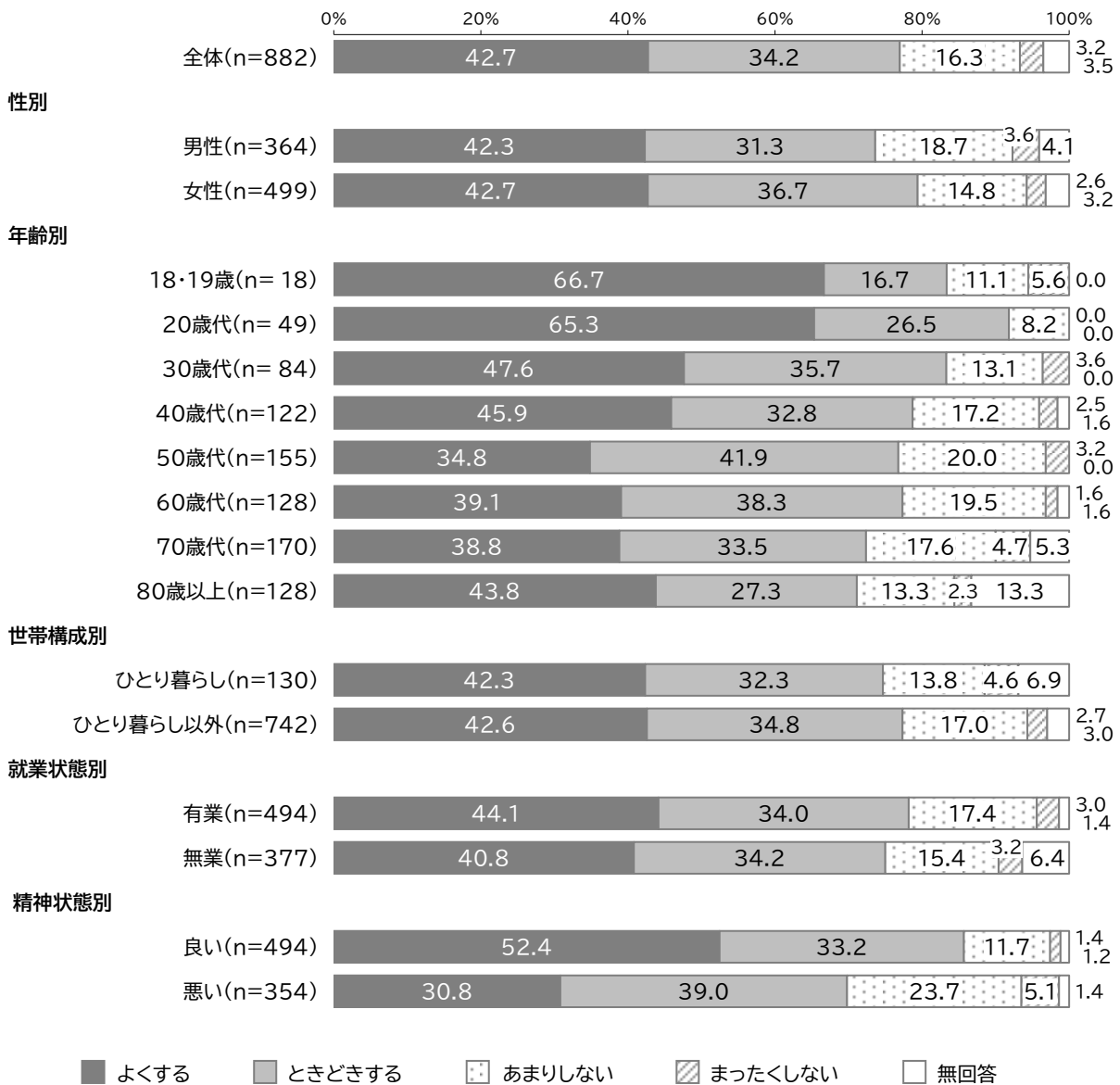
「よくする」が 42.7%で最も高く、次いで「ときどきする」が 34.2%、「あまりしない」が 16.3%となっています。『する』は 76.9%となっています。

性別にみると、女性の『する』は、男性よりも 5.8 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど『する』が高くなる傾向にあり、20 歳代で9割以上となっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『する』は、良いグループよりも約 15 ポイント低くなっています。

図 ③睡眠をとる





#### ④人に話を聞いてもらう

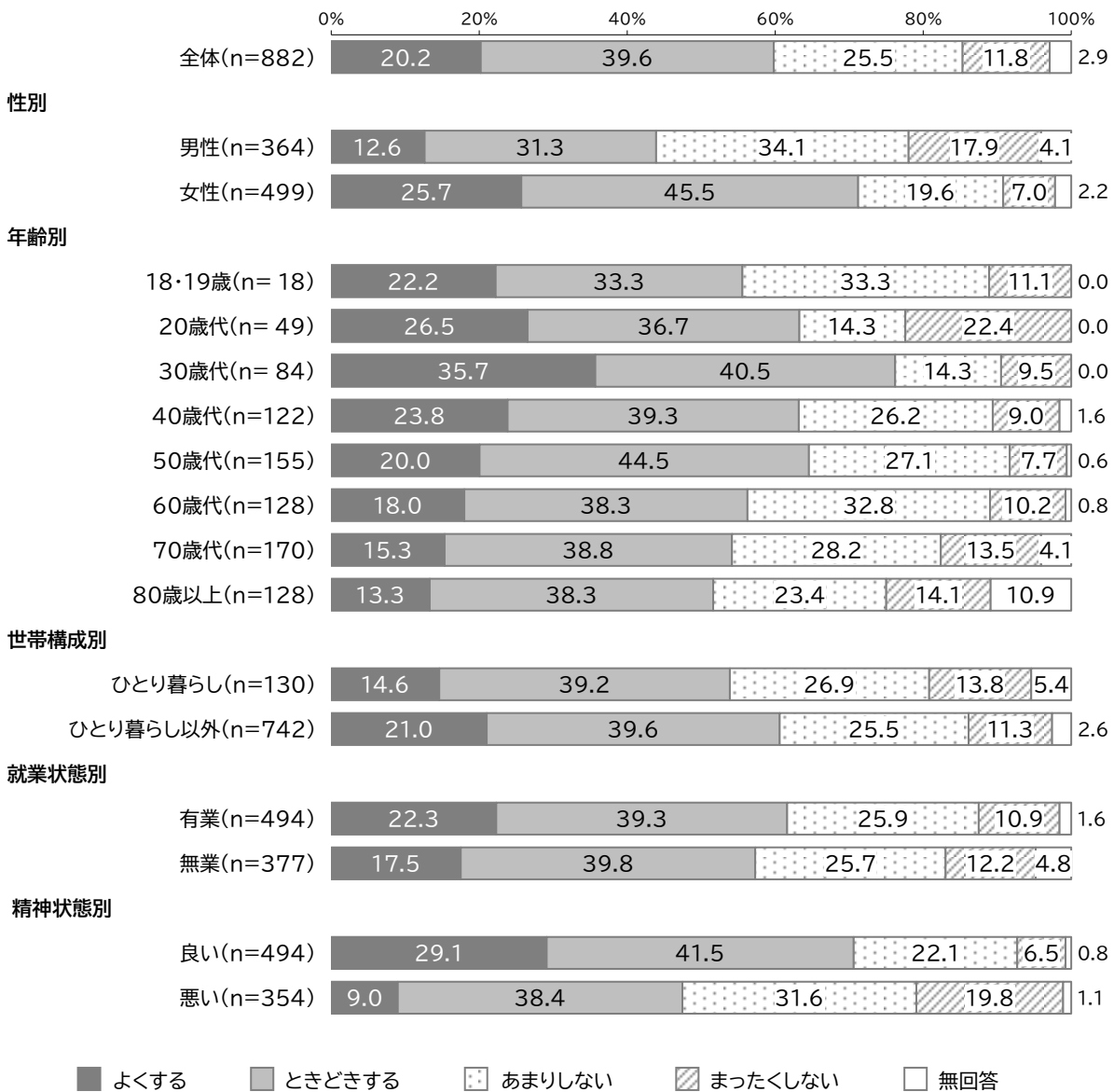
「ときどきする」が 39.6%で最も高く、次いで「あまりしない」が 25.5%、「よくする」が 20.2%となっています。『する』は 59.8%となっています。

性別にみると、女性の『する』は、男性よりも 20 ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど『する』が高くなる傾向にあり、30 歳代以下で7割台となっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『する』は、良いグループよりも 20 ポイント以上低くなっています。

図 ④人に話を聞いてもらう



⑤趣味やレジャーをする

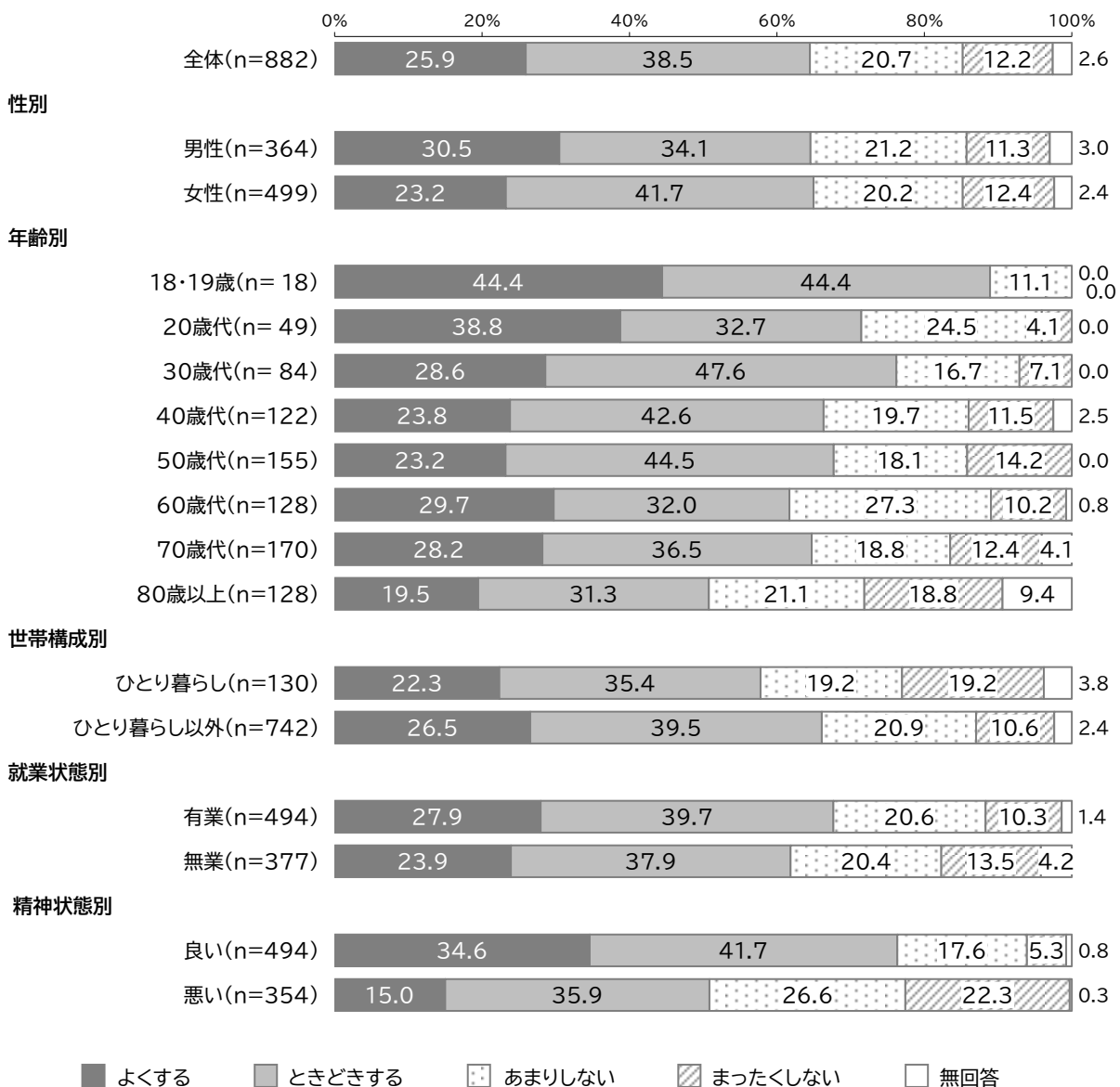
「ときどきする」が 38.5%で最も高く、次いで「よくする」が 25.9%、「あまりしない」が 20.7%となっています。『する』は 64.4%となっています。

性別にみると、男性の「よくする」は、女性よりも 7.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど『する』が高くなる傾向にあり、18・19 歳で9割程度となっています。

精神状態別にみると、悪いグループの「ある」は、良いグループよりも 20 ポイント以上低くなっています。

図 ⑤趣味やレジャーをする



## ⑥我慢して時間が経つのを待つ

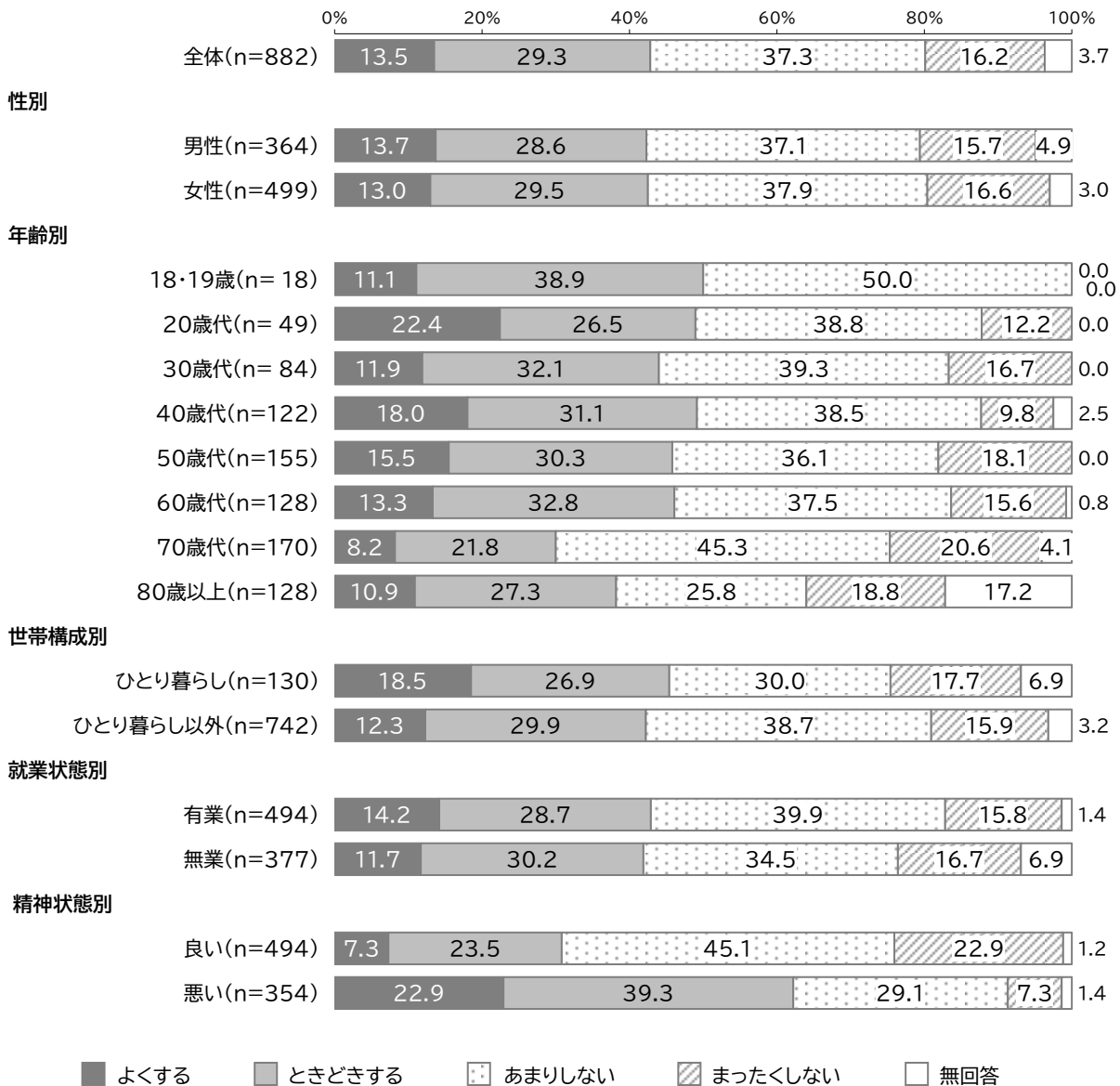
「あまりしない」が37.3%で最も高く、次いで「ときどきする」が29.3%、「まったくしない」が16.2%、「よくする」が13.5%となっています。『する』は42.8%となっています。

年齢別にみると、70歳以上で『する』が他の年代と比べてやや低く、70歳代で3割となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「よくする」は、ひとり暮らし以外の世帯よりも6.2ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『する』の割合は、良いグループの2倍以上となっています。

図 ⑥我慢して時間が経つのを待つ



#### (4)「自分の居場所(こころの安らぐ場所)がない」と感じることもあるか

問4 あは、普段の生活の中で「自分の居場所(こころの安らぐ場所)がない」と感じることはありませんか。(〇は1つ)

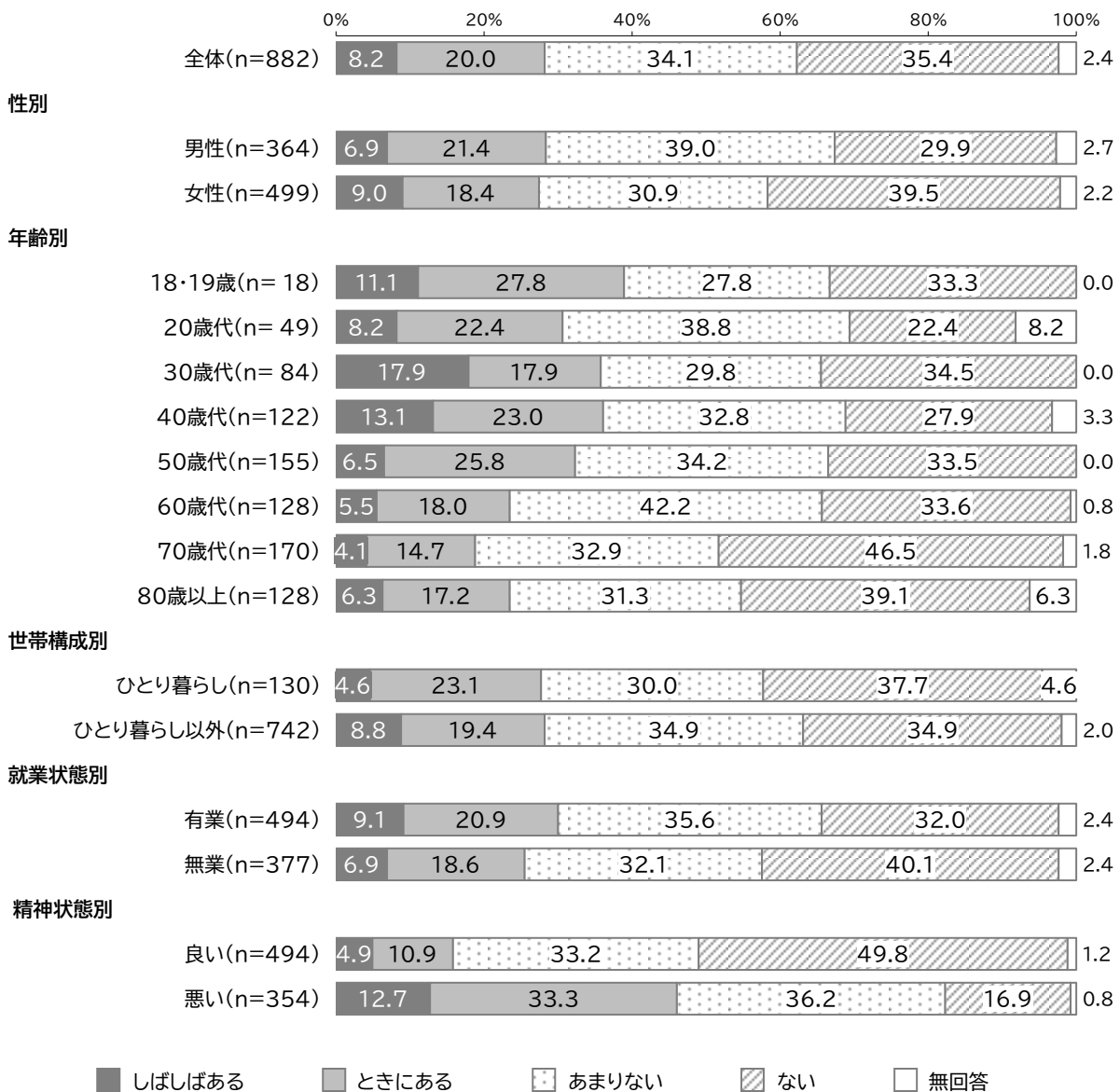
「自分の居場所(こころの安らぐ場所)がない」と感じることをみると、「ない」が35.4%で最も高く、次いで「あまりない」が34.1%、「ときにある」が20.0%となっています。『ある』(「しばしばある」「ときにある」の合計)は3割弱を占めています。

性別にみると、女性の「しばしばある」と「ない」が、それぞれ男性よりも高く、2極化の傾向があります。

年齢別にみると、年代が低くなるほど『ある』が高くなる傾向にあります。

精神状態別にみると、悪いグループの『ある』は、良いグループよりも30ポイント以上高くなっています。

図 「自分の居場所(こころの安らぐ場所)がない」と感じることもあるか

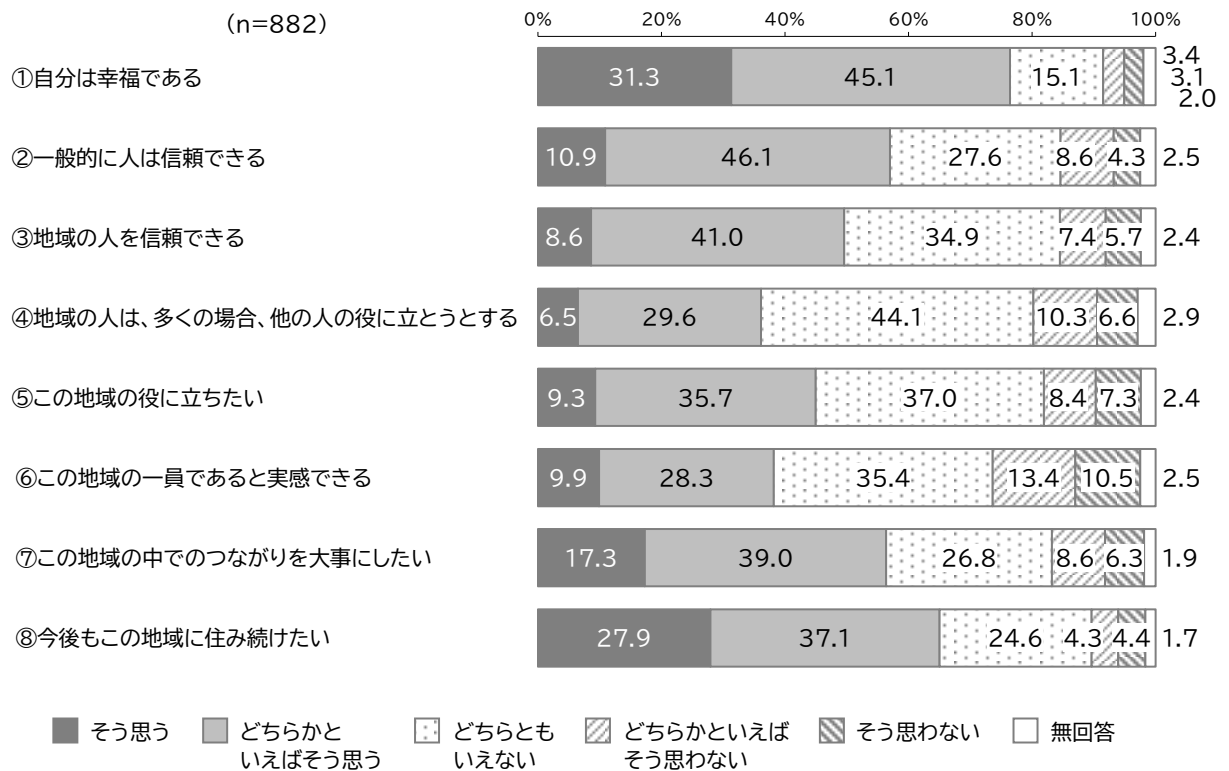


## (5) ソーシャルキャピタル

問5 次の項目について、あなたの考えに最も近い番号を選んでください。「地域」とは、お住まいの「町内」をイメージしています。(①から⑧について、それぞれ〇は1つ)

人との関係性や社会的なつながりを資源としてとらえる概念である社会関係資本(ソーシャルキャピタル)をみると、『そう思う』(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計)は「①自分は幸福である」「②一般的に人は信頼できる」「⑦この地域の中でのつながりを大事にしたい」「⑧今後もこの地域に住み続けたい」で半数を超えています。

図 ソーシャルキャピタル



### ①自分は幸福である

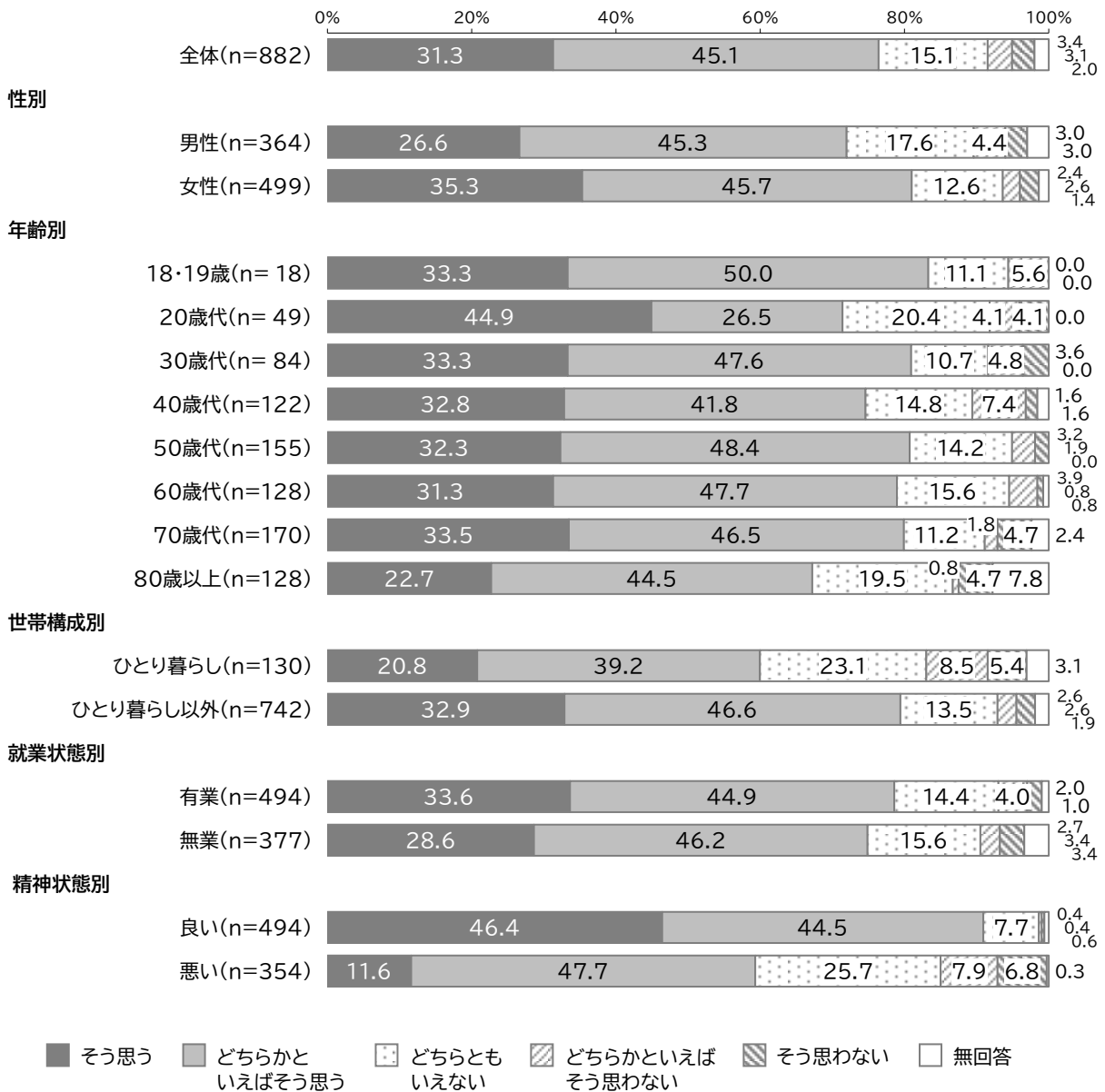
「どちらかといえばそう思う」が 45.1%で最も高く、次いで「そう思う」が 31.3%、「どちらともいえない」が 15.1%となっています。『そう思う』は 76.4%となっています。

性別にみると、女性の『そう思う』は、男性よりも 9.1 ポイント高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の『そう思う』は、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 20 ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『そう思う』は、良いグループよりも 30 ポイント以上低くなっています。

図 ①自分は幸福である



## ②一般的に人は信頼できる

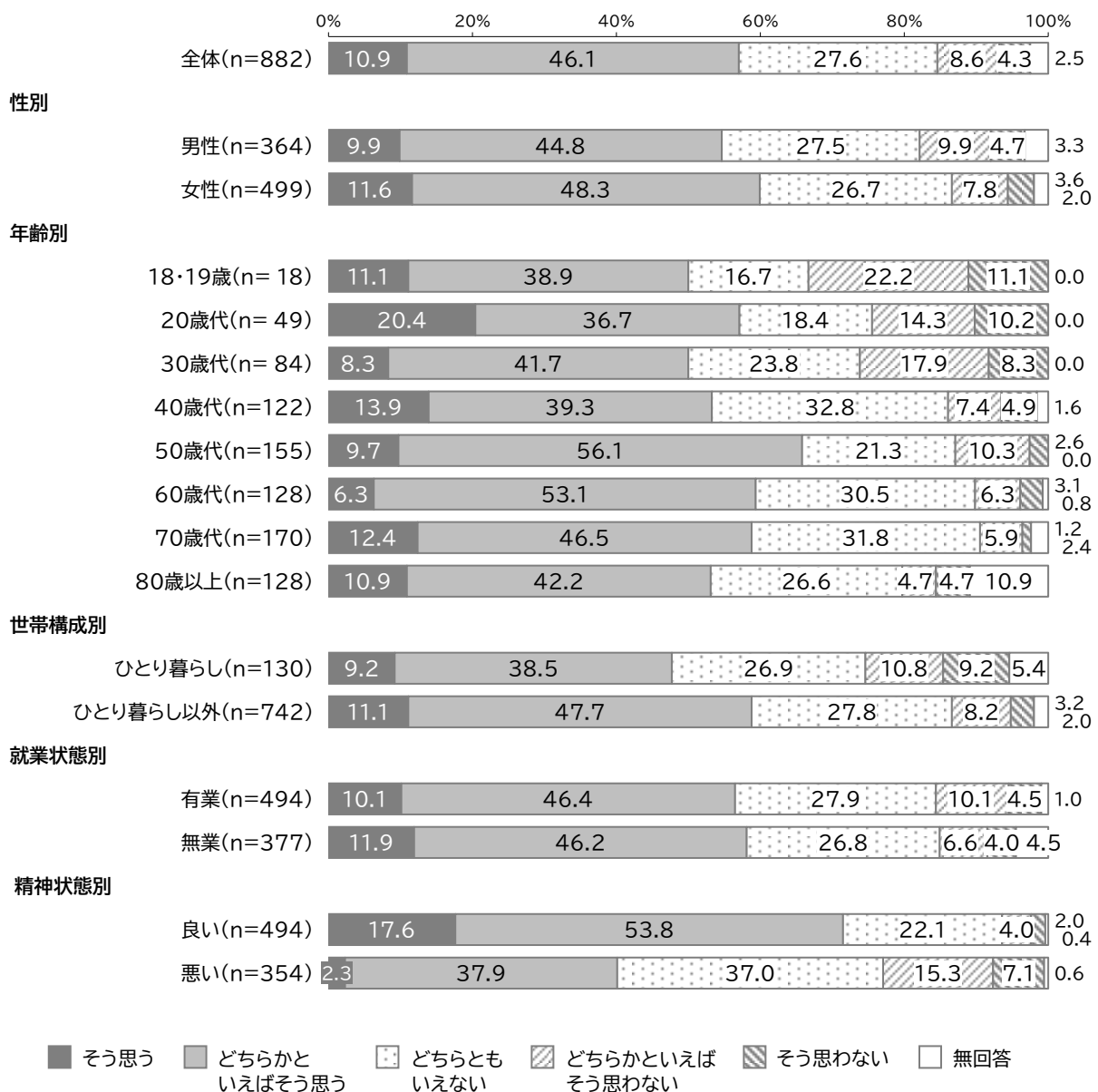
「どちらかといえばそう思う」が 46.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 27.6%、「そう思う」が 10.9%、「どちらかといえばそう思わない」が 8.6%となっています。『そう思う』は 57.0%となっています。

性別にみると、女性の『そう思う』は、男性よりも 5.2 ポイント高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の『そう思う』は、ひとり暮らし以外の世帯よりも 10 ポイント程低くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『そう思う』は、良いグループよりも 30 ポイント以上低くなっています。

図 ②一般的に人は信頼できる



### ③地域の人を信頼できる

「どちらかといえばそう思う」が41.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が34.9%、「そう思う」が8.6%、「どちらかといえばそう思わない」が7.4%となっています。『そう思う』は49.6%となっています。

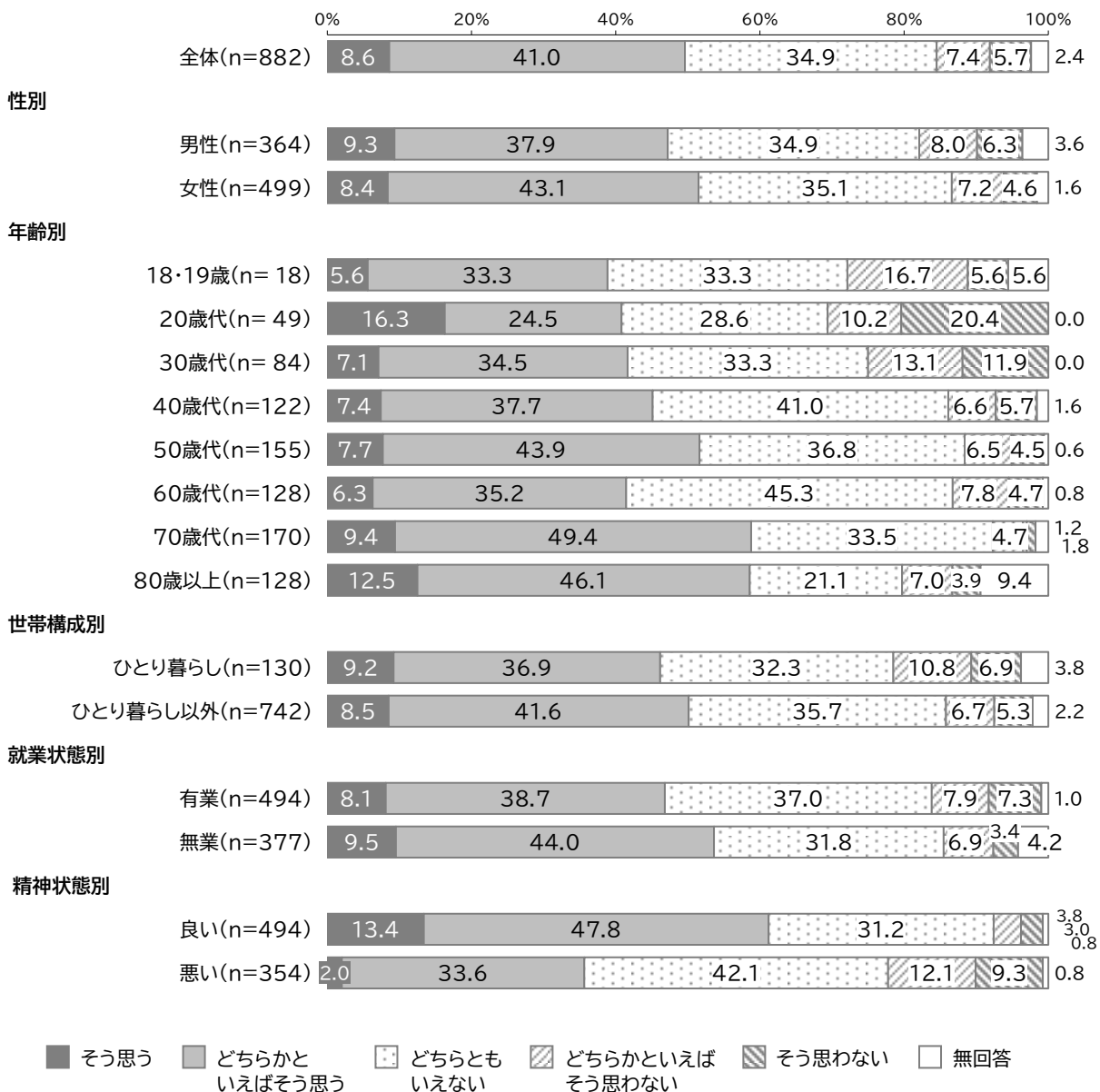
性別にみると、女性の『そう思う』は、男性よりも4.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど『そう思う』が高くなる傾向にあり、70歳以上で6割台となっています。

就業状態別にみると、無業者の『そう思う』は、有業者よりも6.7ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『そう思う』は、良いグループよりも約25ポイント低くなっています。

図 ③地域の人を信頼できる





#### ④地域の人は、多くの場合、他の人の役に立とうとする

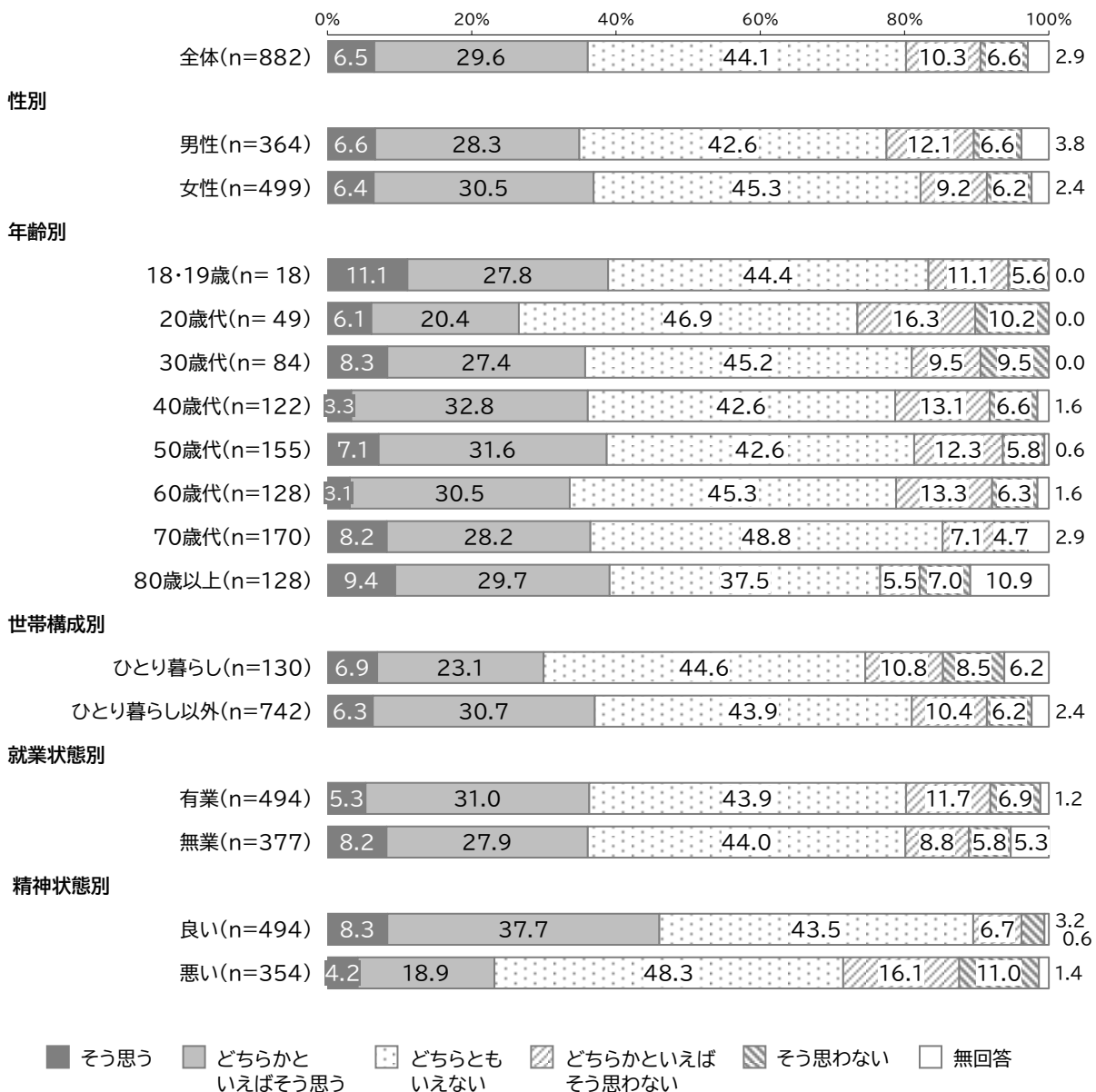
「どちらともいえない」が44.1%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が29.6%、「どちらかといえばそう思わない」が10.3%、「そう思わない」が6.6%となっています。『そう思う』は36.1%となっています。

年齢別にみると、20歳代で『そう思う』が26.5%と、他の年代に比べて低くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「どちらかといえばそう思う」は、ひとり暮らし以外の世帯よりも7.6ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『そう思う』は、良いグループよりも20ポイント以上低くなっています。

図 ④地域の人は、多くの場合、他の人の役に立とうとする



⑤この地域の役に立ちたい

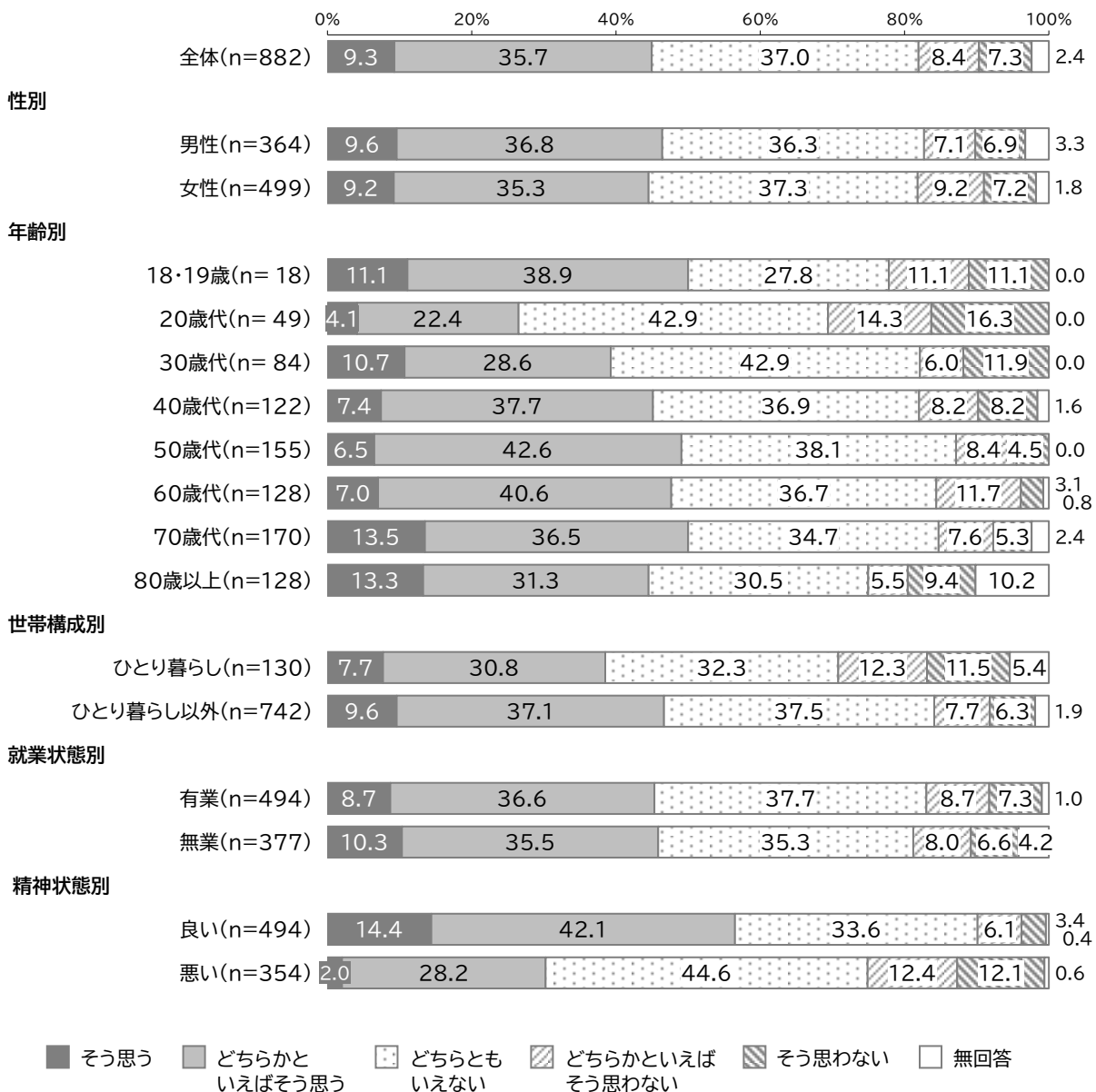
「どちらともいえない」が37.0%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が35.7%、「そう思う」が9.3%、「どちらかといえばそう思わない」が8.4%となっています。『そう思う』は45.0%となっています。

年齢別にみると、20歳代で『そう思う』が26.5%と、他の年代に比べて低くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「どちらかといえばそう思う」は、ひとり暮らし以外の世帯よりも6.3ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『そう思う』は、良いグループよりも25ポイント以上低くなっています。

図 ⑤この地域の役に立ちたい



⑥この地域の一員であると実感できる

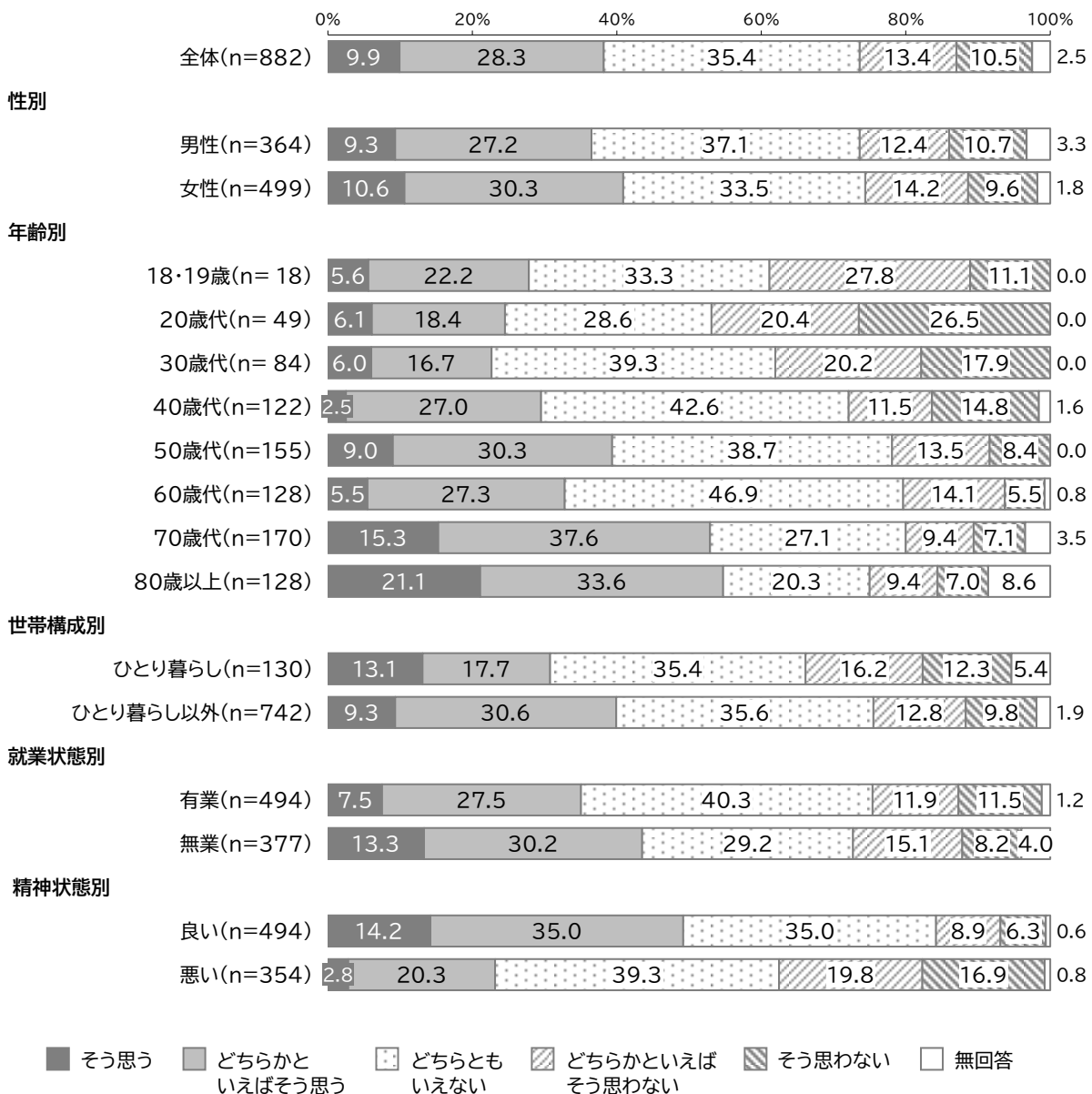
「どちらともいえない」が 35.4%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.3%、「どちらかといえばそう思わない」が 13.4%、「そう思わない」が 10.5%となっています。『そう思う』は 38.2%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど『そう思う』が高くなる傾向にあり、70歳以上で5割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の『そう思う』は、ひとり暮らし以外の世帯よりも 9.1ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『そう思う』は、良いグループよりも 25ポイント以上低くなっています。

図 ⑥この地域の一員であると実感できる



⑦この地域の中でのつながりを大事にしたい

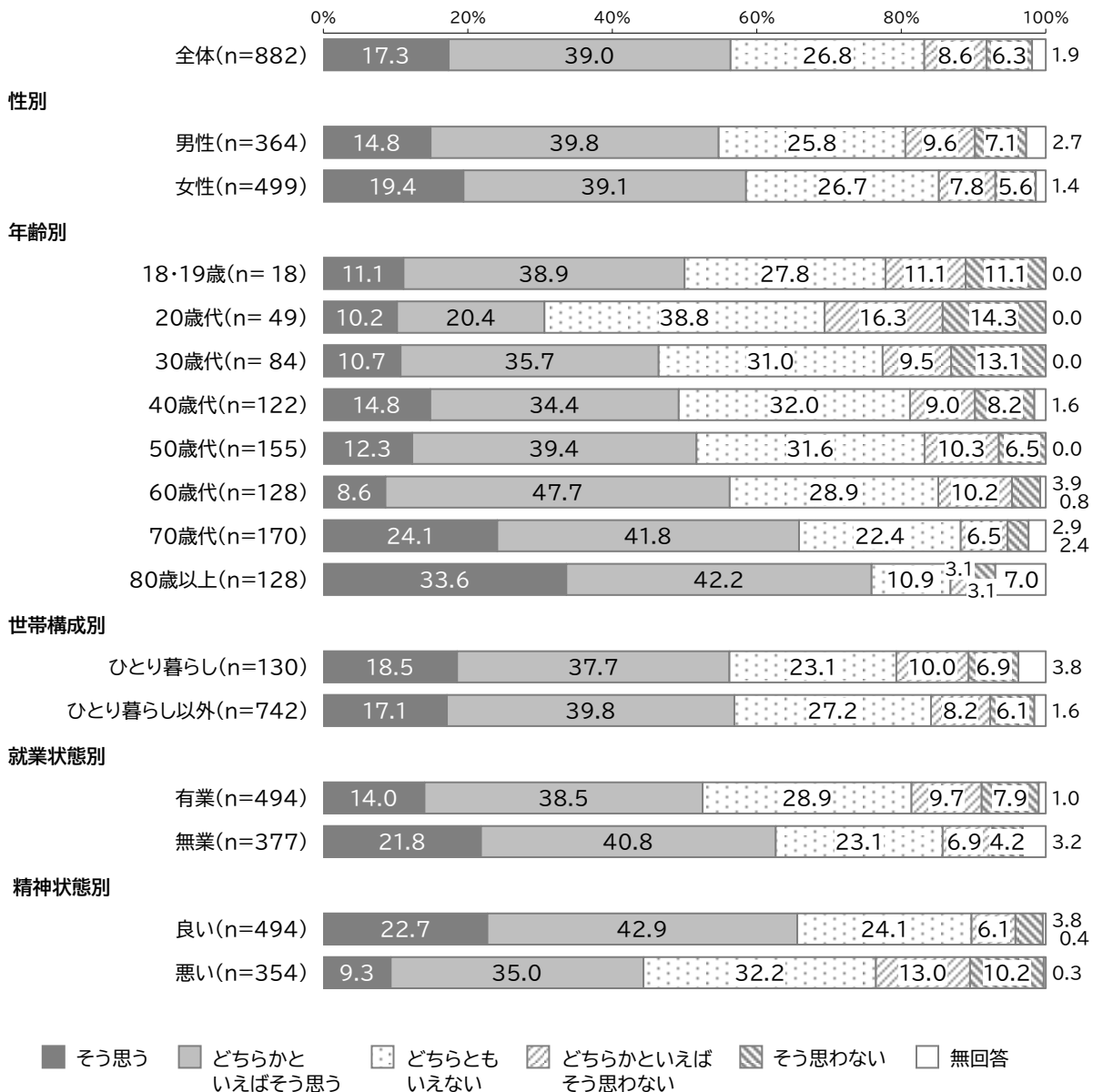
「どちらかといえばそう思う」が 39.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 26.8%、「そう思う」が 17.3%となっています。『そう思う』は 56.3%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど『そう思う』が高くなる傾向にあり、80 歳以上で7割台となっています。また、20 歳代で『そう思う』が3割程度と、他の年代に比べて特に低くなっています。

就業状態別にみると、無業者の『そう思う』は、有業者よりも約 10 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『そう思う』は、良いグループよりも 20 ポイント以上低くなっています。

図 ⑦この地域の中でのつながりを大事にしたい



⑧今後もこの地域に住み続けたい

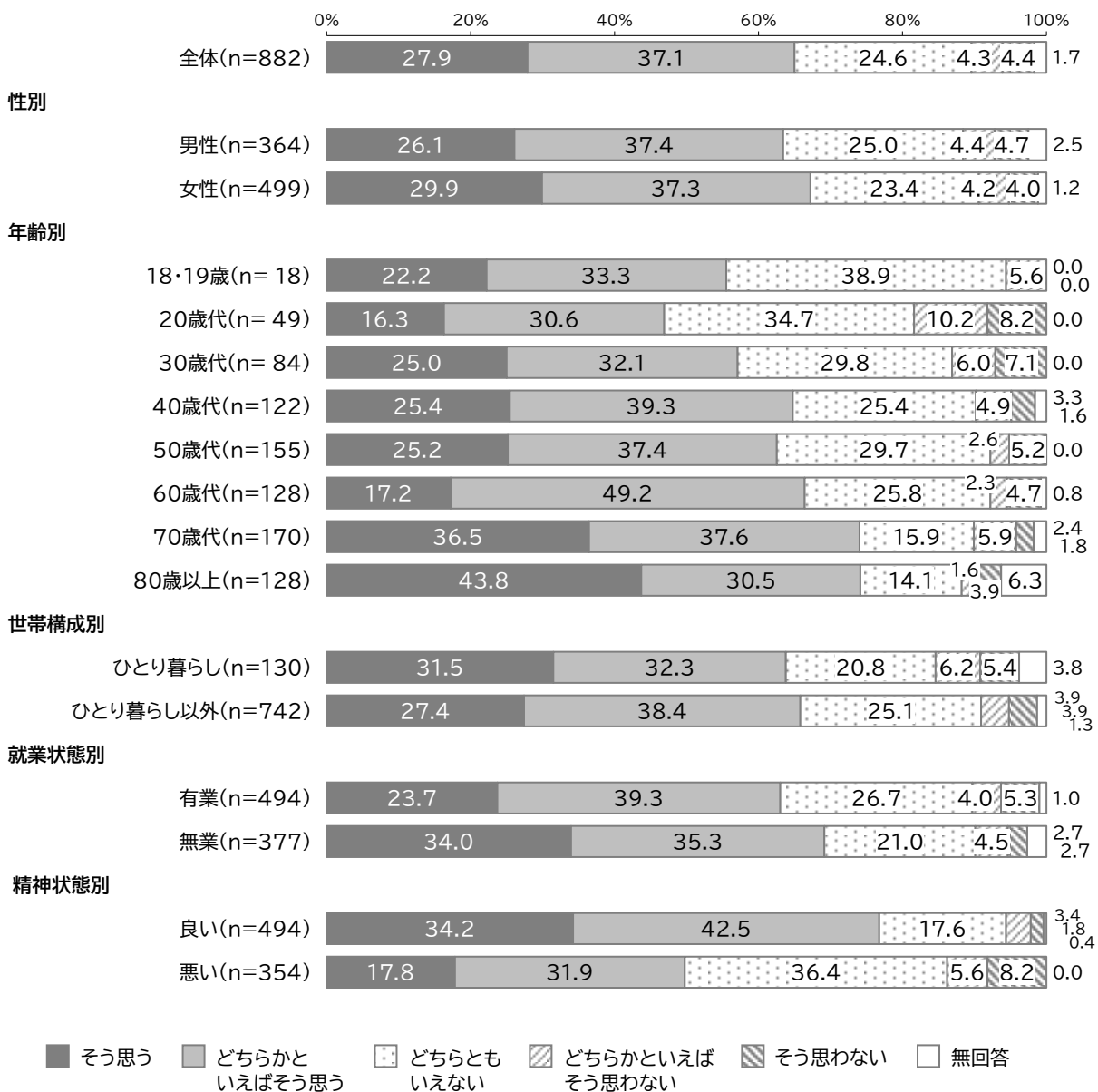
「どちらかといえばそう思う」が 37.1%で最も高く、次いで「そう思う」が 27.9%、「どちらともいえない」が 24.6%となっています。『そう思う』は 65.0%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど『そう思う』が高くなる傾向にあり、70 歳以上で7割台となっています。

就業状態別にみると、無業者の『そう思う』は、有業者よりも 6.3 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『そう思う』は、良いグループよりも 25 ポイント以上低くなっています。

図 ⑧今後もこの地域に住み続けたい



## 2 日常の悩みやストレスについて

### (1) 悩みやストレスの有無

問6 あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか。(〇は1つ)

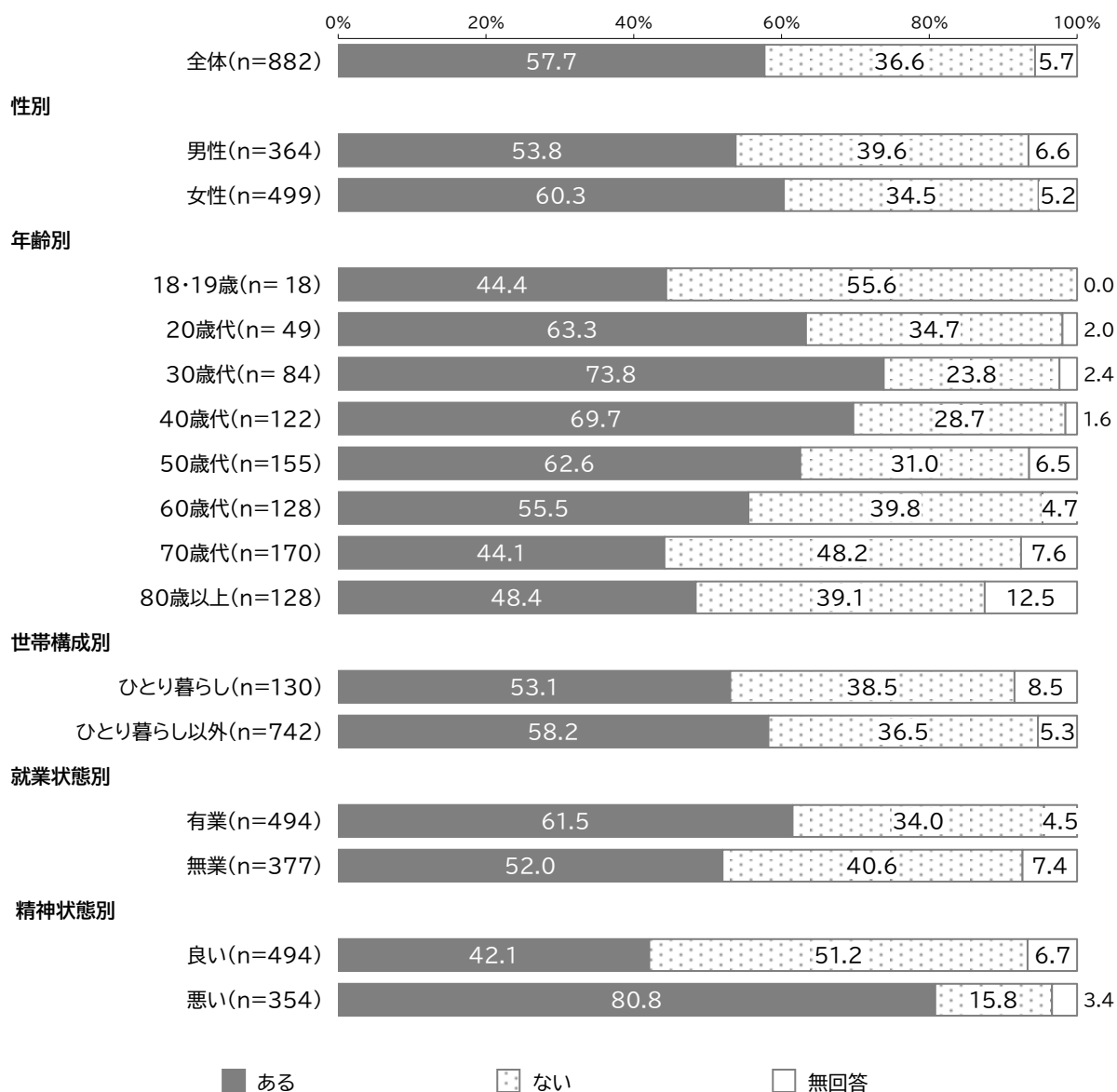
悩みやストレスの有無をみると、「ある」が 57.7%、「ない」が 36.6%となっています。

性別にみると、女性の「ある」は、男性よりも 6.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20 歳代～50 歳代で「ある」が他の年代に比べて高く、30 歳代で7割台となっています。

精神状態別にみると、悪いグループの「ある」の割合は、良いグループの約2倍となっています。

図 悩みやストレスの有無



## (2) 悩みやストレスの内容

問6で「1. ある」と回答された方にお聞きします。

問7 どのような悩みやストレスがありますか。(〇はいくつでも) その他の回答がある場合は、「20」に記入してください。

問7-1 問7で回答した中で、最も気になる原因の番号を番号記入欄に記入してください。

悩みやストレスの内容をみると、「自分の仕事」が43.2%で最も高く、次いで「収入・家計・借金等」が41.3%、「自分の病気や介護」が34.0%、「家族との人間関係」が31.2%となっています。最も気になる悩みやストレスの要因も、同様の順番で高くなっています。

性別にみると、男性は「自分の仕事」「収入・家計・借金等」「家族以外との人間関係」が、女性より10ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、年齢別では30歳代～40歳代で「自分の仕事」、80歳以上で「自分の病気や介護」が特に高くなっています。

図 悩みやストレスの内容

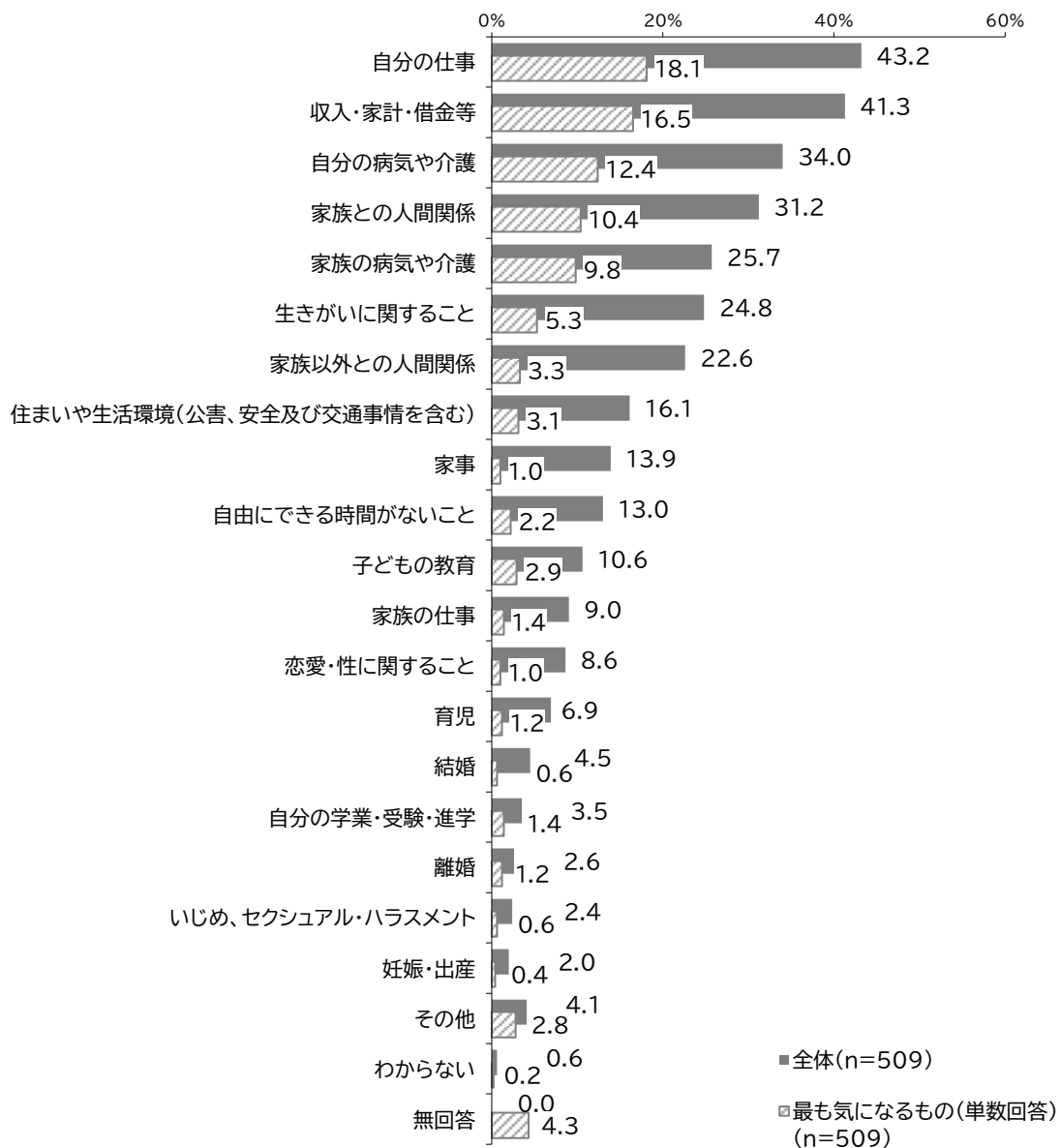


表 悩みやストレスの内容

		回答者数(n)	自分の仕事	収入・家計・借金等	自分の病気や介護	家族との人間関係	家族の病気や介護	生きがいに関する事	家族以外との人間関係	住まいや生活環境(公害、安全及び交通事情を含む)	家事	自由にできる時間がないこと	子どもの教育	
全体		509	43.2	41.3	34.0	31.2	25.7	24.8	22.6	16.1	13.9	13.0	10.6	
性別	男性	196	54.6	48.0	33.7	26.5	25.0	28.6	28.6	18.9	10.2	12.2	8.7	
	女性	301	34.6	36.9	34.6	33.6	26.6	21.6	18.6	14.0	15.9	13.0	11.6	
年齢別	18・19歳	8	37.5	25.0	12.5	25.0	-	37.5	50.0	12.5	-	12.5	-	
	20歳代	31	58.1	54.8	3.2	29.0	6.5	32.3	32.3	6.5	16.1	12.9	3.2	
	30歳代	62	62.9	48.4	24.2	32.3	12.9	30.6	29.0	14.5	24.2	27.4	17.7	
	40歳代	85	67.1	41.2	25.9	30.6	21.2	25.9	28.2	16.5	16.5	15.3	30.6	
	50歳代	97	59.8	45.4	25.8	34.0	43.3	20.6	28.9	9.3	8.2	14.4	12.4	
	60歳代	71	36.6	43.7	36.6	38.0	23.9	26.8	18.3	11.3	9.9	7.0	2.8	
	70歳代	75	9.3	38.7	44.0	32.0	30.7	17.3	14.7	25.3	12.0	5.3	-	
	80歳以上	62	4.8	24.2	71.0	19.4	25.8	27.4	9.7	25.8	14.5	6.5	-	
世帯構成別	ひとり暮らし	69	37.7	37.7	52.2	29.0	8.7	37.7	23.2	20.3	10.1	2.9	-	
	ひとり暮らし以外	432	43.3	41.7	31.5	31.5	28.7	22.7	22.2	14.8	14.4	14.1	12.3	
就業状態別	有業	304	64.8	45.4	23.4	32.2	27.6	22.7	28.9	13.5	12.5	16.1	14.1	
	無業	196	9.2	34.7	51.5	29.6	23.5	27.0	12.8	19.9	15.8	7.1	4.6	
精神状態別	良い	208	37.0	34.6	27.4	28.8	25.0	15.9	18.3	11.1	12.5	9.1	13.0	
	悪い	286	49.3	46.9	37.4	33.2	26.2	31.5	25.9	18.9	14.3	15.7	9.4	
		回答者数(n)	家族の仕事	こと恋愛・性に関する	育児	結婚	進学	自分の学業受験・	離婚	いじめ、セクシュアル・ハラスメント	妊娠・出産	その他	わからない	無回答
全体		509	9.0	8.6	6.9	4.5	3.5	2.6	2.4	2.0	4.1	0.6	-	
性別	男性	196	9.7	9.7	5.1	3.6	4.1	3.1	3.1	1.0	2.0	0.5	-	
	女性	301	8.3	8.3	7.6	5.0	2.7	2.3	1.7	2.3	5.3	0.7	-	
年齢別	18・19歳	8	-	50.0	-	-	87.5	-	-	-	12.5	-	-	
	20歳代	31	9.7	25.8	16.1	16.1	16.1	-	-	6.5	3.2	-	-	
	30歳代	62	9.7	24.2	17.7	17.7	3.2	4.8	4.8	8.1	3.2	-	-	
	40歳代	85	12.9	7.1	18.8	2.4	2.4	2.4	3.5	2.4	3.5	-	-	
	50歳代	97	9.3	6.2	1.0	3.1	1.0	3.1	3.1	-	1.0	1.0	-	
	60歳代	71	9.9	2.8	-	-	-	2.8	1.4	-	7.0	-	-	
	70歳代	75	6.7	2.7	-	1.3	-	1.3	1.3	-	5.3	2.7	-	
	80歳以上	62	3.2	-	-	-	-	1.6	-	-	4.8	-	-	
世帯構成別	ひとり暮らし	69	1.4	13.0	-	5.8	1.4	2.9	2.9	-	7.2	2.9	-	
	ひとり暮らし以外	432	10.0	8.1	7.6	4.2	3.7	2.5	2.1	2.1	3.5	0.2	-	
就業状態別	有業	304	11.2	9.9	9.2	5.9	1.6	2.6	2.6	2.6	2.3	-	-	
	無業	196	5.1	7.1	2.6	2.0	6.1	2.6	1.5	0.5	6.1	1.5	-	
精神状態別	良い	208	8.2	8.2	9.1	4.8	4.8	1.9	1.4	2.4	3.4	0.5	-	
	悪い	286	10.1	9.1	5.6	4.5	2.8	2.8	3.1	1.7	4.5	0.7	-	

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)



表 最も気になる悩みやストレスの内容(単数選択)

		回答者数(n)	自分の仕事	収入・家計・借金等	自分の病気や介護	家族との人間関係	家族の病気や介護	生きがいに関する事	家族以外との人間関係	住まいや生活環境(公害、安全及び交通事情を含む)	家事	自由にできる時間がないこと	子どもの教育
全体		509	18.1	16.5	12.4	10.4	9.8	5.3	3.3	3.1	1.0	2.2	2.9
性別	男性	196	24.0	19.4	10.2	7.7	8.7	6.6	3.1	3.1	-	1.5	2.6
	女性	301	13.3	15.3	14.3	11.6	11.0	4.7	3.7	3.3	1.7	2.0	3.3
年齢別	18・19歳	8	12.5	-	-	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-
	20歳代	31	32.3	12.9	3.2	9.7	-	9.7	6.5	3.2	-	-	-
	30歳代	62	29.0	19.4	6.5	4.8	3.2	3.2	3.2	-	-	3.2	3.2
	40歳代	85	34.1	11.8	7.1	8.2	2.4	5.9	2.4	3.5	-	3.5	10.6
	50歳代	97	21.6	19.6	6.2	10.3	19.6	3.1	3.1	2.1	2.1	1.0	3.1
	60歳代	71	11.3	18.3	11.3	19.7	11.3	8.5	5.6	-	1.4	-	1.4
	70歳代	75	1.3	22.7	16.0	12.0	14.7	6.7	4.0	6.7	-	1.3	-
	80歳以上	62	1.6	9.7	37.1	6.5	12.9	3.2	-	6.5	3.2	3.2	-
世帯構成別	ひとり暮らし	69	17.4	11.6	20.3	10.1	2.9	7.2	-	7.2	-	1.4	-
	ひとり暮らし以外	432	17.6	17.6	11.3	10.6	11.1	5.1	3.7	2.3	1.2	2.1	3.5
就業状態別	有業	304	27.0	19.4	5.3	10.2	9.9	4.6	3.9	2.3	-	2.0	3.9
	無業	196	3.6	11.7	24.0	11.2	10.2	6.1	2.6	4.6	2.6	1.5	1.5
精神状態別	良い	208	14.9	15.4	10.6	13.5	10.6	3.4	3.4	3.4	1.4	1.0	4.8
	悪い	286	20.6	17.8	13.3	8.4	9.1	7.0	3.5	2.4	0.7	3.1	1.7

		回答者数(n)	家族の仕事	恋愛・性に関すること	育児	結婚	進学	自分の学業・受験・	離婚	いじめ、セクシユアルハラスメント	妊娠・出産	その他	わからない	無回答
全体		509	1.4	1.0	1.2	0.6	1.4	1.2	0.6	0.4	0.4	2.8	0.2	4.3
性別	男性	196	1.0	1.5	-	0.5	1.0	1.5	0.5	-	1.5	-	-	5.6
	女性	301	1.7	0.7	2.0	0.7	1.7	1.0	0.7	0.7	0.7	3.3	0.3	3.3
年齢別	18・19歳	8	-	12.5	-	-	37.5	-	-	-	-	12.5	-	-
	20歳代	31	3.2	6.5	-	-	12.9	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	62	-	1.6	9.7	3.2	-	3.2	-	3.2	1.6	-	-	1.6
	40歳代	85	1.2	-	-	1.2	-	1.2	1.2	-	1.2	-	-	4.7
	50歳代	97	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-	1.0	-	-	5.2
	60歳代	71	1.4	-	-	-	-	1.4	1.4	-	4.2	-	-	2.8
	70歳代	75	4.0	1.3	-	-	-	-	-	-	4.0	1.3	-	4.0
	80歳以上	62	1.6	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-	9.7
世帯構成別	ひとり暮らし	69	-	1.4	-	1.4	1.4	1.4	-	-	4.3	1.4	-	10.1
	ひとり暮らし以外	432	1.6	0.9	1.4	0.5	1.4	1.2	0.7	0.5	2.3	-	-	3.5
就業状態別	有業	304	1.3	1.0	1.6	1.0	-	1.0	0.7	0.7	1.0	-	-	3.3
	無業	196	1.5	1.0	0.5	-	3.6	1.5	0.5	-	5.1	0.5	-	6.1
精神状態別	良い	208	1.4	1.4	2.4	0.5	2.9	1.4	-	0.5	2.9	-	-	4.3
	悪い	286	1.4	0.7	0.3	0.7	0.3	1.0	1.0	0.3	2.8	0.3	-	3.1

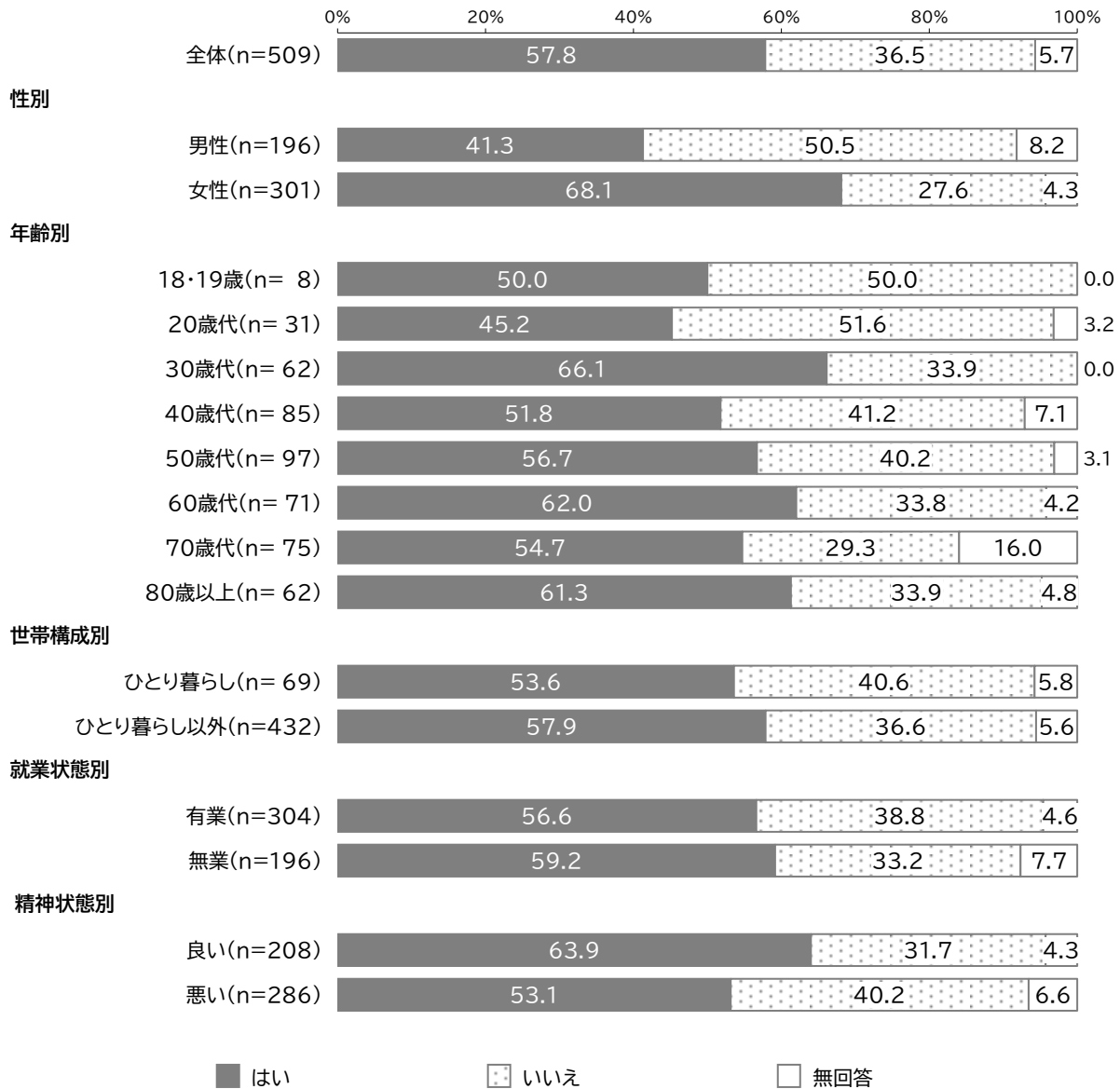
注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

### (3) 悩みやストレスの相談状況

問8 あなたは、問7で回答した悩みやストレスを相談していますか。

悩みやストレスの相談の有無をみると、「はい」が57.8%、「いいえ」が36.5%となっています。  
 性別にみると、男性の「ある」は、女性よりも20ポイント以上低くなっています。  
 精神状態別にみると、悪いグループの「ある」は、良いグループよりも約10ポイント低くなっています。

図 悩みやストレスの相談状況



#### (4)悩みやストレスの相談相手

問8で「1. はい」と回答された方にお聞きします。

問9 悩みやストレスを、どのように相談していますか。(〇はいくつでも)

問9-1 問9で回答した中で、最も気になる悩みやストレスについてどのように相談しているのか、あてはまる番号の主なものを2つまで番号記入欄に記入してください。

悩みやストレスの相談相手をみると、「家族に相談している」が75.2%で最も高く、次いで「友人・知人に相談している」が53.4%、「病院・診療所の医師に相談している」が24.1%、「職場の上司、学校の先生に相談している」が13.6%となっています。最も気になる悩みやストレスの相談相手についても、同様の順番で高くなっています。

年齢別にみると、30歳代で「友人・知人に相談している」、70歳以上で「病院・診療所の医師に相談している」が、他の年代に比べて高くなっています。

就業状態別にみると、有業者で「友人・知人に相談している」、無業者で「病院・診療所の医師に相談している」と「公的な機関(保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している」が、それぞれ高くなっています。

精神状態別にみると、良いグループの「友人・知人に相談している」は、良いグループよりも10ポイント以上高くなっています。

属性別に述べた内容は、最も気になる悩みやストレスの相談相手でも、同様に高い割合を示しています。

図 悩みやストレスの相談相手

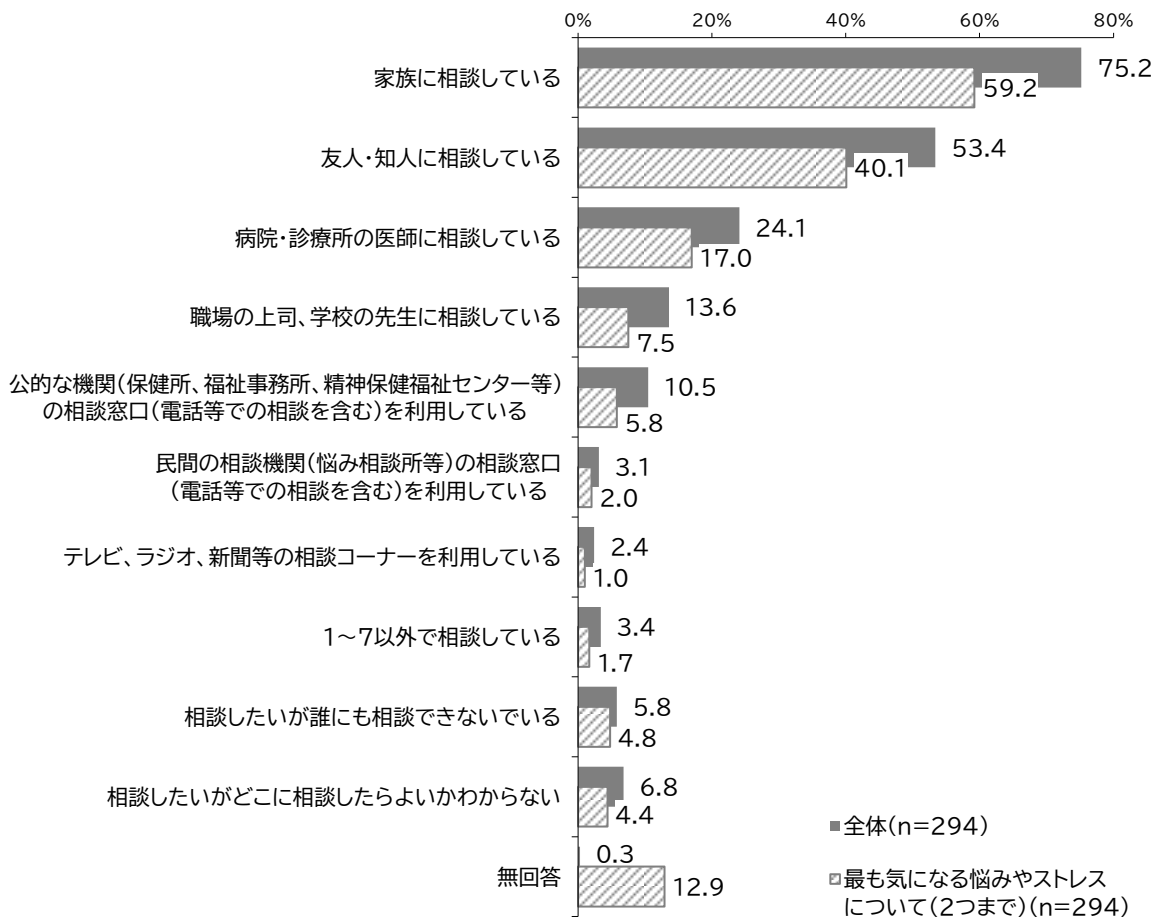


表 悩みやストレスの相談相手

		回答者数(n)	家族に相談している	友人・知人に相談している	病院・診療所の医師に相談している	職場の上司、学校の先生に相談している	公的な機関(保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等)の相談窓口(電話等)での相談を含む)を利用している	民間の相談機関(悩み相談所等)の相談窓口(電話等)での相談を含む)を利用している	テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している	1～7以外で相談している	相談したいが誰にも相談できないでいる	相談したいがどこにも相談したらよいかわからない	無回答
全体		294	75.2	53.4	24.1	13.6	10.5	3.1	2.4	3.4	5.8	6.8	0.3
性別	男性	81	70.4	43.2	33.3	14.8	6.2	6.2	2.5	4.9	4.9	9.9	1.2
	女性	205	77.6	57.1	21.0	13.2	12.2	1.5	2.0	2.0	5.9	5.4	-
年齢別	18・19歳	4	50.0	75.0	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-	-
	20歳代	14	92.9	85.7	7.1	14.3	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	41	80.5	70.7	14.6	24.4	9.8	2.4	-	7.3	2.4	4.9	-
	40歳代	44	77.3	52.3	20.5	22.7	6.8	2.3	2.3	-	6.8	4.5	-
	50歳代	55	74.5	60.0	20.0	12.7	5.5	1.8	5.5	5.5	5.5	3.6	1.8
	60歳代	44	75.0	61.4	22.7	9.1	9.1	4.5	-	2.3	-	9.1	-
	70歳代	41	70.7	41.5	39.0	4.9	14.6	7.3	2.4	-	4.9	12.2	-
	80歳以上	38	73.7	18.4	42.1	5.3	23.7	2.6	5.3	2.6	13.2	10.5	-
世帯構成別	ひとり暮らし	37	54.1	54.1	27.0	10.8	18.9	8.1	8.1	-	5.4	13.5	2.7
	ひとり暮らし以外	250	78.8	53.2	24.4	14.0	9.6	2.4	1.6	3.2	5.6	5.6	-
就業状態別	有業	172	79.7	59.3	15.7	19.8	4.7	2.9	1.2	2.9	2.9	5.8	-
	無業	116	69.8	44.8	37.9	4.3	19.8	3.4	4.3	2.6	9.5	7.8	0.9
精神状態別	良い	133	78.9	61.7	20.3	14.3	13.5	3.0	2.3	3.0	0.8	3.0	-
	悪い	152	73.0	48.0	27.0	13.8	7.2	3.3	2.0	3.9	9.2	9.9	0.7

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

表 最も気になる悩みやストレスの相談相手(2つまで)

		回答者数(n)	家族に相談している	友人・知人に相談している	病院・診療所の医師に相談している	職場の上司、学校の先生に相談している	公的な機関(保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している	民間の相談機関(悩み相談所等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している	テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している	1～7以外で相談している	相談したいが誰にも相談できない	相談したいがどこに相談したらよいかわからない	無回答
全体		294	59.2	40.1	17.0	7.5	5.8	2.0	1.0	1.7	4.8	4.4	12.9
性別	男性	81	53.1	28.4	22.2	4.9	1.2	3.7	-	3.7	3.7	6.2	19.8
	女性	205	62.0	44.4	15.6	8.3	7.3	1.5	1.5	1.0	5.4	3.9	9.8
年齢別	18・19歳	4	50.0	75.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-
	20歳代	14	92.9	71.4	7.1	14.3	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	41	65.9	53.7	4.9	12.2	2.4	2.4	-	2.4	2.4	4.9	9.8
	40歳代	44	63.6	40.9	13.6	11.4	2.3	2.3	2.3	-	6.8	2.3	15.9
	50歳代	55	60.0	49.1	10.9	5.5	5.5	-	3.6	3.6	5.5	1.8	12.7
	60歳代	44	63.6	50.0	13.6	9.1	4.5	2.3	-	2.3	-	4.5	4.5
	70歳代	41	48.8	29.3	36.6	2.4	9.8	7.3	-	-	2.4	9.8	7.3
	80歳以上	38	44.7	-	31.6	-	10.5	-	-	2.6	10.5	7.9	34.2
世帯構成別	ひとり暮らし	37	37.8	32.4	13.5	8.1	13.5	5.4	2.7	-	5.4	10.8	24.3
	ひとり暮らし以外	250	63.2	40.8	18.0	7.6	4.8	1.6	0.8	2.0	4.8	3.6	10.4
就業状態別	有業	172	64.5	48.8	11.0	11.0	1.2	2.3	1.2	1.7	2.9	3.5	11.0
	無業	116	52.6	26.7	26.7	2.6	12.9	1.7	0.9	1.7	7.8	6.0	14.7
精神状態別	良い	133	63.9	47.4	14.3	7.5	9.0	2.3	0.8	1.5	0.8	2.3	6.8
	悪い	152	56.6	35.5	19.1	7.9	2.6	2.0	1.3	2.0	7.2	5.9	17.1

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

## (5)インターネットの使用状況

問10 あなたは、インターネットをどのくらい使っていますか。スマートフォン、パソコン、タブレットなどでの利用を含みます。(〇は1つ)

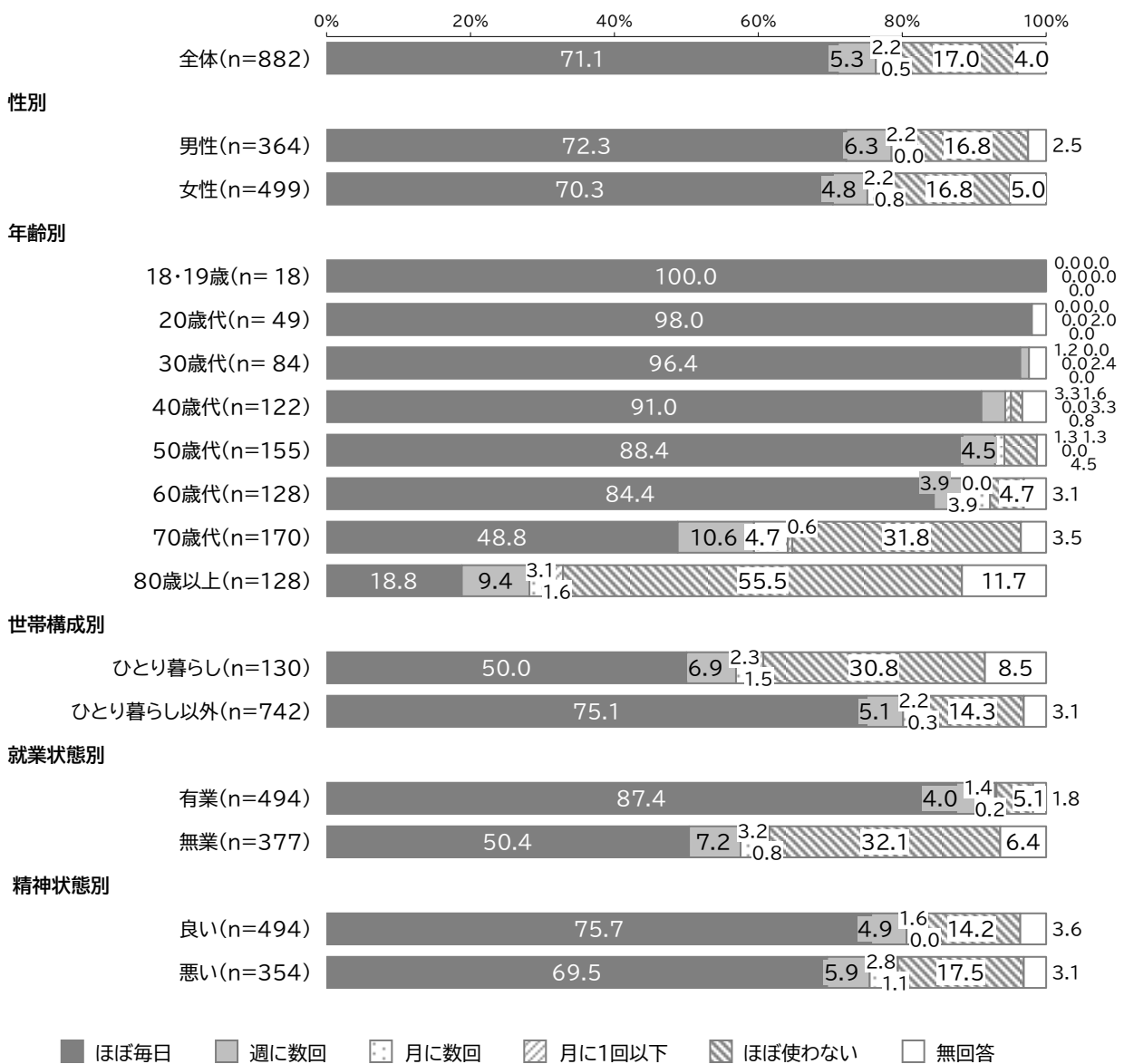
インターネットの使用状況を見ると、「ほぼ毎日」が71.1%で最も高く、次いで「ほぼ使わない」が17.0%、「週に数回」が5.3%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど「ほぼ使わない」が高くなる傾向にあります。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯で「ほぼ使わない」が約3割となっています。

就業状態別にみると、無業者で「ほぼ使わない」が3割台となっています。

図 インターネットの使用状況



## (6)インターネットを介したコミュニケーションの頻度

問10で、「1. ほぼ毎日」「2. 週に数回」「3. 月に数回」「4. 月に1回以下」と回答された方にお聞きします。

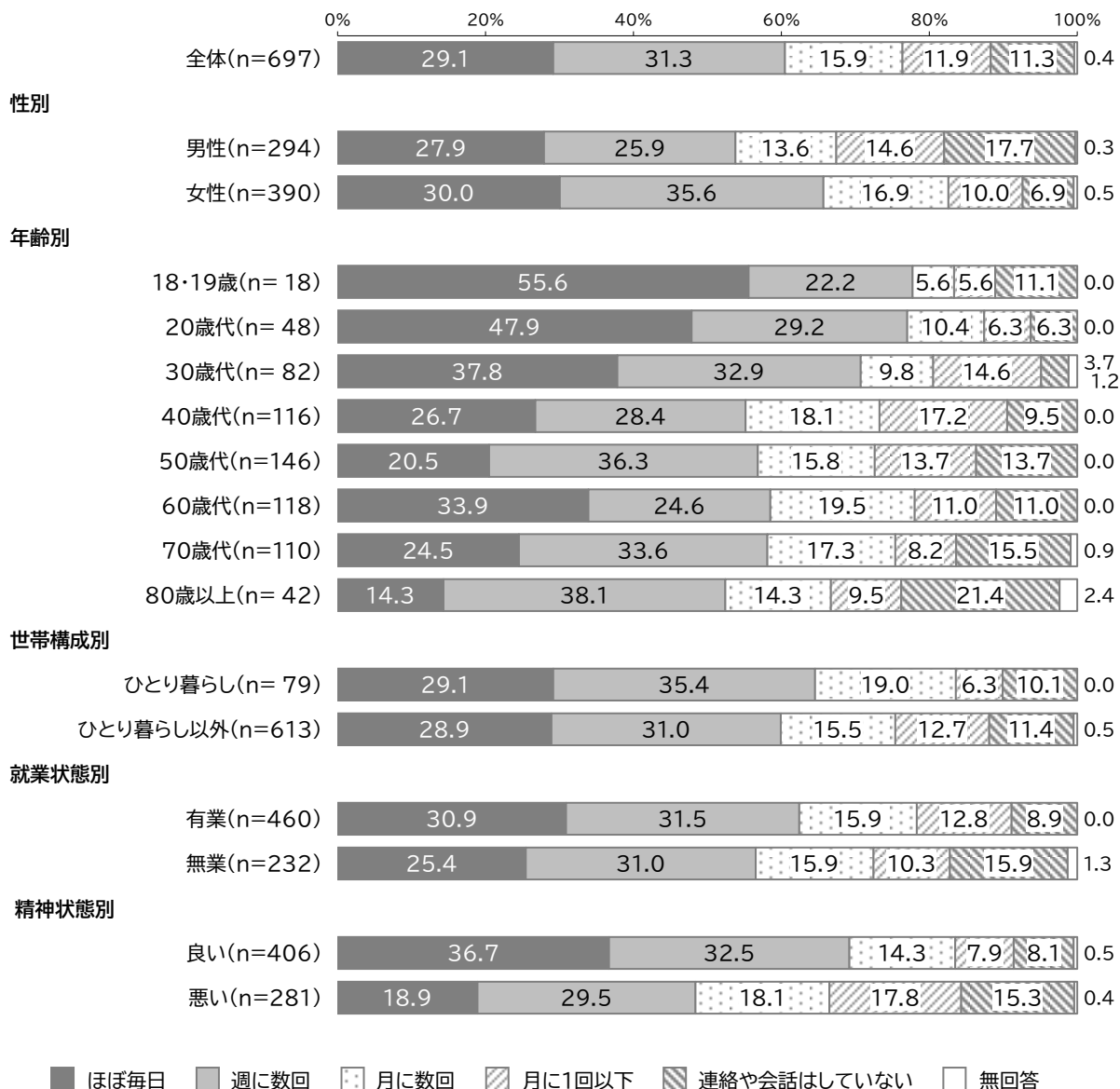
問10-1 あなたは、インターネットを介して、友人や仲間とどのくらいの頻度で連絡したり、会話したりしますか。(〇は1つ)

インターネットを介したコミュニケーションの頻度をみると、「週に数回」が31.3%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」が29.1%、「月に数回」が15.9%、「月に1回以下」が11.9%となっています。4人に3人は『月に数回以上』（「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」の合計）の頻度でコミュニケーションを行っています。

性別にみると、男性の『月に数回以上』は、女性よりも15.1ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『月に数回以上』は、良いグループよりも17.0ポイント低くなっています。

図 インターネットを介したコミュニケーションの頻度



## (7)インターネットを介した悩みの相談状況

問10-1で、「1. ほぼ毎日」「2. 週に数回」「3. 月に数回」「4. 月に1回以下」と回答された方にお聞きします。

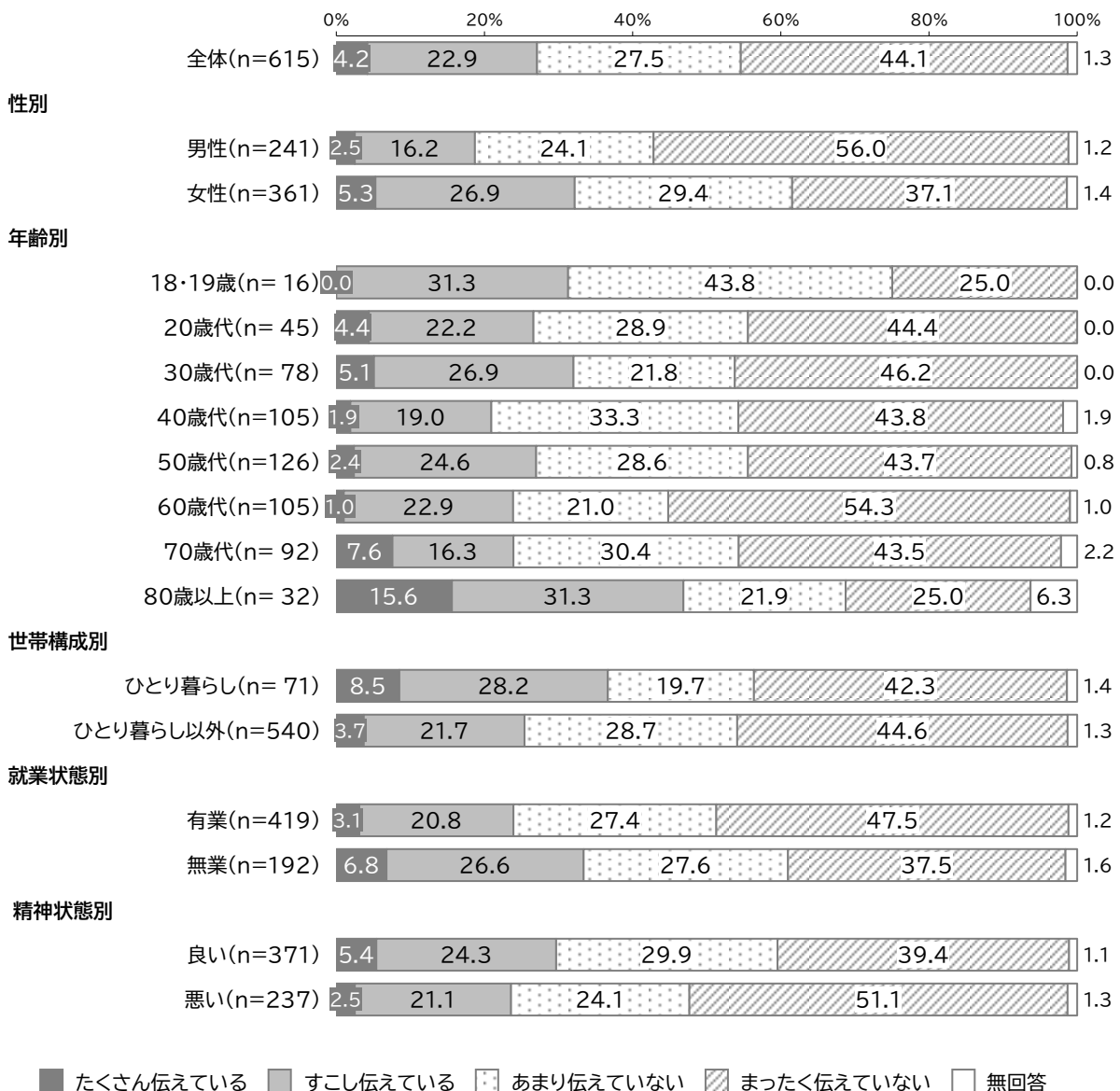
問10-2 あなたは、あなた自身の悩みを、インターネットを介してどのくらい伝えていますか。(〇は1つ)

インターネットを介した悩みの相談状況を見ると、「まったく伝えていない」が44.1%で最も高く、次いで「あまり伝えていない」が27.5%、「すこし伝えている」が22.9%となっています。『伝えている』(「たくさん伝えている」「すこし伝えている」の合計)は27.1%となっています。

年齢別にみると、80歳以上で『伝えている』が46.9%と、他の年代に比べて高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の『伝えている』は、ひとり暮らし以外の世帯よりも10ポイント以上高くなっています。

図 インターネットを介した悩みの相談状況



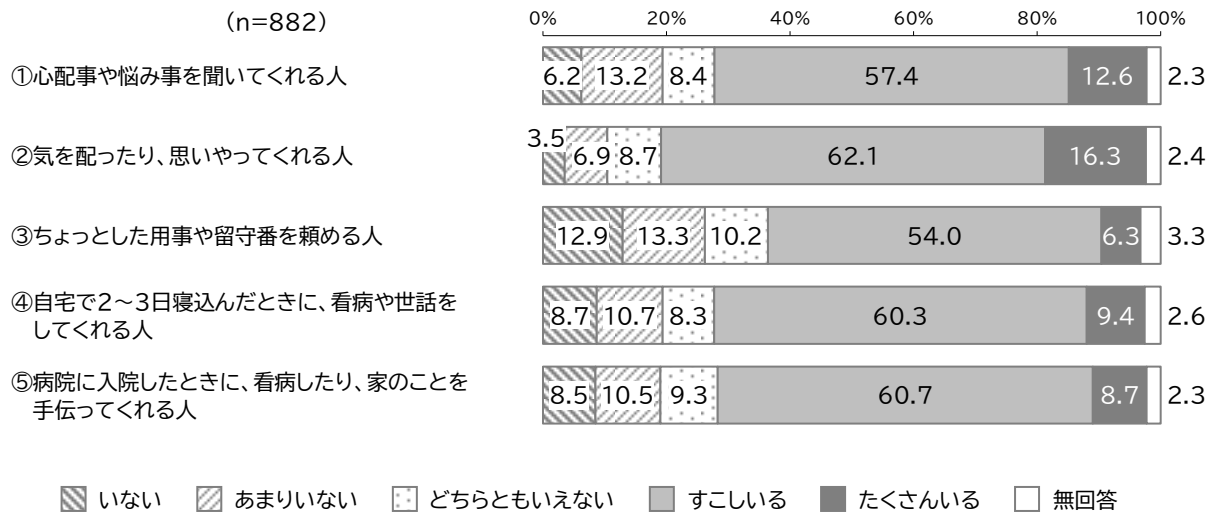


## (8) ソーシャルサポート

問11 あなたには、次のような人はいますか。(①から⑤について、それぞれ〇は1つ)

社会的関係の中でやりとりされる支援(ソーシャルサポート)をみると、どの項目も『いない』(「いない」「あまりいない」の合計)が1~2割台となっており、「③ちょっとした用事や留守番を頼める人」は 26.2%となっています。

図 ソーシャルサポート



①心配事や悩み事を聞いてくれる人

「すこしいる」が 57.4%で最も高く、次いで「あまりいない」が 13.2%、「たくさんいる」が 12.6%、「どちらともいえない」が 8.4%となっています。『いない』は 19.4%となっています。

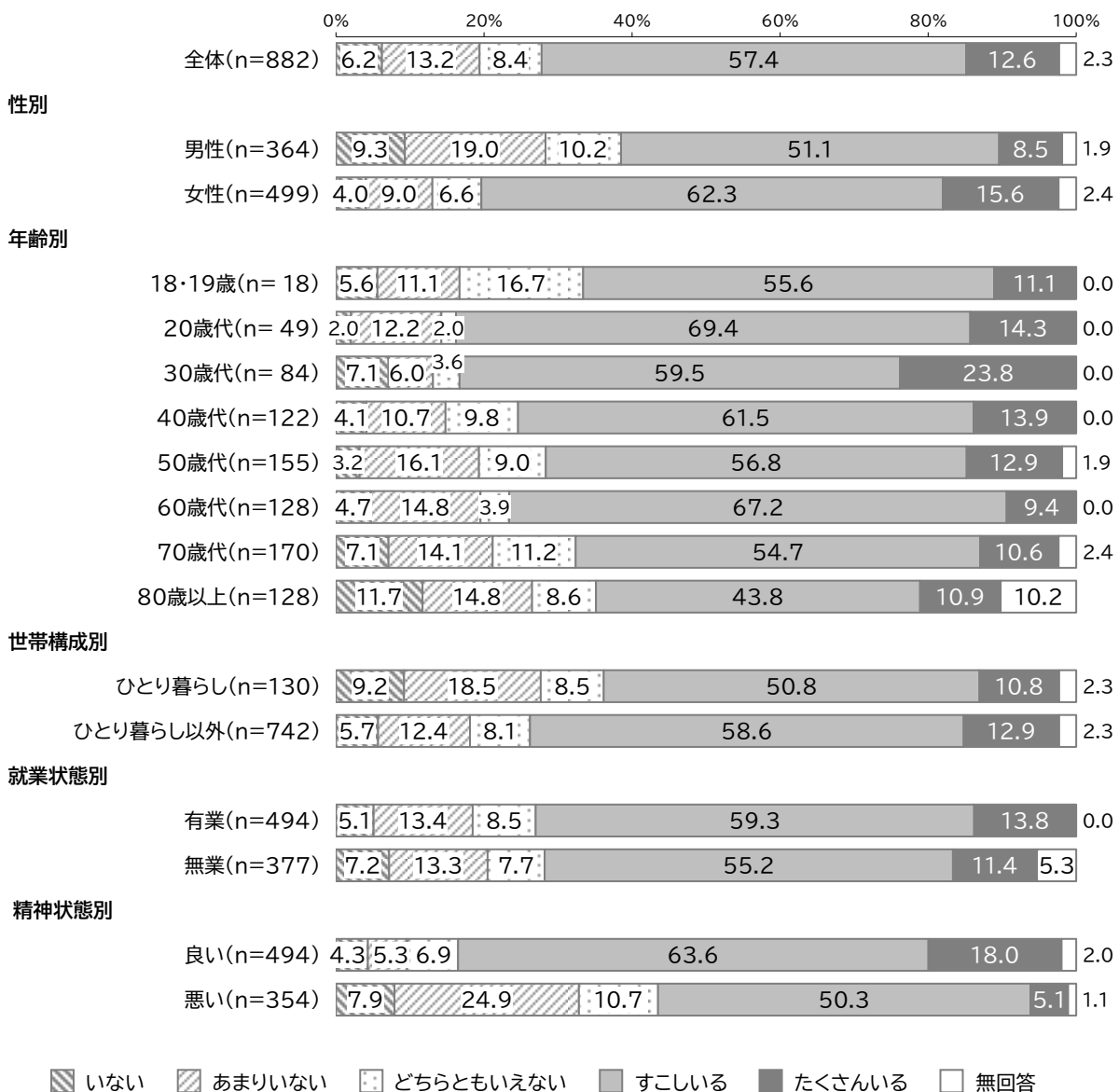
性別にみると、男性の『いない』は、女性よりも約 15 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど『いない』が高くなる傾向にあり、70 歳以上で2割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の『いない』は、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 10 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『いない』は、良いグループよりも 20 ポイント以上高くなっています。

図 ①心配事や悩み事を聞いてくれる人



②気を配ったり、思いやってくれる人

「すこしいる」が 62.1%で最も高く、次いで「たくさんいる」が 16.3%、「どちらともいえない」が 8.7%、「あまりいない」が 6.9%となっています。『いない』は 10.4%となっています。

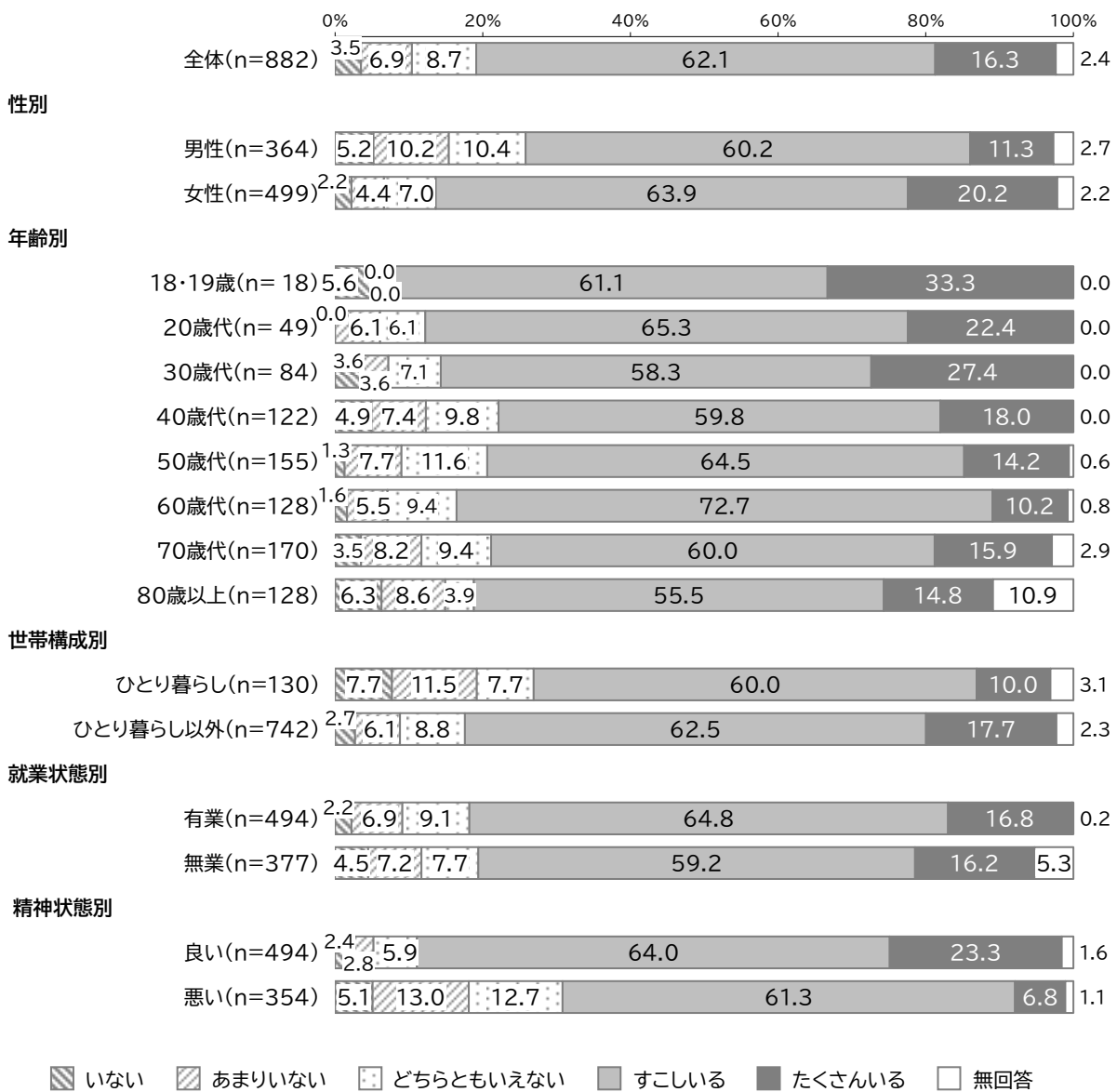
性別にみると、男性の『いない』は、女性よりも 8.8 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど『いない』が高くなる傾向にあり、80 歳以上で 14.9%となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の『いない』は、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 10 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『いない』は、良いグループよりも 10 ポイント以上高くなっています。

図 ②気を配ったり、思いやってくれる人



### ③ちょっとした用事や留守番を頼める人

「すこしいる」が 54.0%で最も高く、次いで「あまりいない」が 13.3%、「いない」が 12.9%、「どちらともいえない」が 10.2%、「たくさんいる」が 6.3%となっています。『いない』は 26.2%となっています。

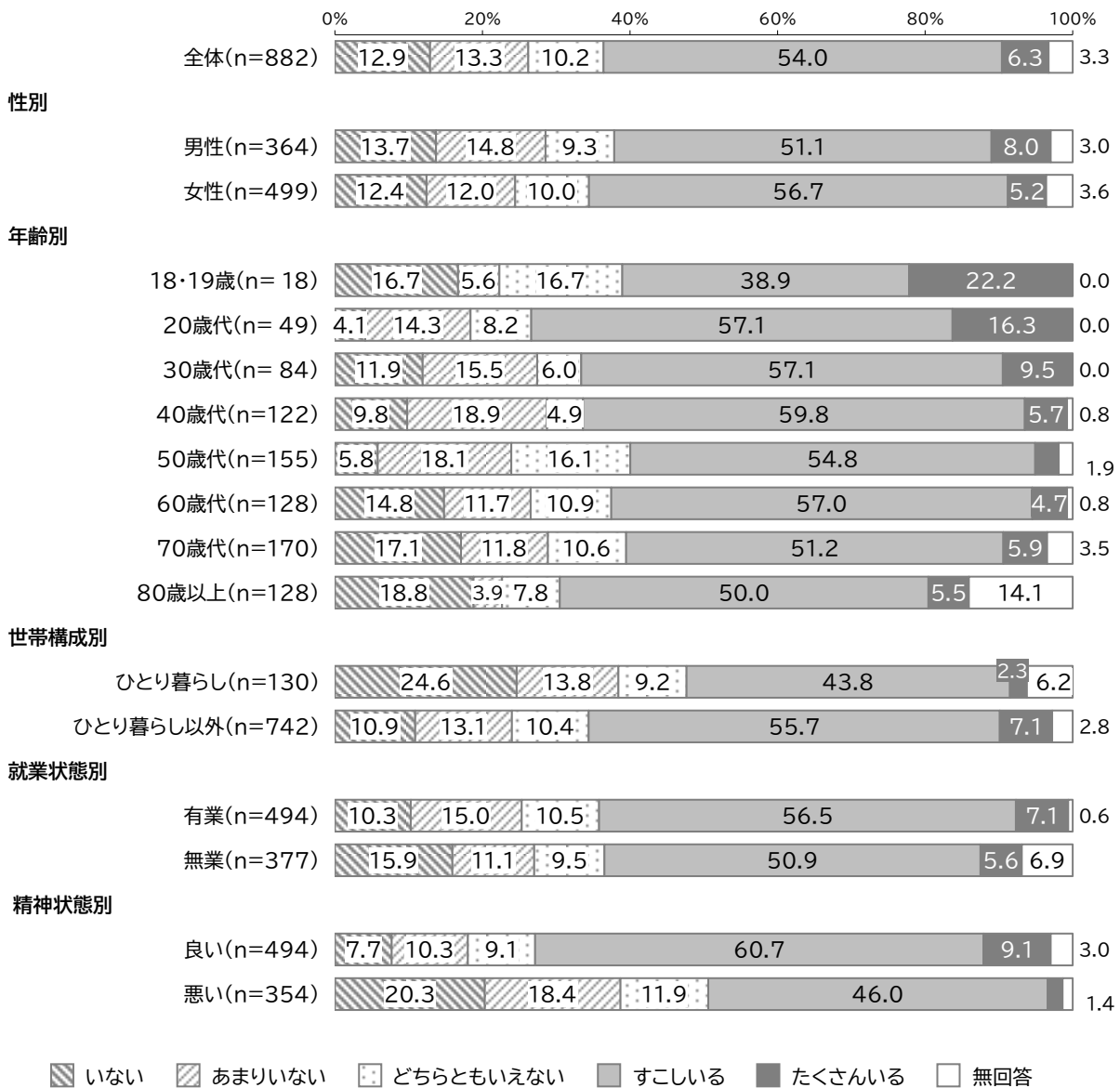
性別にみると、男性の『いない』は、女性よりも 4.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20 歳代で『いる』（「すこしいる」「たくさんいる」の合計）が7割台と、他の年代に比べて高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の『いない』は、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 15 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『いない』は、良いグループよりも約 20 ポイント高くなっています。

図 ③ちょっとした用事や留守番を頼める人



④自宅で2～3日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

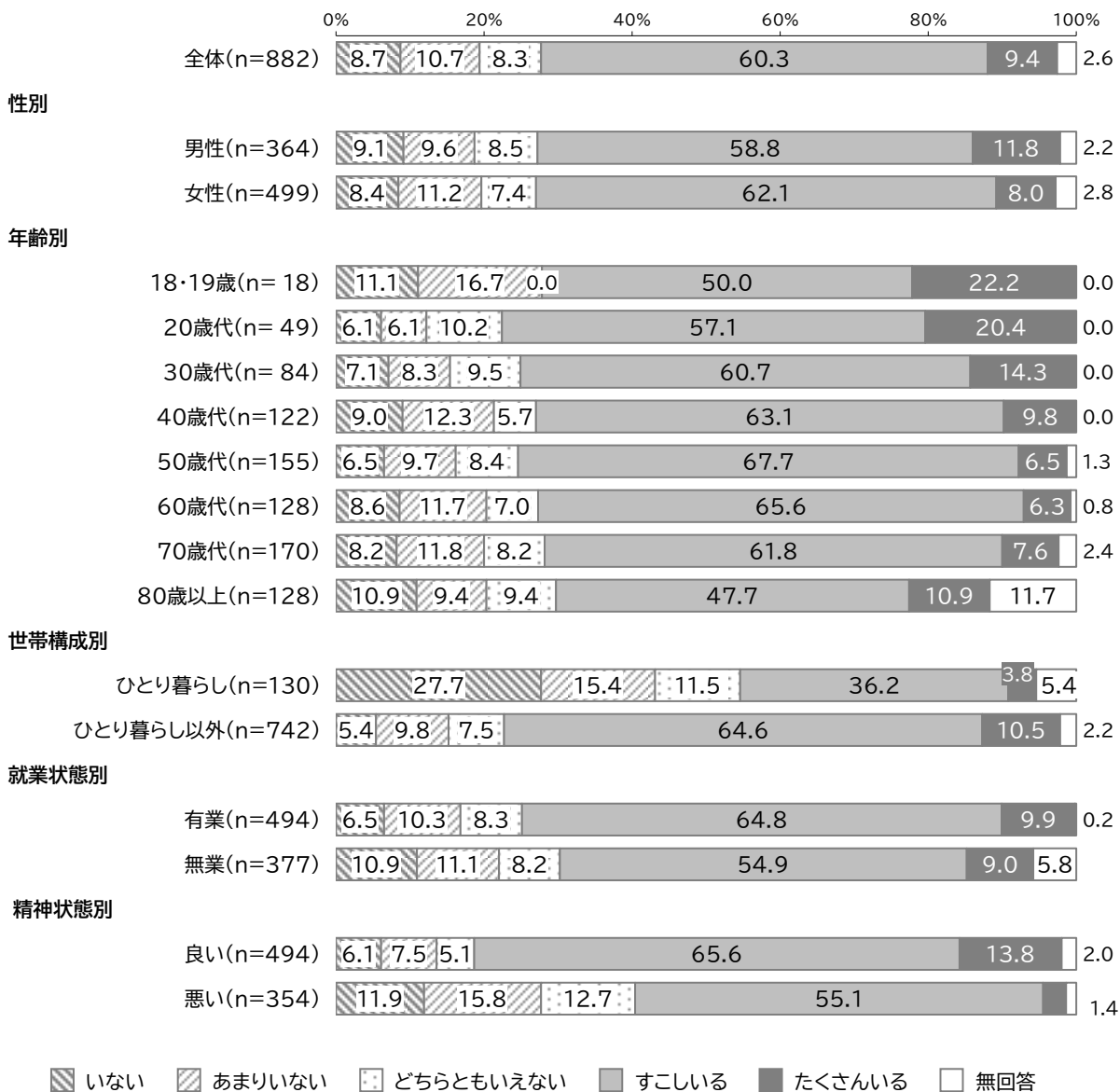
「すこしいる」が 60.3%で最も高く、次いで「あまりいない」が 10.7%、「たくさんいる」が 9.4%、「いない」が 8.7%、「どちらともいえない」が 8.3%となっています。『いない』は 19.4%となっています。

年齢別にみると、18・19 歳で『いない』が 27.8%と、他の年代に比べて高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の『いない』は、ひとり暮らし以外の世帯よりも 25 ポイント以上高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『いない』は、良いグループよりも 10 ポイント以上高くなっています。

図 ④自宅で2～3日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人



⑤病院に入院したときに、看病したり、家のことを手伝ってくれる人

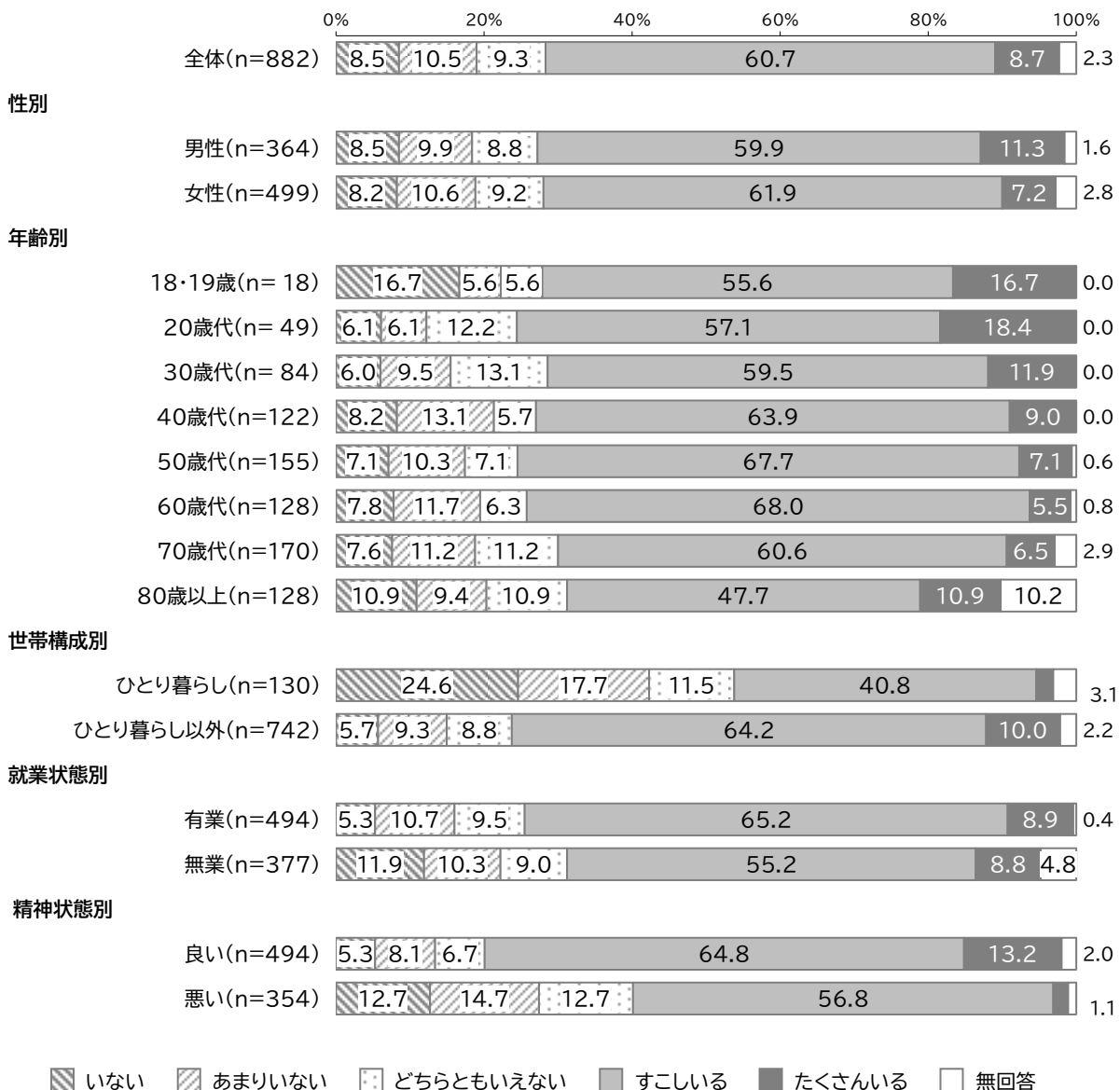
「すこしいる」が 60.7%で最も高く、次いで「あまりいない」が 10.5%、「どちらともいえない」が 9.3%、「たくさんいる」が 8.7%、「いない」が 8.5%となっています。『いない』は 19.0%となっています。

年齢別にみると、20 歳代で『いない』が 12.2%と、他の年代に比べて低くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の『いない』は、ひとり暮らし以外の世帯よりも 25 ポイント以上高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『いない』は、良いグループよりも約 15 ポイント高くなっています。

図 ⑤病院に入院したときに、看病したり、家のことを手伝ってくれる人

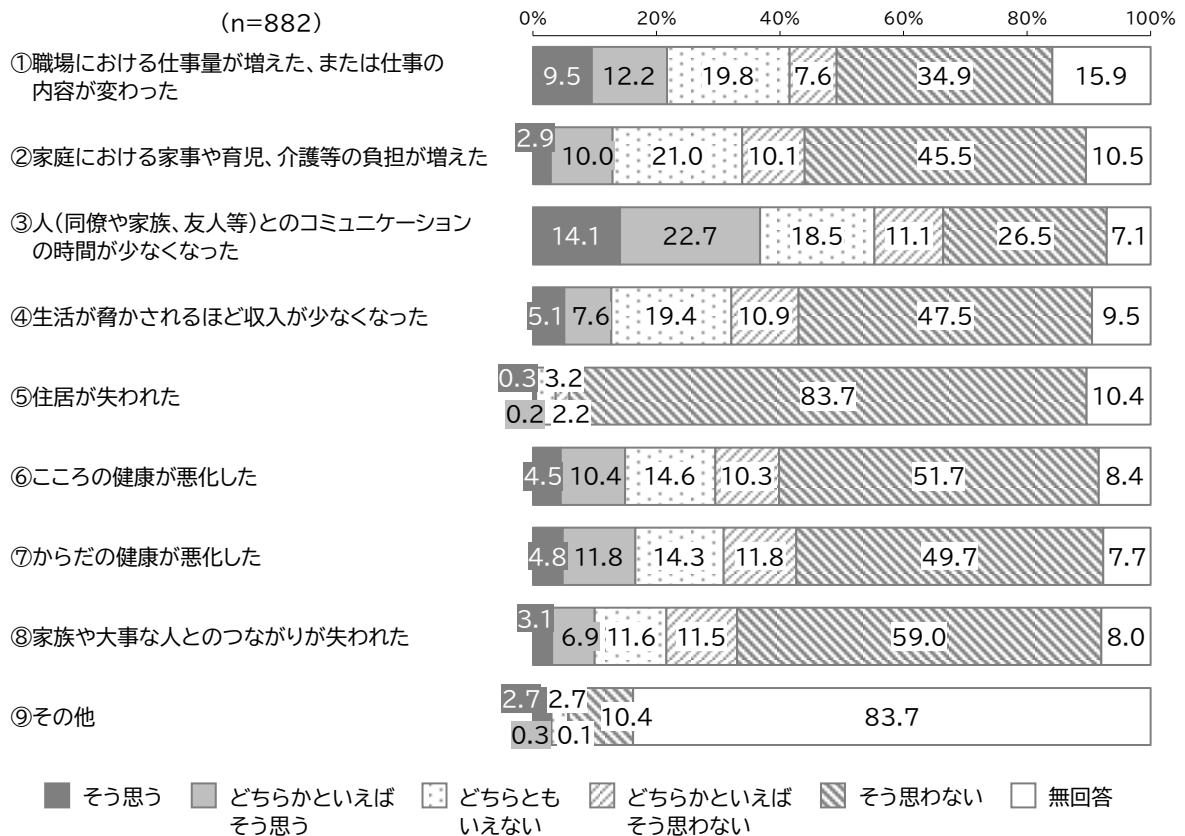


## (9)新型コロナウイルス感染症流行による影響

問12 新型コロナウイルス感染症の流行以降に、あなたの生活に起こった変化について最も合うものを教えてください。(①から⑨について、それぞれ〇は1つ)

新型コロナウイルス感染症流行による影響をみると、『影響があったと思う』(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計)は「③人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなった」で36.8%、「①職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった」で21.7%となっています。

図 新型コロナウイルス感染症流行による影響



①職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった

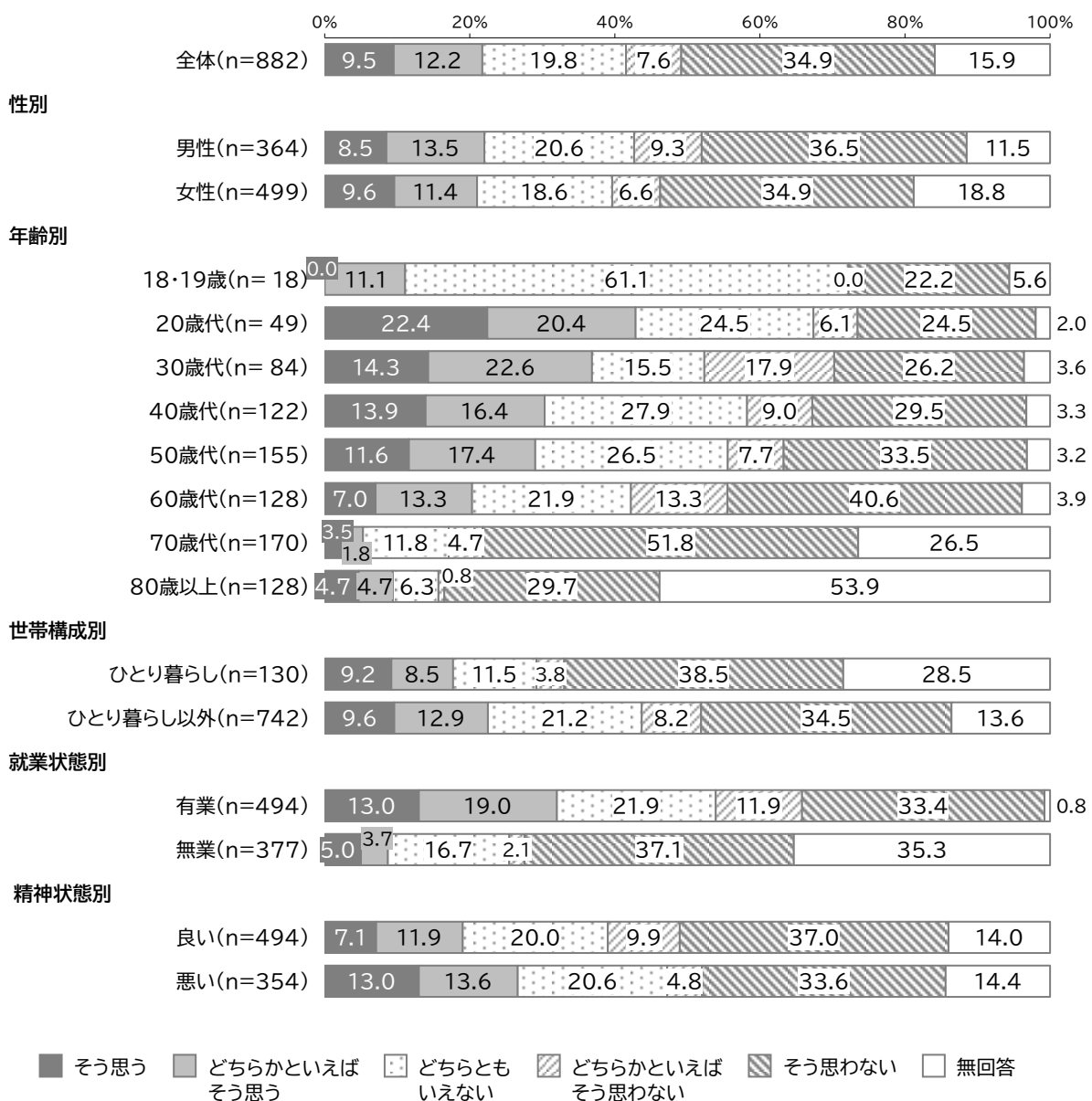
「そう思わない」が 34.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 19.8%、「どちらかといえばそう思う」が 12.2%、「そう思う」が 9.5%となっています。『影響があったと思う』は 21.7%となっています。

年齢別にみると、『影響があったと思う』は 20 歳代～30 歳代が他の年代に比べて高く、20 歳代で4割程度となっています。

就業状態別にみると、有業者の『影響があったと思う』は、無業者よりも 20 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『影響があったと思う』は、良いグループよりも 7.6 ポイント高くなっています。

図 ①職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった





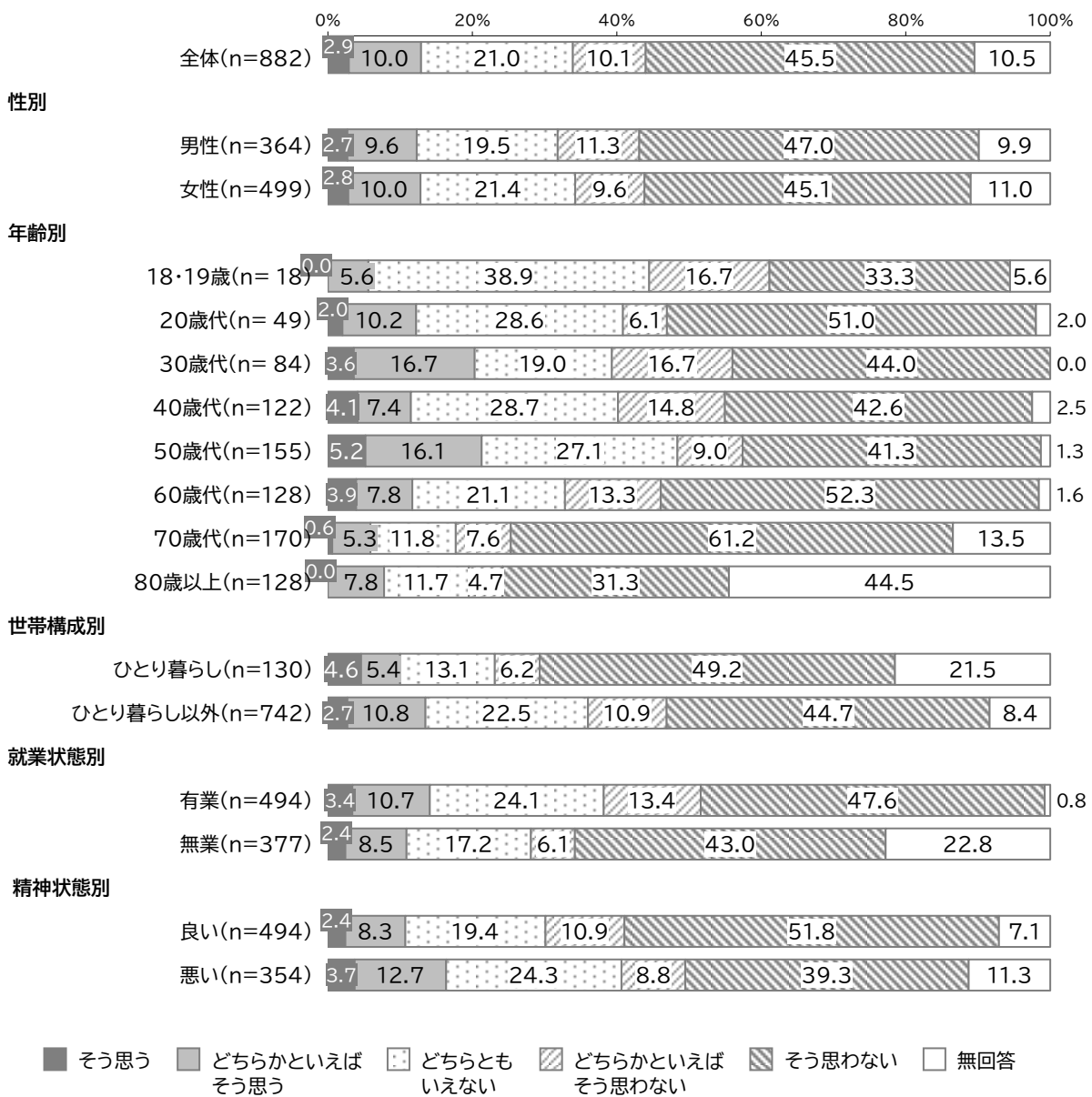
## ②家庭における家事や育児、介護等の負担が増えた

「そう思わない」が 45.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 21.0%、「どちらかといえばそう思わない」が 10.1%、「どちらかといえばそう思う」が 10.0%となっています。『影響があったと思う』は 12.9%となっています。

年齢別にみると、30 歳代と 50 歳代で『影響があったと思う』が2割台と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『影響があったと思う』は、良いグループよりも 5.7 ポイント高くなっています。

図 ②家庭における家事や育児、介護等の負担が増えた



### ③人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなった

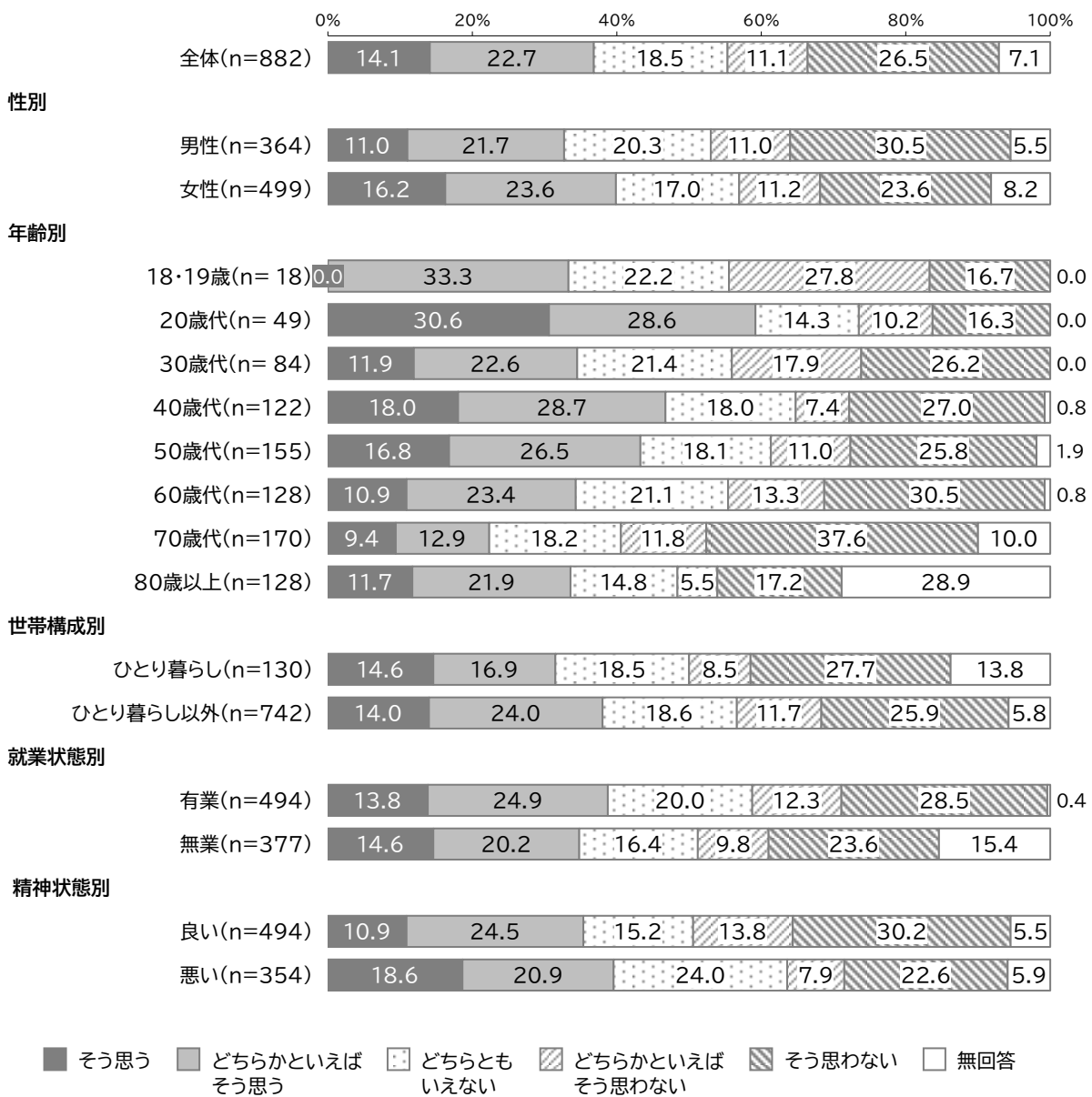
「そう思わない」が 26.5%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 22.7%、「どちらともいえない」が 18.5%、「そう思う」が 14.1%となっています。『影響があったと思う』は 36.8%となっています。

性別にみると、女性の『影響があったと思う』は、男性よりも 7.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20 歳代で『影響があったと思う』が6割前後と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの「どちらともいえない」は、良いグループよりも 8.8 ポイント高くなっています。

図 ③人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなった



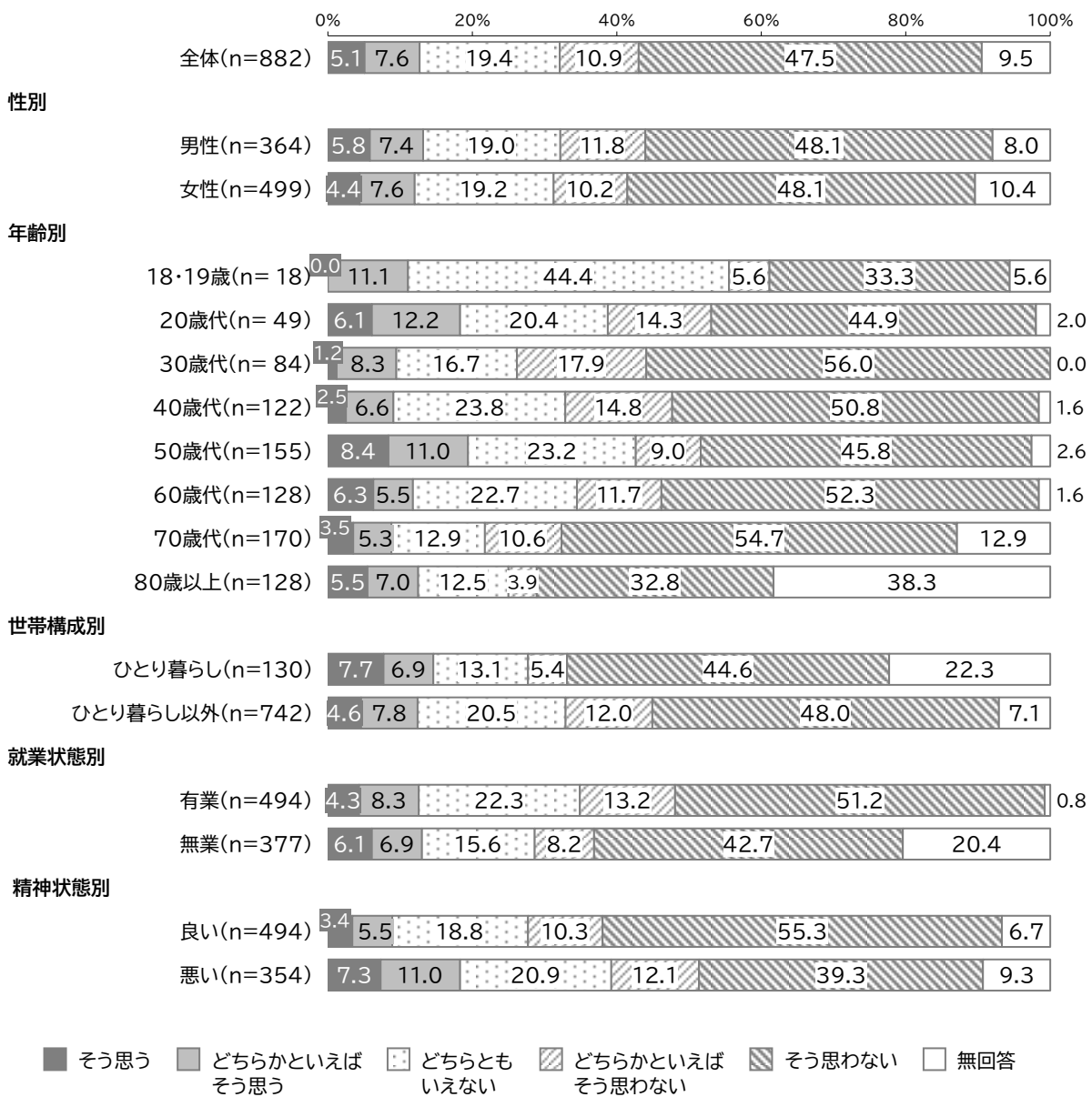
#### ④生活が脅かされるほど収入が少なくなった

「そう思わない」が 47.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 19.4%、「どちらかといえばそう思わない」が 10.9%、「どちらかといえばそう思う」が 7.6%となっています。『影響があったと思う』は 12.7%となっています。

年齢別にみると、20 歳代と 50 歳代で『影響があったと思う』が2割程度と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『影響があったと思う』は、良いグループよりも 9.4 ポイント高くなっています。

図 ④生活が脅かされるほど収入が少なくなった

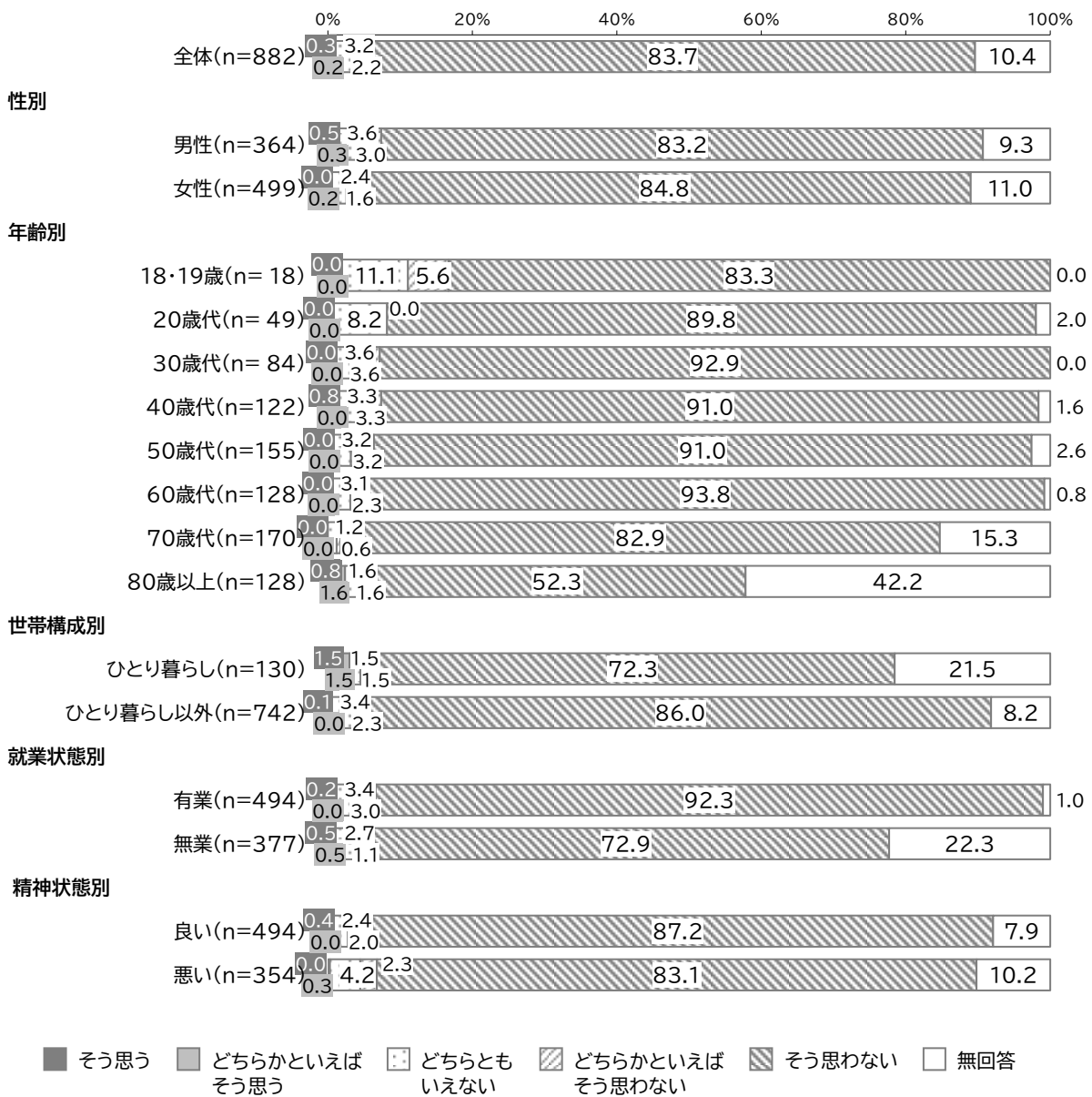


### ⑤住居が失われた

「そう思わない」が 83.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 3.2%、「どちらかといえばそう思わない」が 2.2%、「そう思う」が 0.3%となっています。『影響があったと思う』は 0.5%と少数です。

各属性性別で、『影響があったと思う』に大きな差はみられません。

図 ⑤住居が失われた



## ⑥こころの健康が悪化した

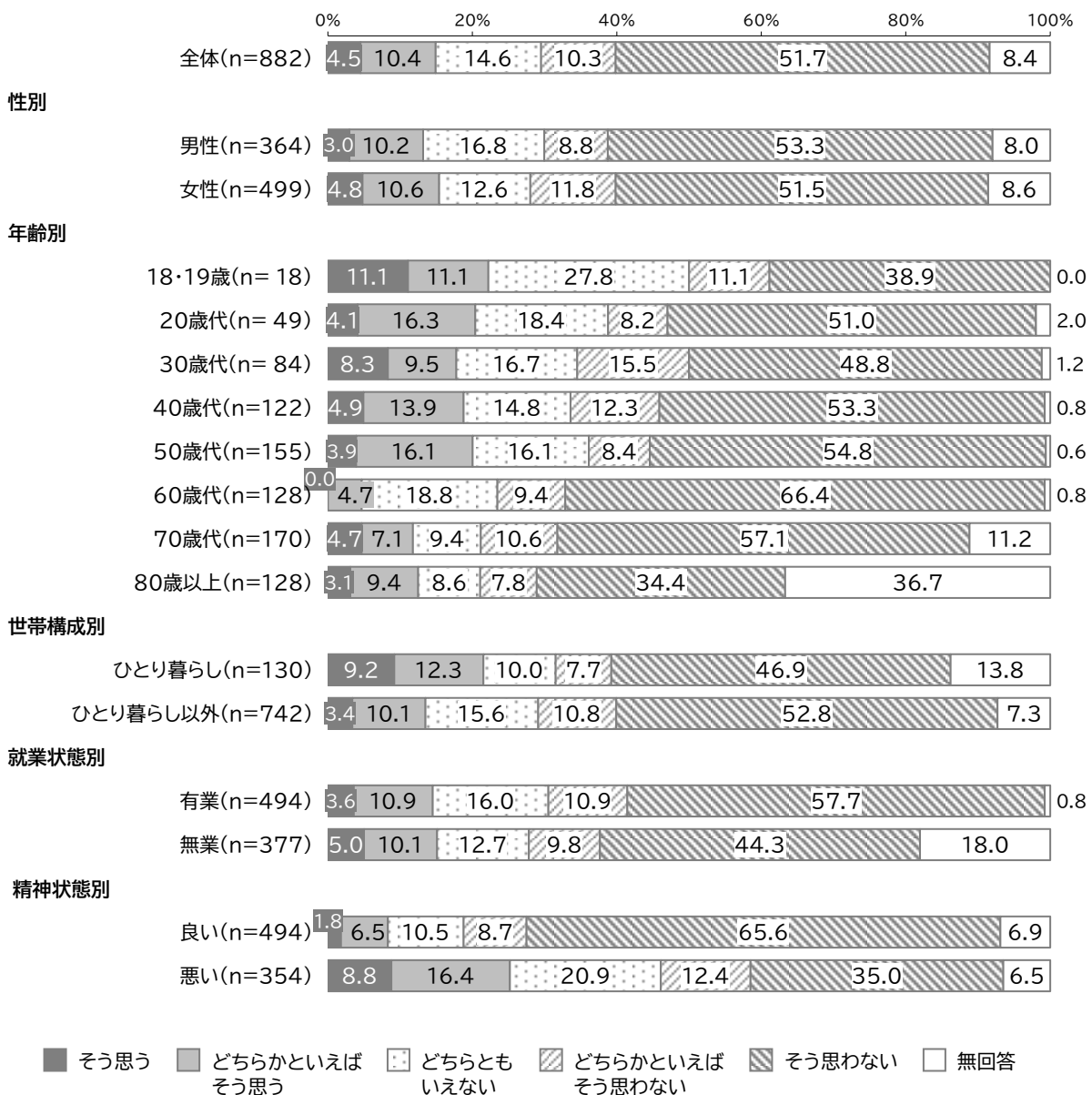
「そう思わない」が 51.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 14.6%、「どちらかといえばそう思う」が 10.4%、「どちらかといえばそう思わない」が 10.3%となっています。『影響があったと思う』は 14.9%となっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど『影響があったと思う』が高くなる傾向にあり、18・19 歳で 22.2%となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の『影響があったと思う』は、ひとり暮らし以外の世帯よりも 8.0 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『影響があったと思う』は、良いグループよりも 15 ポイント以上高くなっています。

図 ⑥こころの健康が悪化した



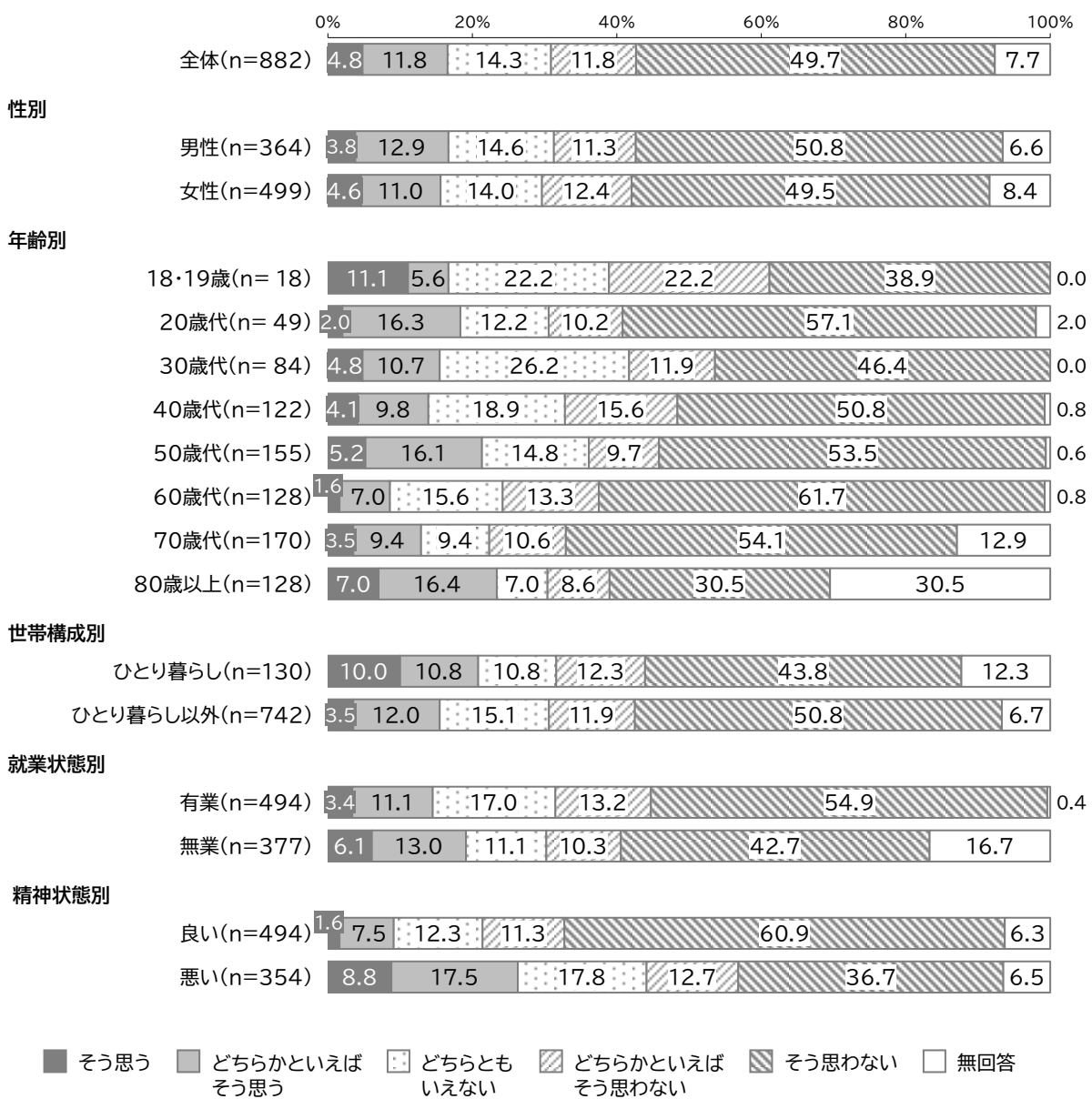
### ⑦からだの健康が悪化した

「そう思わない」が 49.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 14.3%、「どちらかといえばそう思う」と「どちらかといえばそう思わない」がともに 11.8%となっています。『影響があったと思う』は 16.6%となっています。

年齢別にみると、50 歳代と 80 歳以上で『影響があったと思う』が2割台と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『影響があったと思う』は、良いグループよりも 15 ポイント以上高くなっています。

図 ⑦からだの健康が悪化した



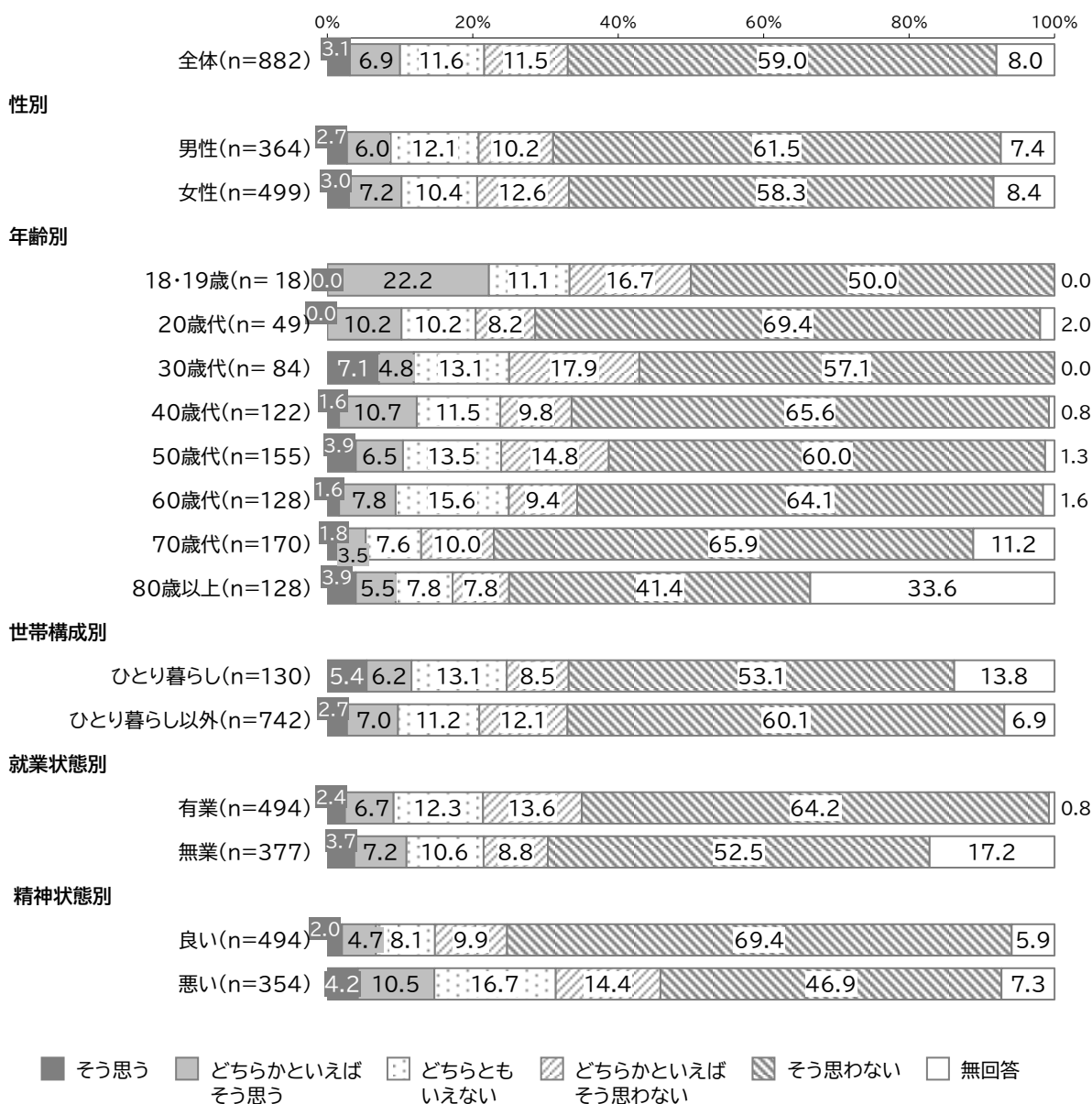
### ⑧家族や大事な人とのつながりが失われた

「そう思わない」が 59.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 11.6%、「どちらかといえばそう思わない」が 11.5%、「どちらかといえばそう思う」が 6.9%となっています。『影響があったと思う』は 10.0%となっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど『影響があったと思う』が高くなる傾向にあり、18・19 歳では「どちらかといえばそう思う」が2割程度となっています。

精神状態別にみると、悪いグループの『影響があったと思う』は、良いグループよりも 8.0 ポイント高くなっています。

図 ⑧家族や大事な人とのつながりが失われた



### 3 自殺について

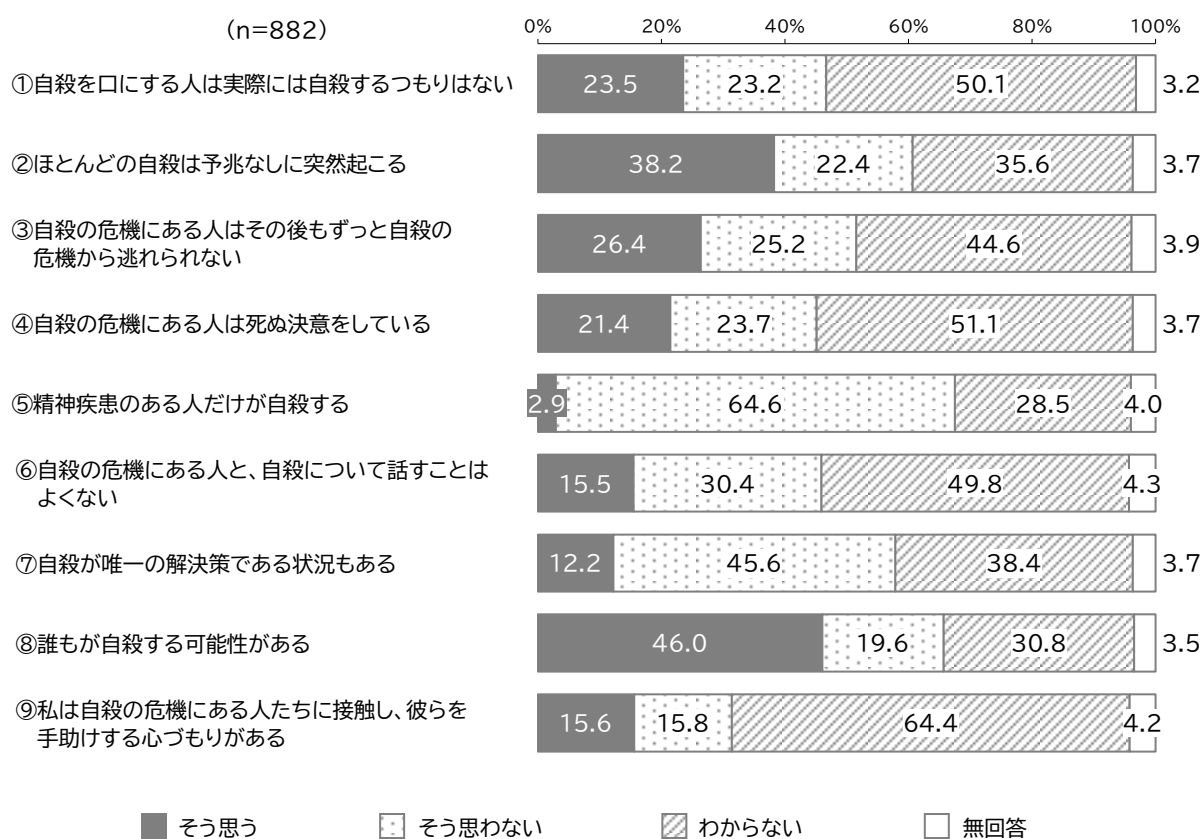
#### (1)自殺に関する認識

問13 次の9項目は自殺についての質問です。あなたの考えに合うほうに○をつけてください。(①から⑨について、○はそれぞれ1つ)

自殺に関する認識をみると、自殺に関する俗説①～⑥のなかで、「②ほとんどの自殺は予兆なしに突然起こる」で、「そう思う」が38.2%となっています。

それ以外の項目のうち、「⑧誰もが自殺する可能性がある」では「そう思う」が46.0%となっています。

図 自殺に関する認識



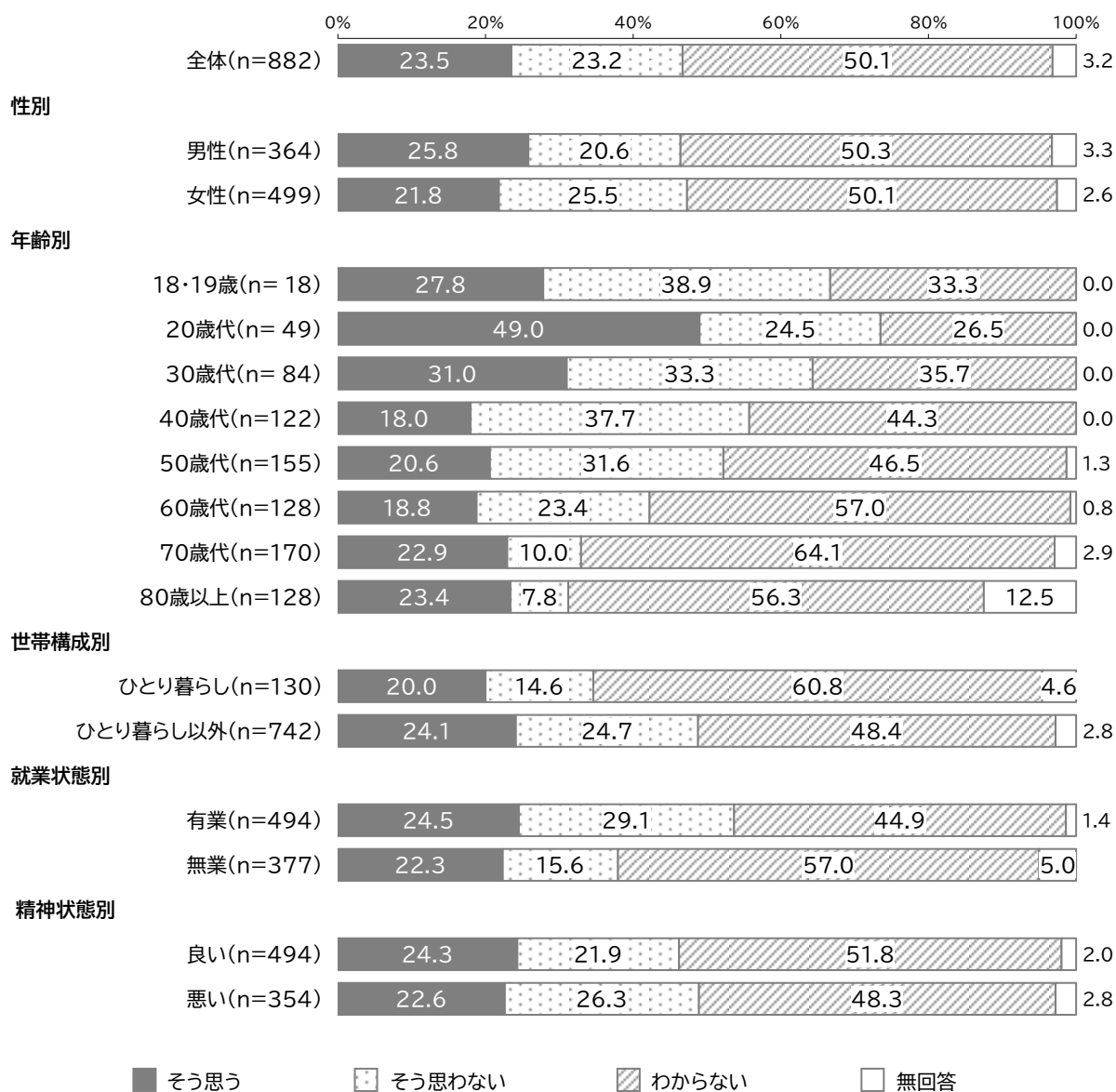


### ①自殺を口にする人は実際には自殺するつもりはない

「わからない」が 50.1%で最も高く、次いで「そう思う」が 23.5%、「そう思わない」が 23.2%となっています。年齢別にみると、「そう思う」は 18・19 歳～30 歳代が他の年代に比べて高く、20 歳代で約半数となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」は、無業者よりも 10 ポイント以上高くなっています。

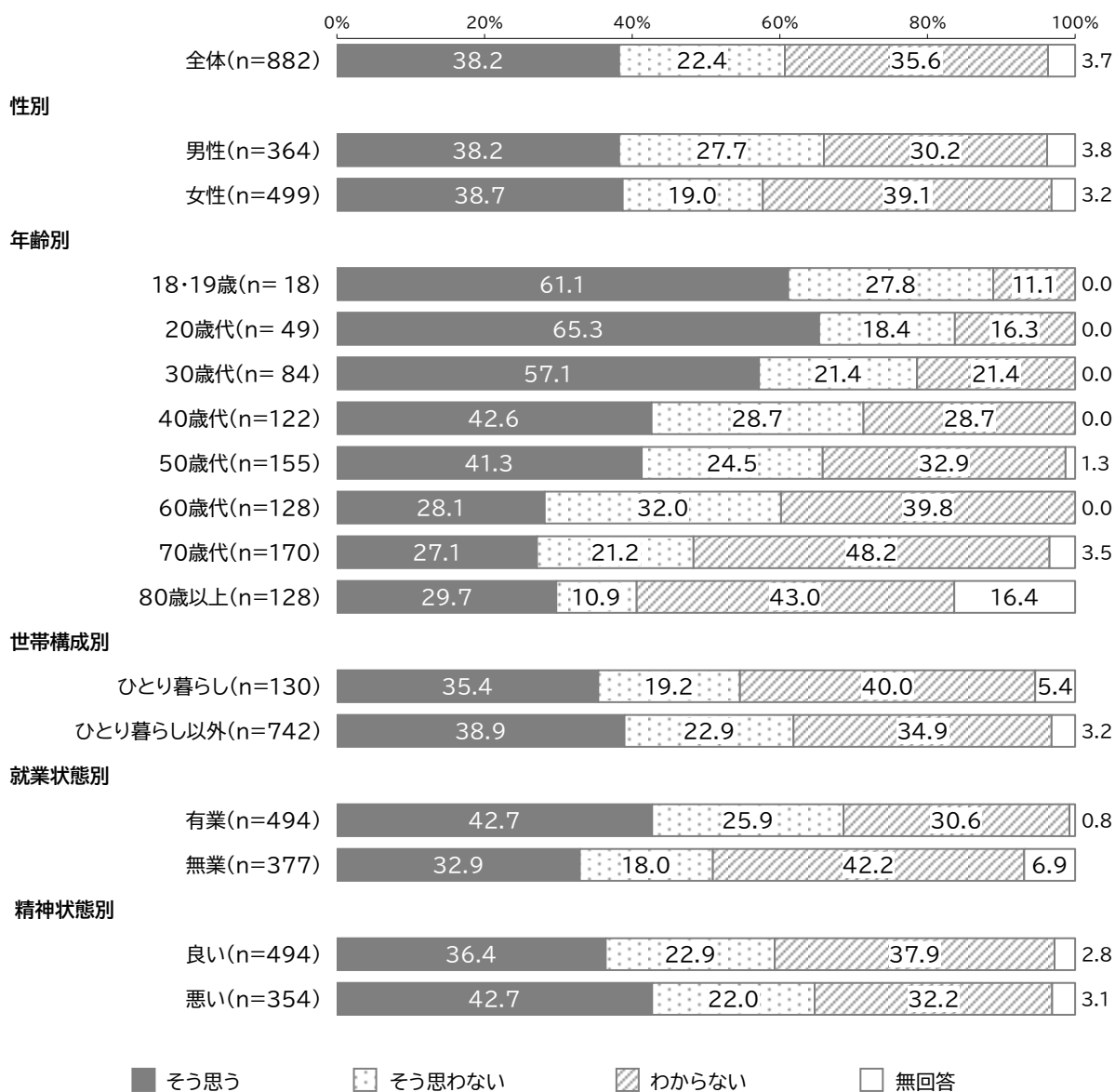
図 ①自殺を口にする人は実際には自殺するつもりはない



## ②ほとんどの自殺は予兆なしに突然起こる

「そう思う」が 38.2%で最も高く、次いで「わからない」が 35.6%、「そう思わない」が 22.4%となっています。  
性別にみると、男性の「そう思わない」は、女性よりも 8.7 ポイント高くなっています。  
年齢別にみると、年代が低くなるほど「そう思う」が高くなる傾向にあり、20 歳代以下で6割台となっています。  
就業状態別にみると、有業者の「そう思う」は、無業者よりも約 10 ポイント高くなっています。

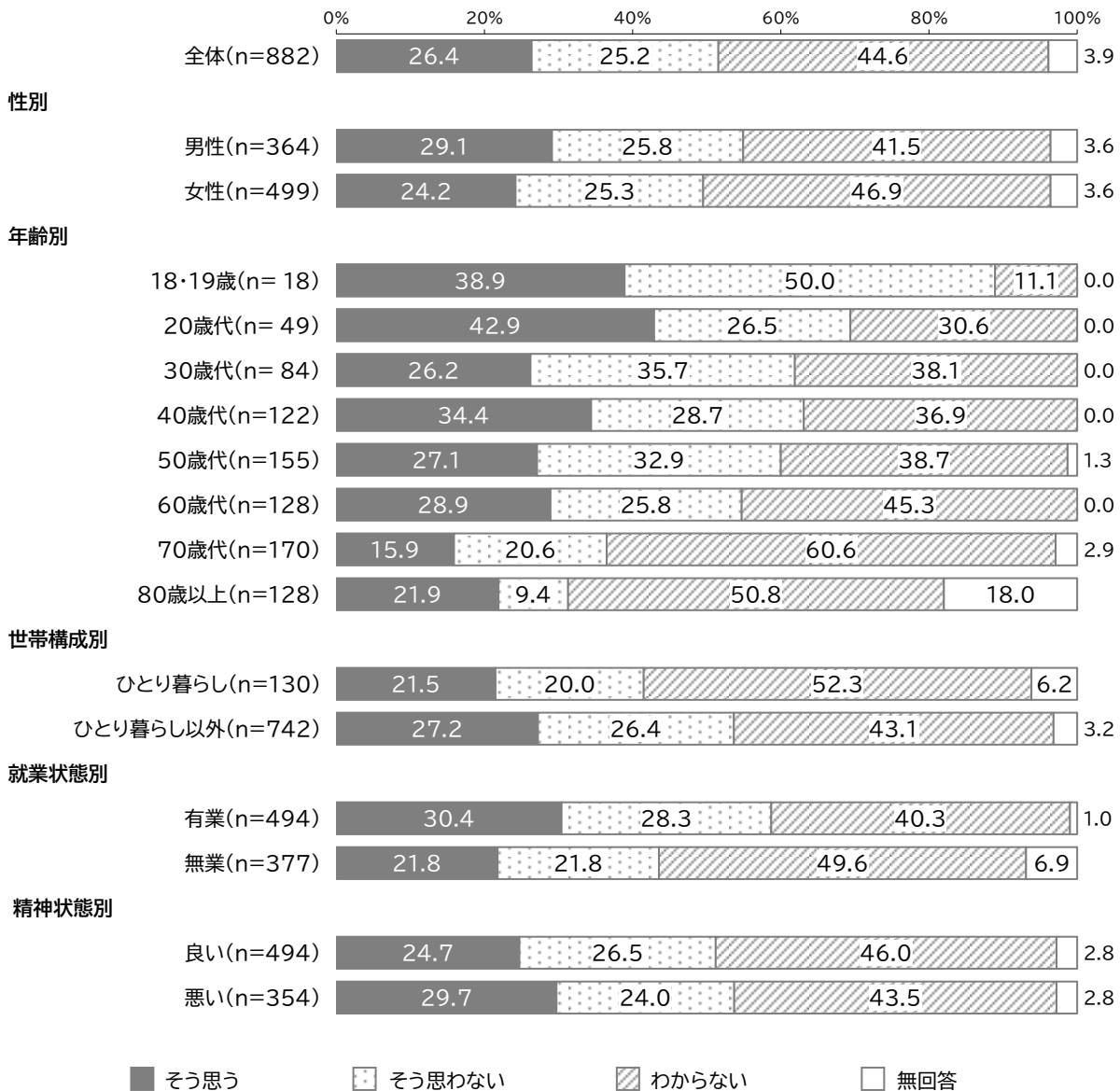
図 ②ほとんどの自殺は予兆なしに突然起こる



### ③自殺の危機にある人はその後もずっと自殺の危機から逃れられない

「わからない」が44.6%で最も高く、次いで「そう思う」が26.4%、「そう思わない」が25.2%となっています。  
性別にみると、男性の「そう思う」は、女性よりも4.9ポイント高くなっています。  
年齢別にみると、年代が低くなるほど「そう思う」が高くなる傾向にあり、20歳代以下で4割台となっています。  
就業状態別にみると、有業者の「そう思う」は、無業者よりも8.6ポイント高くなっています。

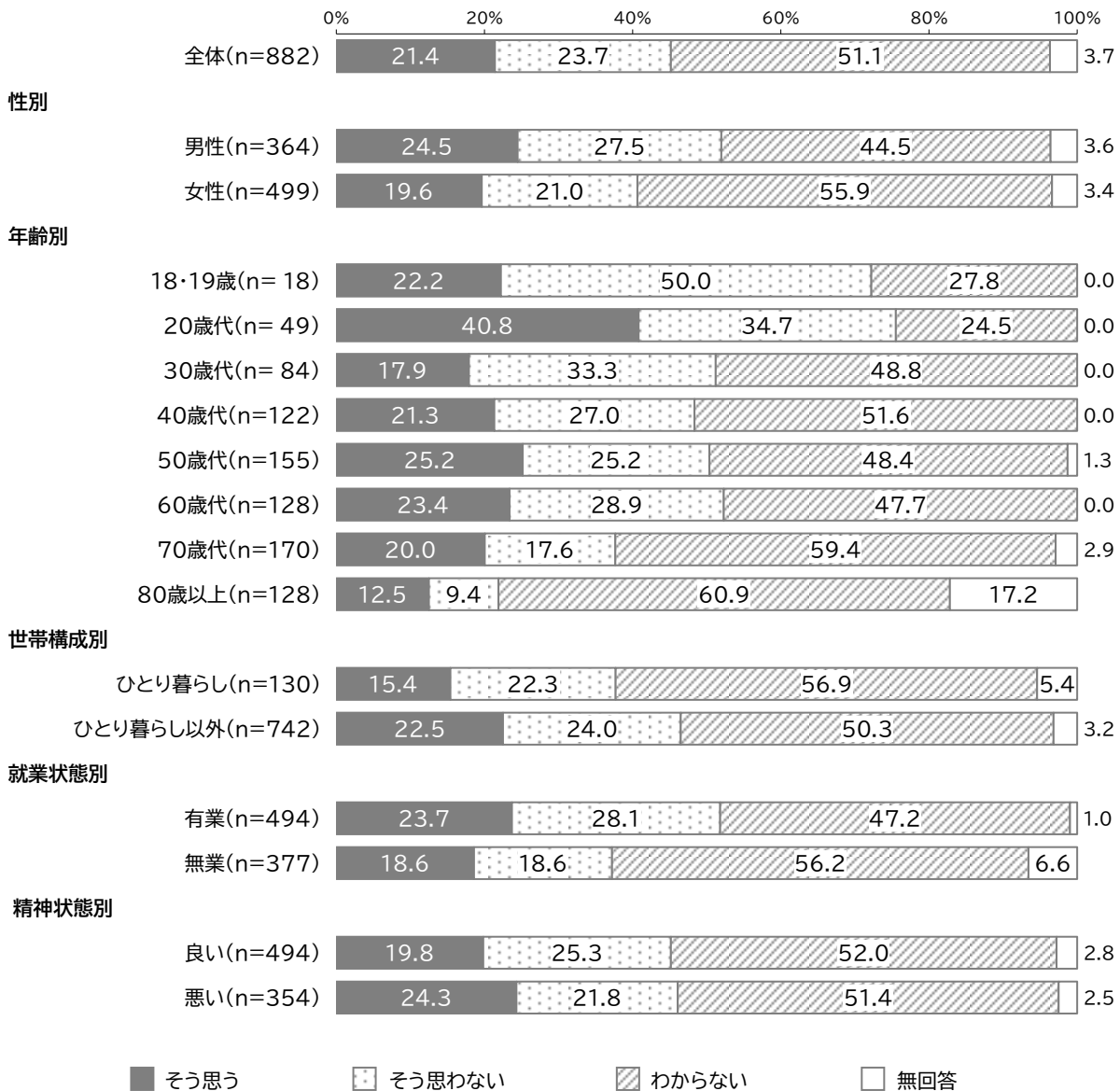
図 ③自殺の危機にある人はその後もずっと自殺の危機から逃れられない



#### ④自殺の危機にある人は死ぬ決意をしている

「わからない」が 51.1%で最も高く、次いで「そう思わない」が 23.7%、「そう思う」が 21.4%となっています。  
性別にみると、男性の「そう思う」と「そう思わない」が、それぞれ女性よりも高くなっています。  
年齢別にみると、20 歳代で「そう思う」が4割台と、他の年代に比べて高くなっています。  
就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」は、無業者よりも約 10 ポイント高くなっています。

図 ④自殺の危機にある人は死ぬ決意をしている



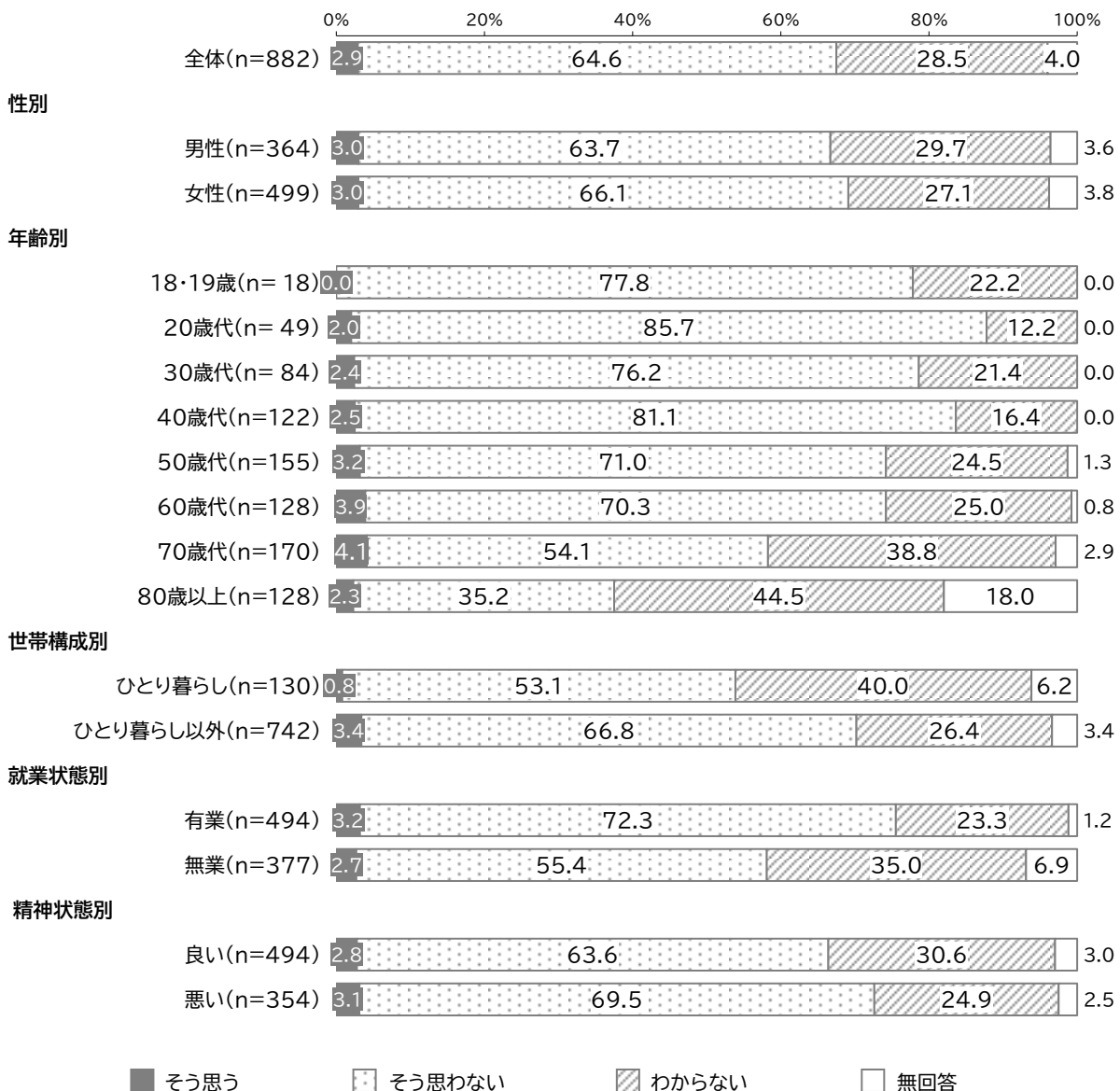
### ⑤精神疾患のある人だけが自殺する

「そう思わない」が64.6%で最も高く、次いで「わからない」が28.5%、「そう思う」が2.9%となっています。年齢別にみると、年代が高くなるほど「そう思わない」が低くなる傾向にあり、80歳以上で3割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「そう思わない」は、ひとり暮らし以外の世帯よりも10ポイント以上低くなっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」は、無業者よりも15ポイント以上高くなっています。

図 ⑤精神疾患のある人だけが自殺する

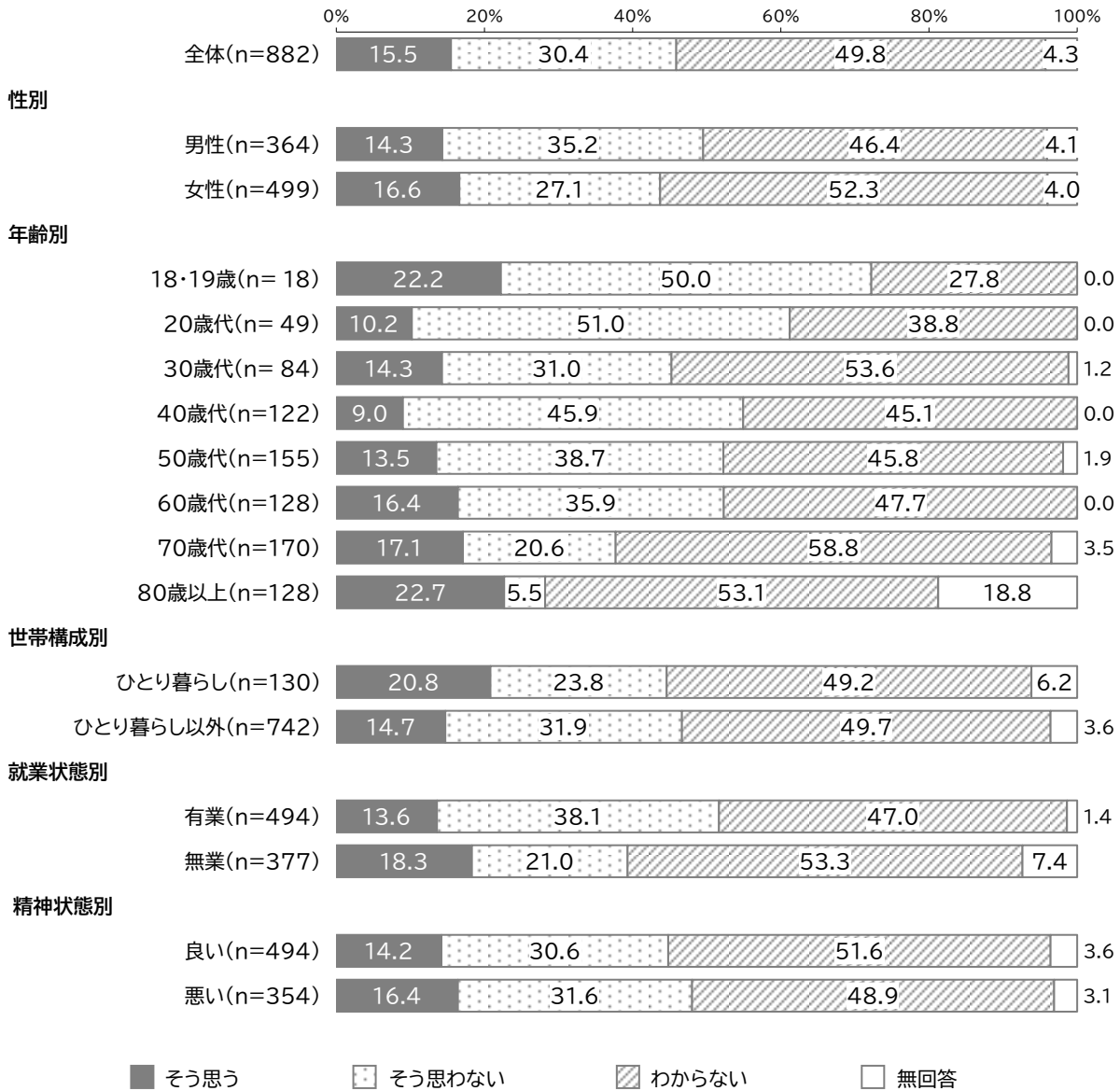


⑥自殺の危機にある人と、自殺について話すことはよくない

「わからない」が 49.8%で最も高く、次いで「そう思わない」が 30.4%、「そう思う」が 15.5%となっています。年齢別にみると、年代が低くなるほど「そう思わない」が高くなる傾向にあり、20 歳代以下で約半数となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」は、無業者よりも 15 ポイント以上高くなっています。

図 ⑥自殺の危機にある人と、自殺について話すことはよくない

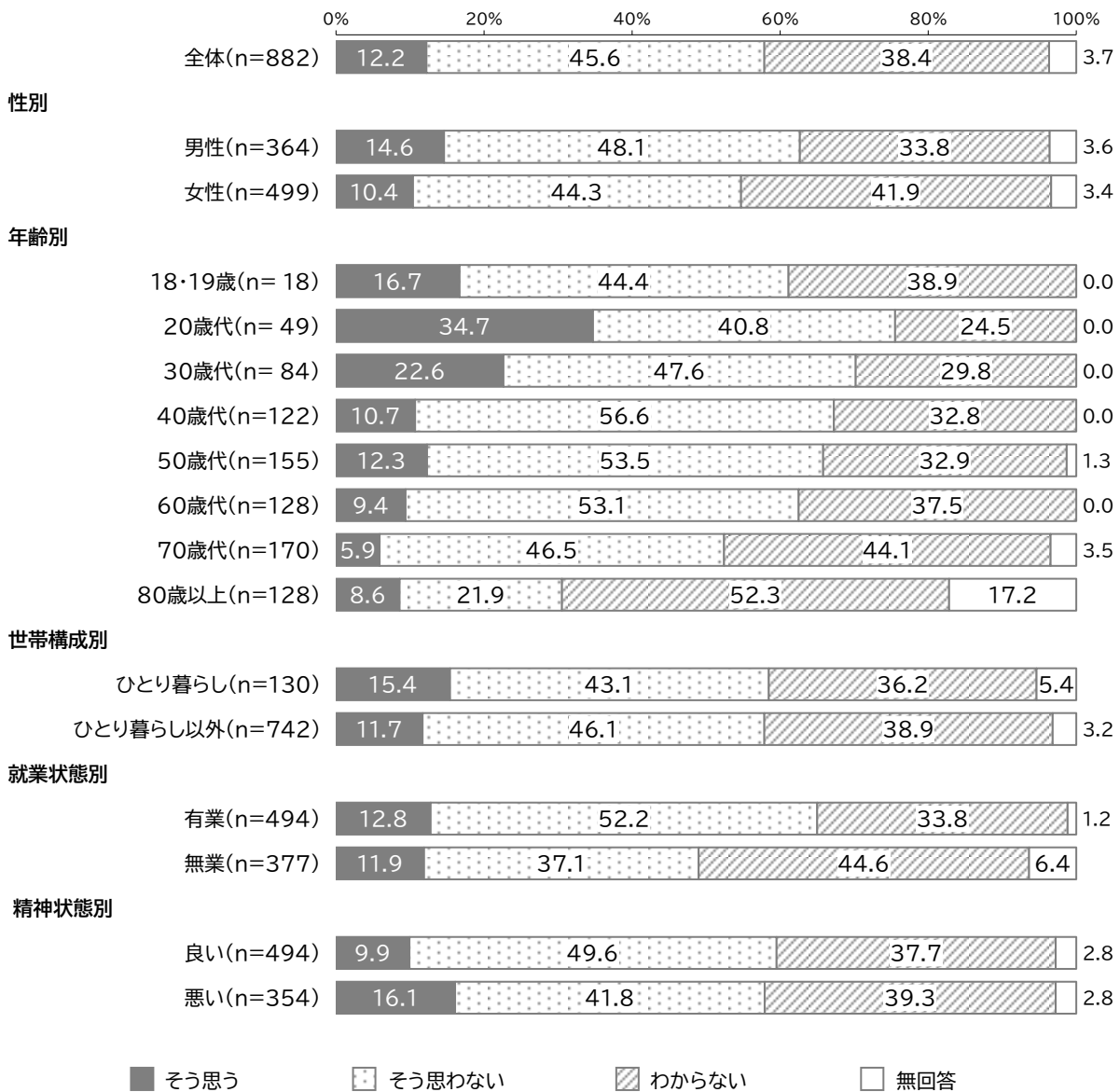


⑦自殺が唯一の解決策である状況もある

「そう思わない」が45.6%で最も高く、次いで「わからない」が38.4%、「そう思う」が12.2%となっています。年齢別にみると、「そう思う」は18・19歳～30歳代が他の年代に比べて高く、20歳代で3割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」は、無業者よりも約15ポイント高くなっています。精神状態別にみると、悪いグループの「そう思う」は、良いグループよりも6.2ポイント高くなっています。

図 ⑦自殺が唯一の解決策である状況もある



### ⑧誰もが自殺する可能性がある

「そう思う」が46.0%で最も高く、次いで「わからない」が30.8%、「そう思わない」が19.6%となっています。

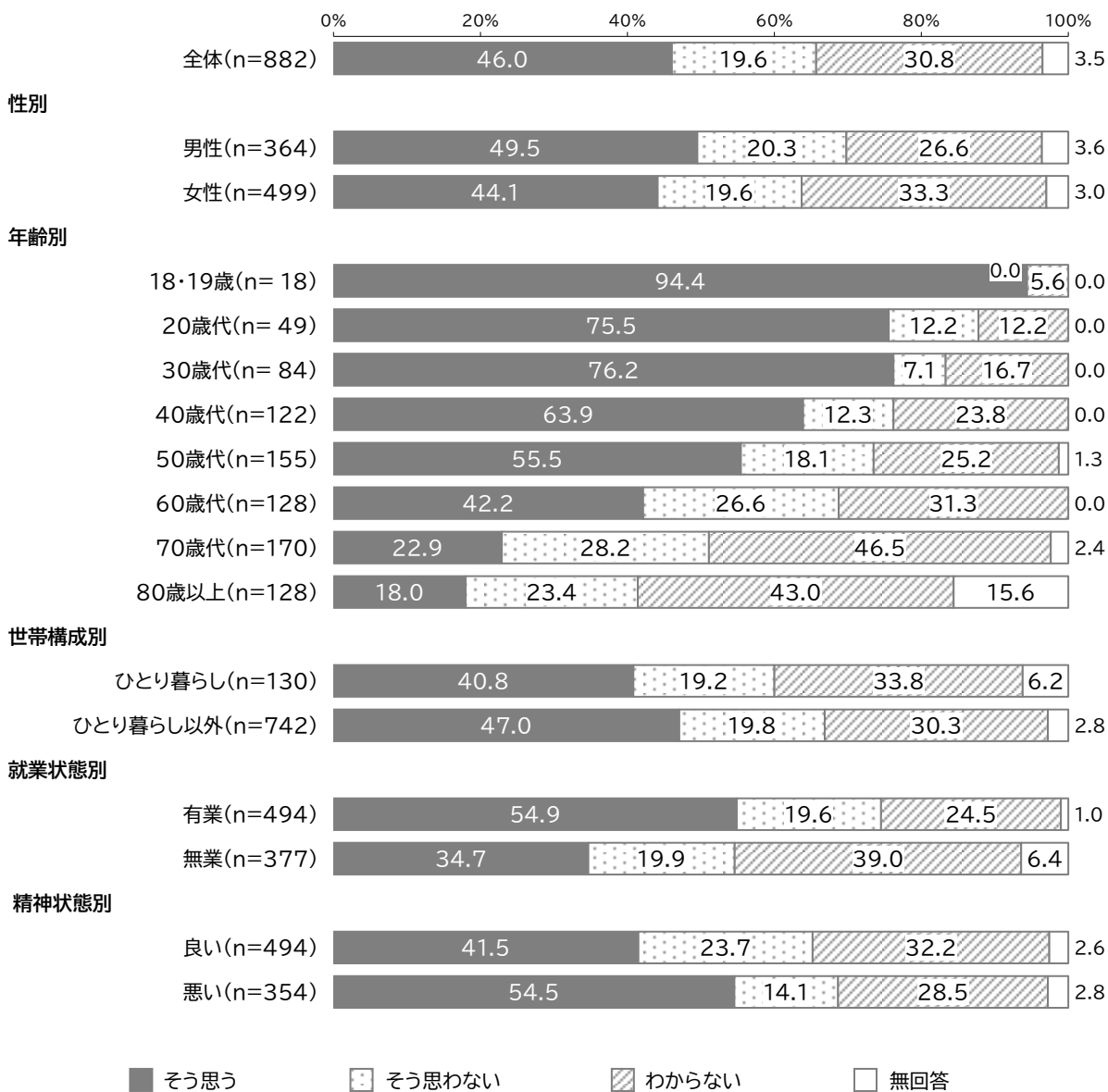
性別にみると、男性の「そう思う」は、女性よりも5.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「そう思う」が高くなる傾向にあり、18・19歳で9割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思う」は、無業者よりも約20ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの「そう思う」は、良いグループよりも10ポイント以上高くなっています。

図 ⑧誰もが自殺する可能性がある

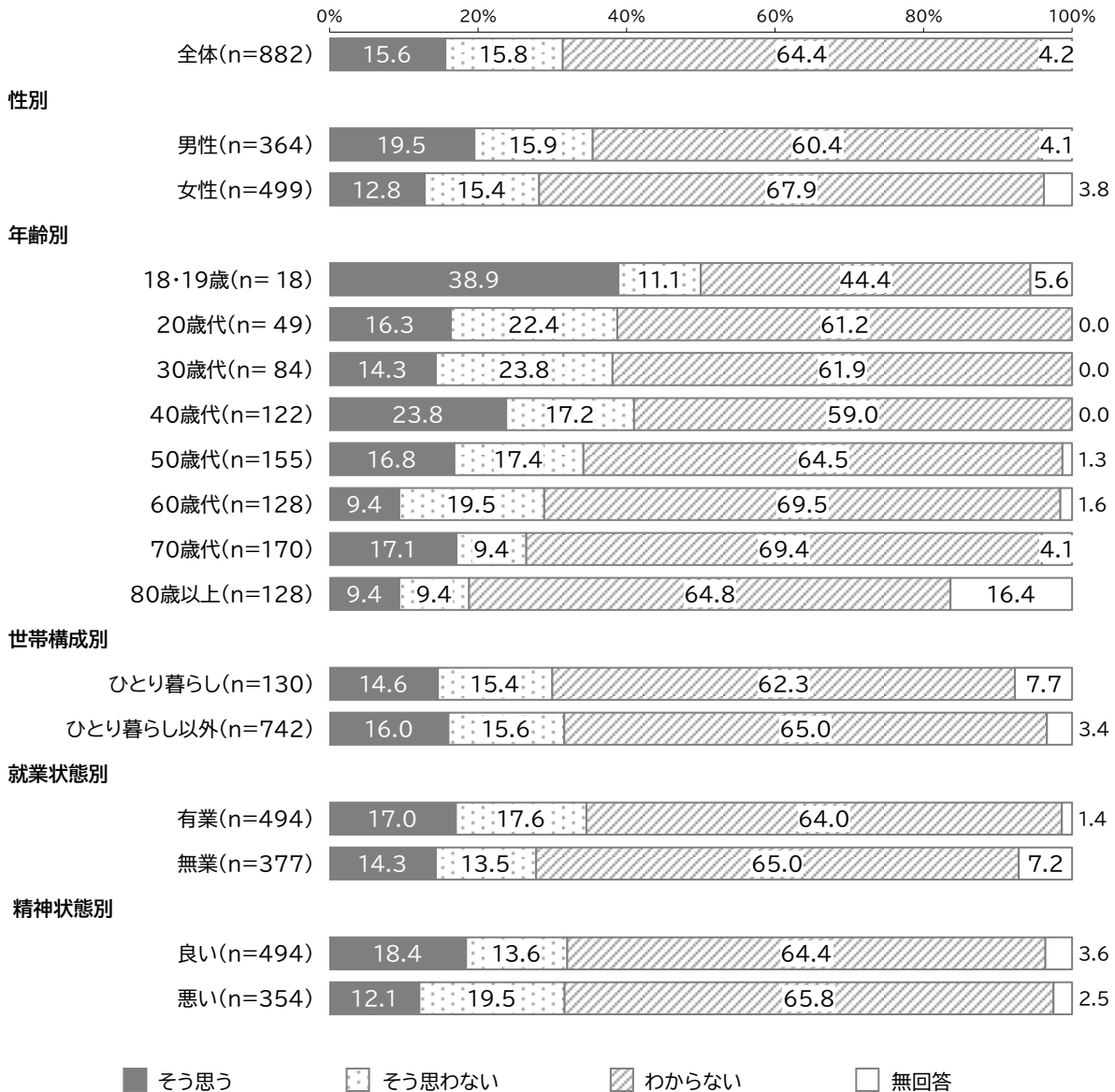




⑨私は自殺の危機にある人たちに接触し、彼らを手助けする心づもりがある

「わからない」が64.4%で最も高く、次いで「そう思わない」が15.8%、「そう思う」が15.6%となっています。  
 性別にみると、男性の「そう思う」は、女性よりも6.7ポイント高くなっています。  
 年齢別にみると、18・19歳で「そう思う」が4割程度と、他の年代に比べて高くなっています。  
 精神状態別にみると、良いグループの「そう思う」は、悪いグループよりも6.3ポイント高くなっています。

図 ⑨私は自殺の危機にある人たちに接触し、彼らを手助けする心づもりがある



## 4 相談することについて

### (1) 自殺を考えたことがあるか

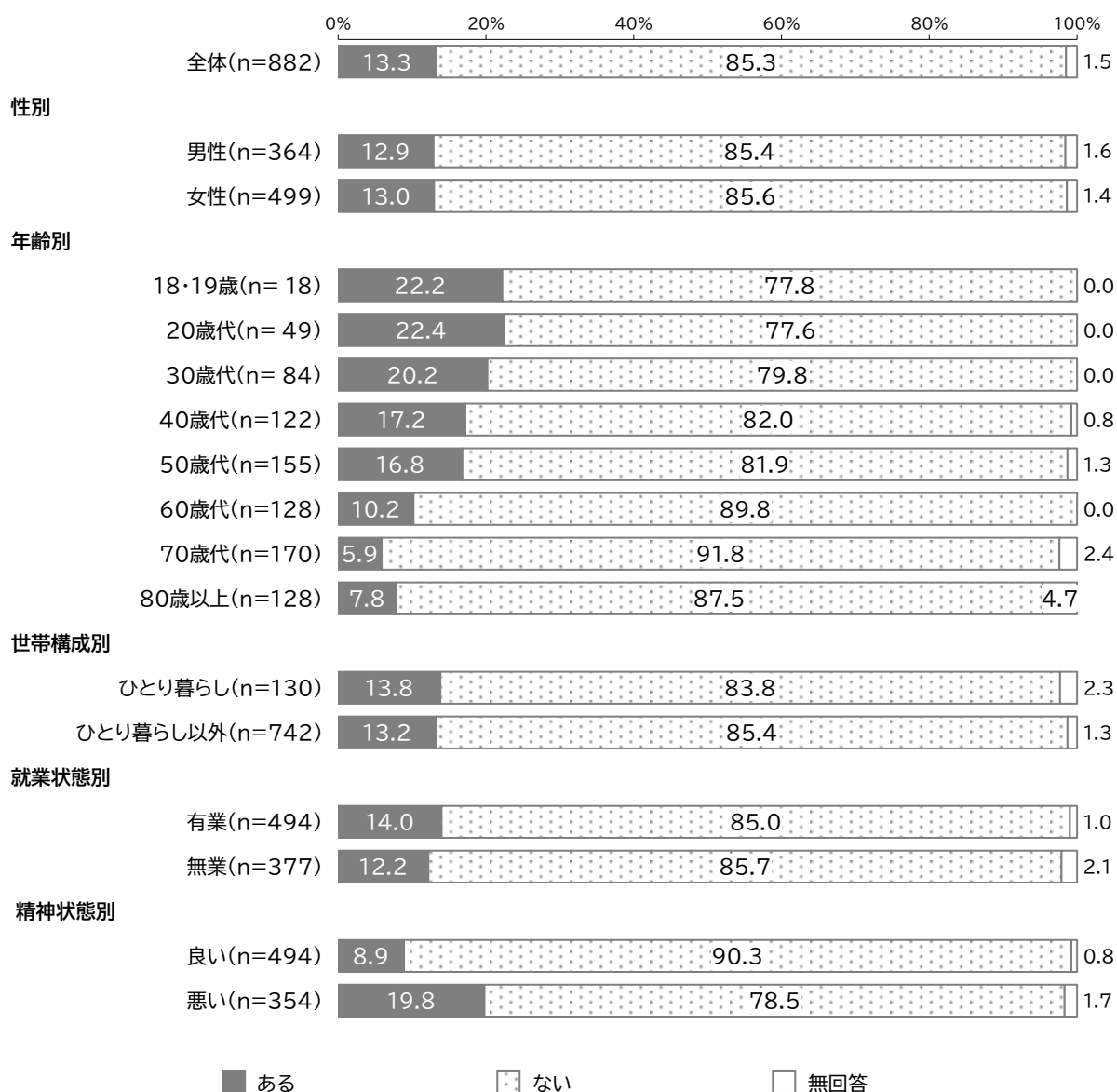
問14 あなたは、これまでの人生の中で、本気で自殺を考えたことがありますか。(〇は1つ)

自殺を考えたことの有無をみると、「ある」が13.3%、「ない」が85.3%となっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「ある」が高くなる傾向にあり、30歳代以下で2割台となっています。

精神状態別にみると、悪いグループの「ある」の割合は、良いグループの2倍以上となっています。

図 自殺を考えたことがあるか



## (2)自殺を考えたときに相談をしたか

問14で「1. ある」と回答された方にお聞きします。

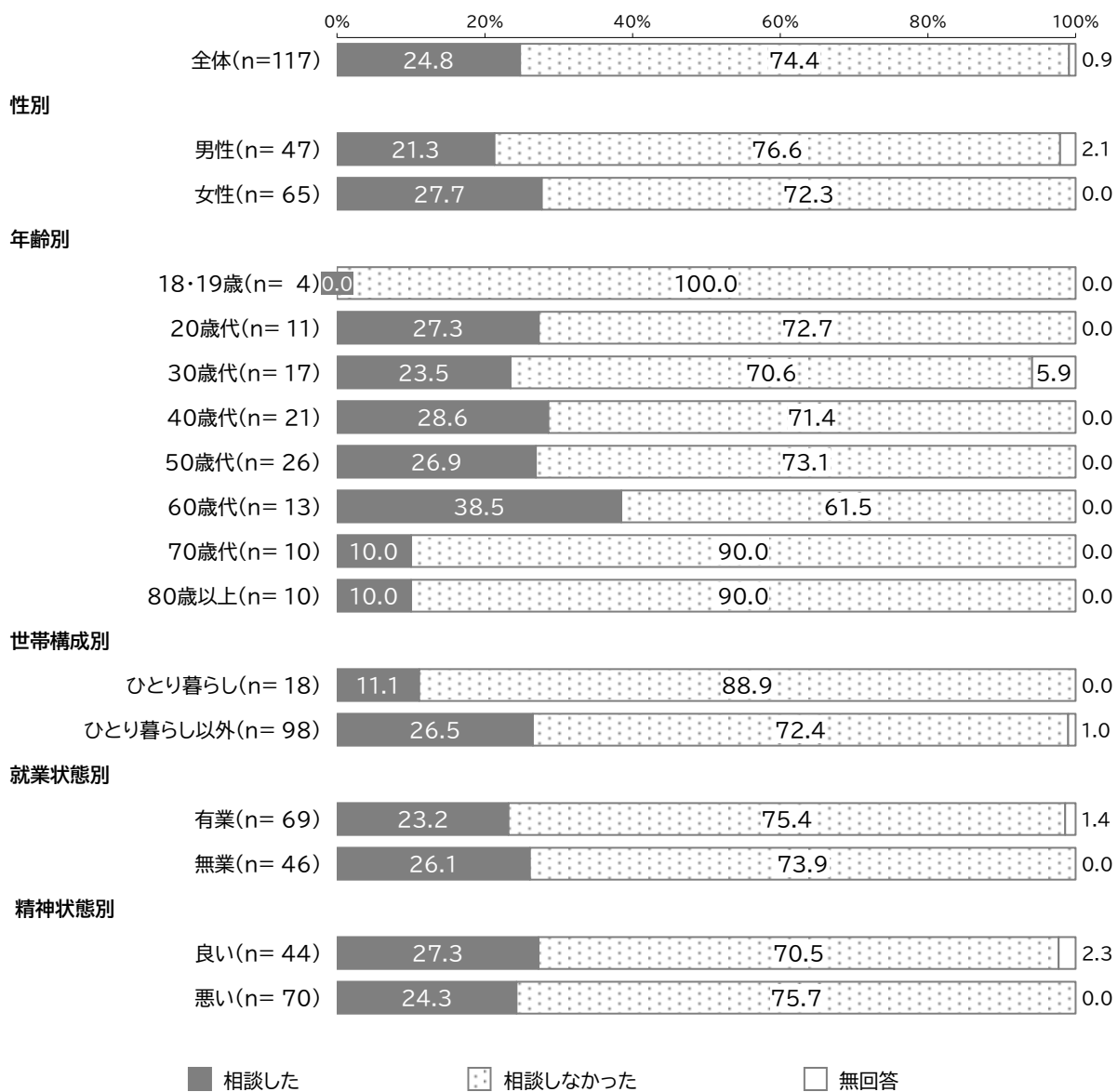
問14-1 誰かに相談しましたか。(〇は1つ)

自殺を考えたときの相談の有無をみると、「相談した」が24.8%、「相談しなかった」が74.4%となり、相談した人は4人に1人程度となっています。

年齢別にみると、「相談した」は20歳代～60歳代が他の年代に比べて高く、60歳代で4割弱となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯で「相談しなかった」が9割弱となっています。

図 自殺を考えたときに相談をしたか



### (3)自殺を考えたときにだれに相談したか

問14-1で「1. 相談した」と回答された方にお聞きします。

問14-2 誰に相談しましたか。(〇はいくつでも)

自殺を考えたときに相談した人を見ると、「家族や親族」が69.0%で最も高く、次いで「友人や同僚」が27.6%、「かかりつけの医療機関」が20.7%となっています。

性別にみると、女性の「友人や同僚」は、男性よりも20ポイント以上高くなっています。

就業状態別にみると、有業者の「家族や親族」は、無業者よりも20ポイント以上高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの「かかりつけの医療機関」は、良いグループよりも20ポイント以上高くなっています。

図 自殺を考えたときにだれに相談したか

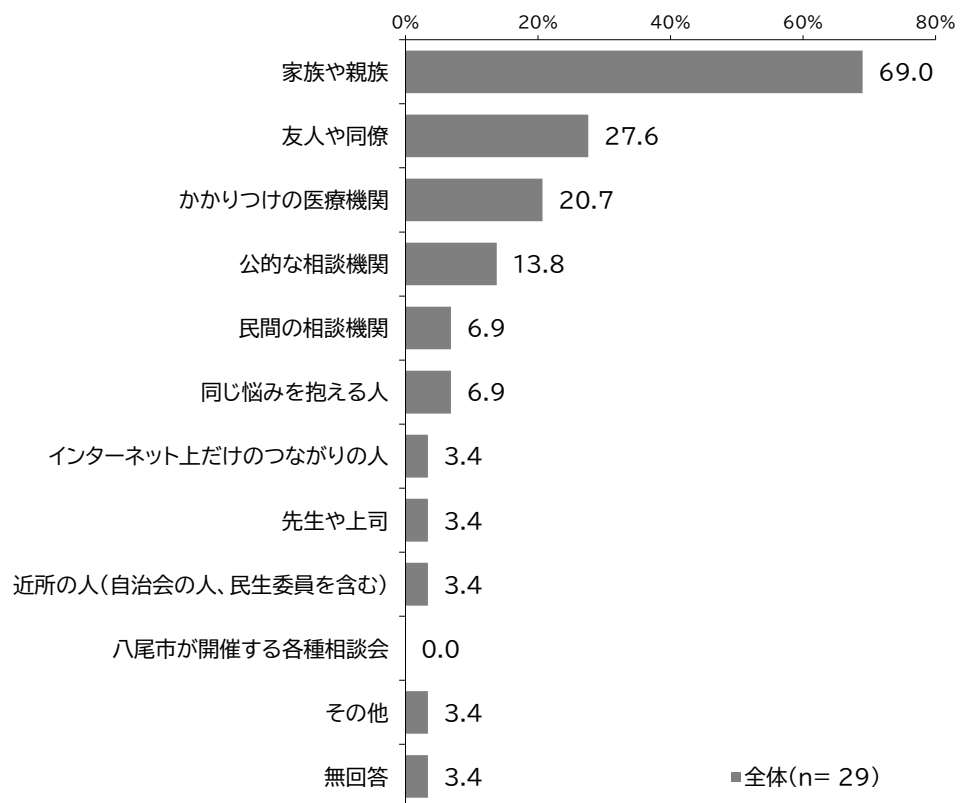


表 自殺を考えたときにだれに相談したか

		回答者数(n)	家族や親族	友人や同僚	かかりつけの医療機関	公的な相談機関	民間の相談機関	同じ悩みを抱える人	インターネット上だけのつながりの人	先生や上司
全体		29	69.0	27.6	20.7	13.8	6.9	6.9	3.4	3.4
性別	男性	10	80.0	10.0	20.0	10.0	-	-	-	-
	女性	18	66.7	38.9	22.2	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6
年齢別	18・19歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	4	100.0	50.0	25.0	-	-	-	25.0	-
	40歳代	6	50.0	50.0	16.7	-	16.7	-	-	-
	50歳代	7	85.7	28.6	57.1	-	14.3	14.3	-	-
	60歳代	5	60.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	20.0
	70歳代	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	80歳以上	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
世帯構成別	ひとり暮らし	2	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-
	ひとり暮らし以外	26	69.2	26.9	23.1	11.5	7.7	7.7	3.8	3.8
就業状態別	有業	16	81.3	25.0	25.0	6.3	6.3	12.5	-	6.3
	無業	12	58.3	33.3	16.7	16.7	8.3	-	8.3	-
精神状態別	良い	12	75.0	41.7	8.3	25.0	8.3	16.7	-	8.3
	悪い	17	64.7	17.6	29.4	5.9	5.9	-	5.9	-

		回答者数(n)	近所の人(自治会の人、民生委員を含む)	八尾市が開催する各種相談会	その他	無回答
全体		29	3.4	-	3.4	3.4
性別	男性	10	10.0	-	-	10.0
	女性	18	-	-	-	-
年齢別	18・19歳	0	-	-	-	-
	20歳代	3	-	-	-	-
	30歳代	4	-	-	-	-
	40歳代	6	-	-	-	-
	50歳代	7	14.3	-	-	-
	60歳代	5	-	-	-	20.0
	70歳代	1	-	-	-	-
	80歳以上	1	-	-	-	-
世帯構成別	ひとり暮らし	2	-	-	-	-
	ひとり暮らし以外	26	3.8	-	-	3.8
就業状態別	有業	16	6.3	-	-	6.3
	無業	12	-	-	-	-
精神状態別	良い	12	-	-	-	-
	悪い	17	5.9	-	5.9	5.9

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

#### (4)自殺を考えたときに相談しなかったのはなぜか

問14-1で「2. 相談しなかった」と回答された方にお聞きします。

問14-3 その理由について、あてはまるものを教えてください。(〇はいくつでも)

自殺を考えたときに相談しなかった理由をみると、「相談しても解決できないと思うから」が62.1%で最も高く、次いで「身近な人に相談することで、心配をかけたり、困らせてしまうから」が47.1%、「悩みを話すことに抵抗を感じるから」が41.4%となっています。

性別にみると、男性の「相談しても解決できないと思うから」は、女性よりも約15ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの「相談しても解決できないと思うから」は、良いグループよりも20ポイント以上高くなっています。

図 自殺を考えたときに相談しなかったのはなぜか

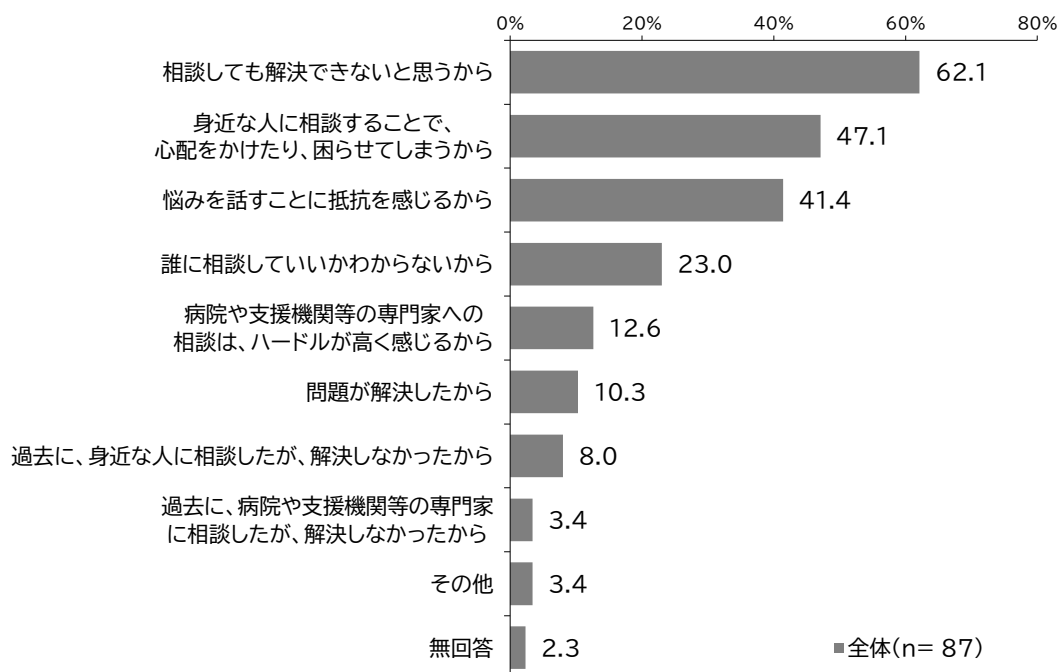


表 自殺を考えたときに相談しなかったのはなぜか

		回答者数(n)	相談しても解決できない と思うから	身近な人に相談すること で、心配をかけたたり、困 らせてしまつたから	身近な人に相談することに抵抗を 感じるから	悩みを話すことに抵抗を 感じるから	誰に相談していいかわか らないから	病院や支援機関等の専門 家への相談は、ハードル が高く感じるから	問題が解決したから	過去に、病院や支援機 関等の専門家に相談した が、解決しなかつたから	過去に、病院や支援機 関等の専門家に相談した が、解決しなかつたから	その他	無回答
全体		87	62.1	47.1	41.4	23.0	12.6	10.3	8.0	3.4	3.4	2.3	
性別	男性	36	72.2	47.2	44.4	19.4	11.1	13.9	13.9	2.8	-	-	
	女性	47	57.4	48.9	40.4	27.7	14.9	8.5	4.3	4.3	6.4	2.1	
年齢別	18・19 歳	4	75.0	75.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-	
	20 歳代	8	62.5	50.0	62.5	12.5	37.5	-	-	-	-	-	
	30 歳代	12	58.3	41.7	50.0	25.0	25.0	25.0	8.3	-	8.3	-	
	40 歳代	15	66.7	33.3	20.0	20.0	6.7	13.3	20.0	13.3	-	-	
	50 歳代	19	73.7	57.9	42.1	36.8	10.5	10.5	10.5	-	10.5	-	
	60 歳代	8	37.5	50.0	50.0	25.0	-	12.5	-	-	-	-	
	70 歳代	9	55.6	33.3	33.3	33.3	11.1	-	-	-	-	-	
	80 歳以上	9	66.7	55.6	55.6	11.1	11.1	-	-	11.1	-	11.1	
世帯 構成別	ひとり暮らし	16	56.3	37.5	37.5	12.5	-	6.3	6.3	-	-	6.3	
	ひとり暮らし以外	71	63.4	49.3	42.3	25.4	15.5	11.3	8.5	4.2	4.2	1.4	
就業 状態別	有業	52	65.4	46.2	42.3	21.2	11.5	15.4	7.7	1.9	5.8	-	
	無業	34	55.9	50.0	41.2	26.5	14.7	2.9	8.8	5.9	-	5.9	
精神 状態別	良い	31	48.4	48.4	41.9	12.9	9.7	22.6	6.5	3.2	6.5	3.2	
	悪い	53	71.7	47.2	41.5	30.2	15.1	3.8	9.4	3.8	1.9	-	

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

(5)八尾市保健所の相談窓口の認知度

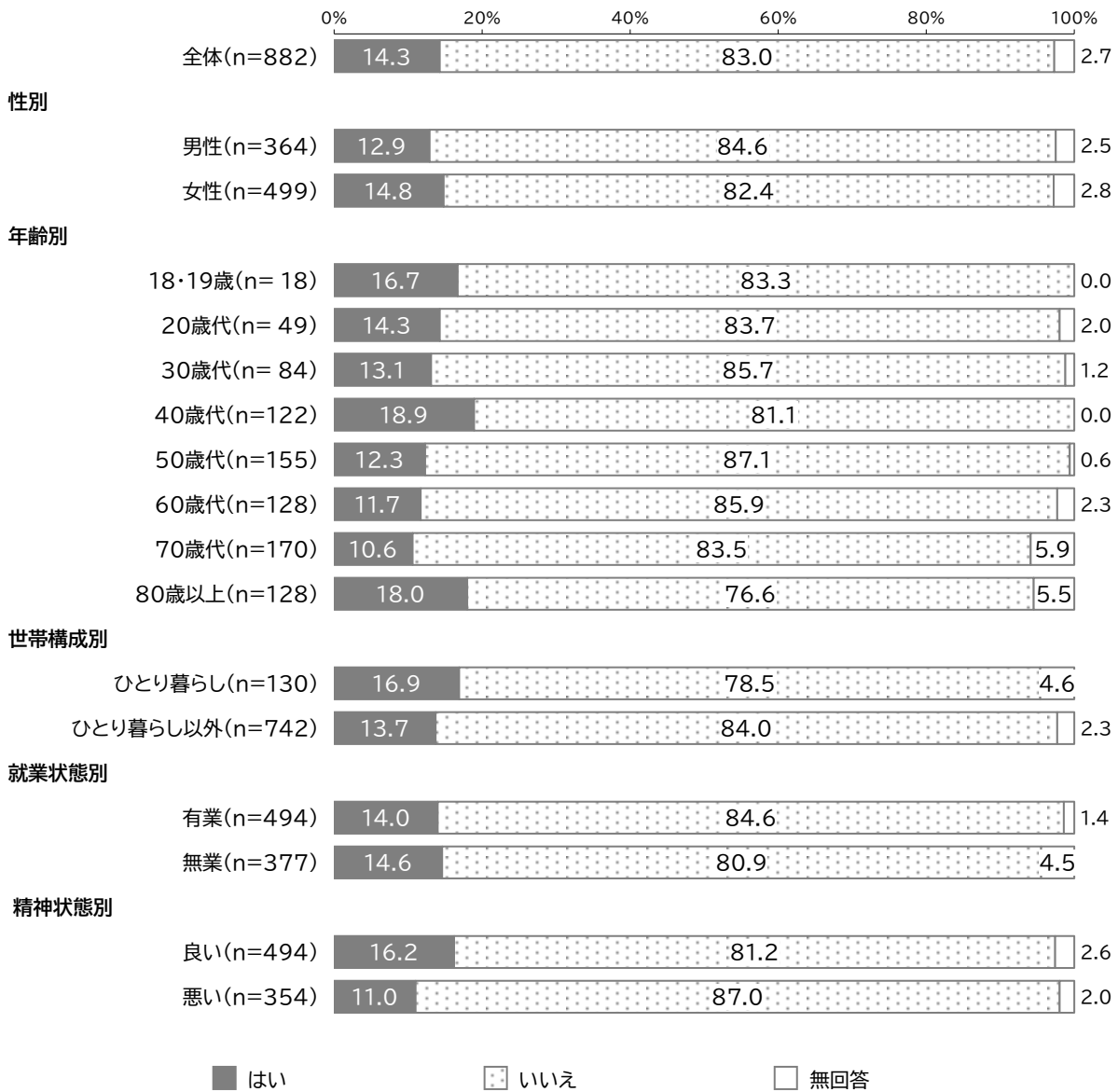
問15 あなたは、八尾市保健所で精神保健福祉相談を受けられることを知っていますか。(〇は1つ)

八尾市保健所で精神保健福祉相談を受けられることの認知度をみると、「はい」が 14.3%、「いいえ」が 83.0%となっています。

年齢別にみると、40歳代と80歳以上で「はい」が2割弱と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの「はい」は、良いグループよりも5.2ポイント低くなっています。

図「八尾市保健所精神保健福祉相談」の認知度

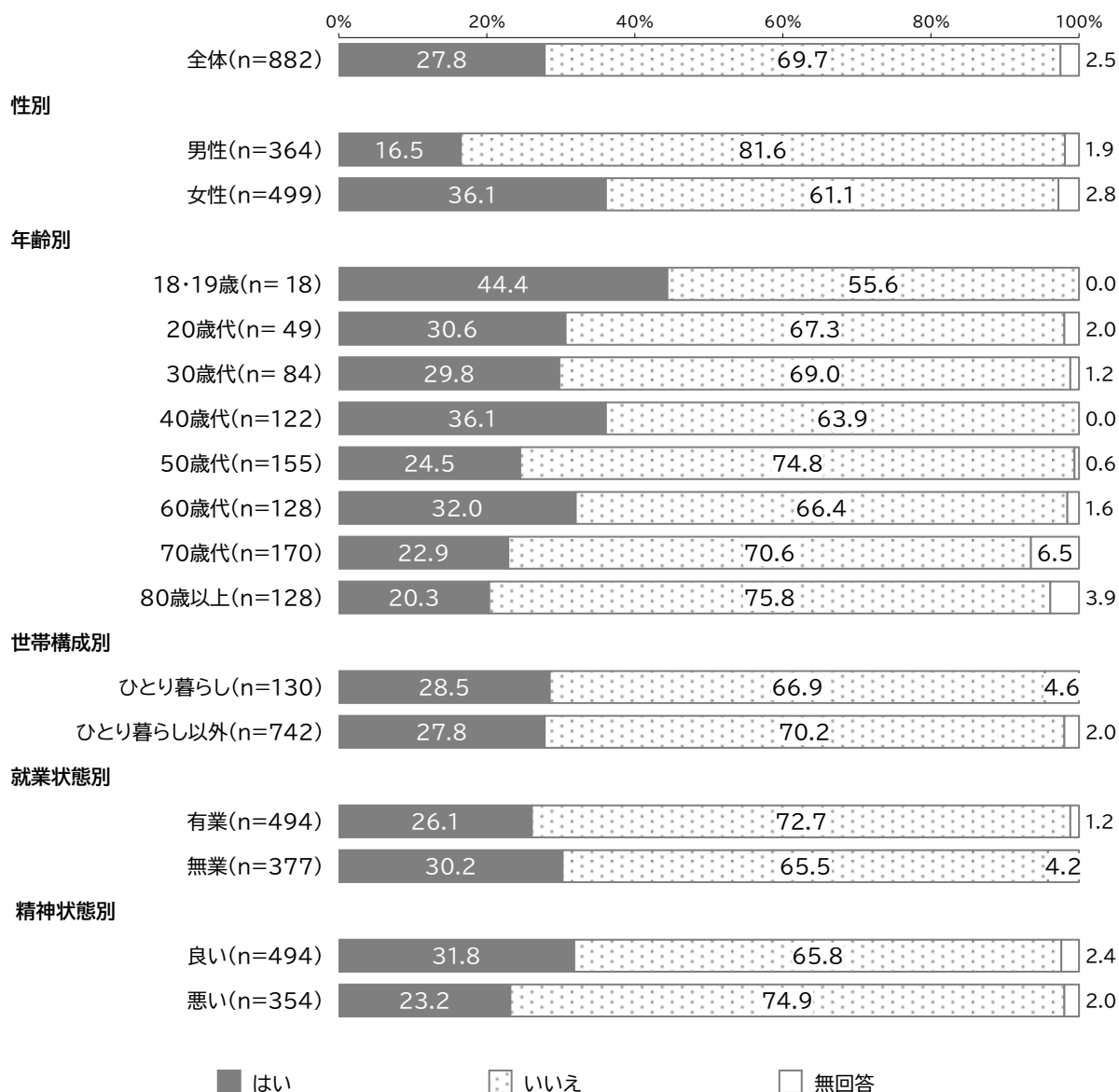




あなたは、「八尾市ころといのちの相談」という電話相談があることを知っていますか。(〇は1つ)

「八尾市ころといのちの相談」の認知度とみると、「はい」が27.8%、「いいえ」が69.7%となっています。性別にみると、女性の「はい」は、男性よりも約20ポイント高くなっています。年齢別にみると、年代が低くなるほど「はい」が高くなる傾向にあり、18・19歳で4割台となっています。精神状態別にみると、悪いグループの「はい」は、良いグループよりも8.6ポイント低くなっています。

図 「八尾市ころといのちの相談」の認知度



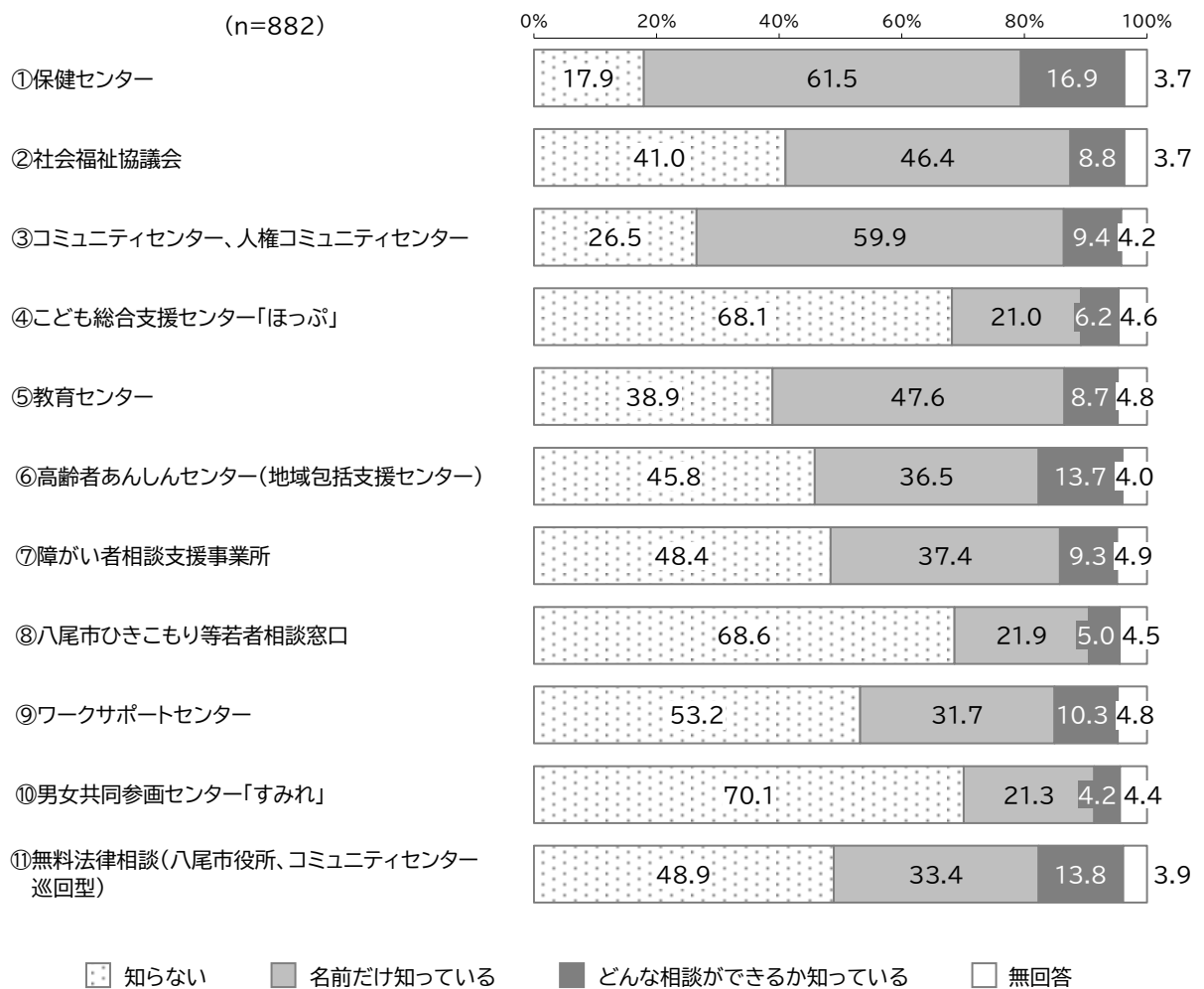
## (6)相談窓口の認知度

問16 あなたは、次の相談窓口を知っていますか。(①から⑪について、それぞれ〇は1つ)

相談窓口の認知度をみると、「どんな相談ができるか知っている」は、高い項目でも1割台で、「①保健センター」(16.9%)、「⑪無料法律相談(八尾市役所、コミュニティセンター巡回型)」(13.8%)、「⑥高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)」(13.7%)の順で高くなっています。

一方で「知らない」は、「⑩男女共同参画センター「すみれ」」(70.1%)、「⑧八尾市ひきこもり等若者相談窓口」(68.6%)、「④子ども総合支援センター「ほっぷ」」(68.1%)の順で高くなっています。

図 相談窓口の認知度



## ①保健センター

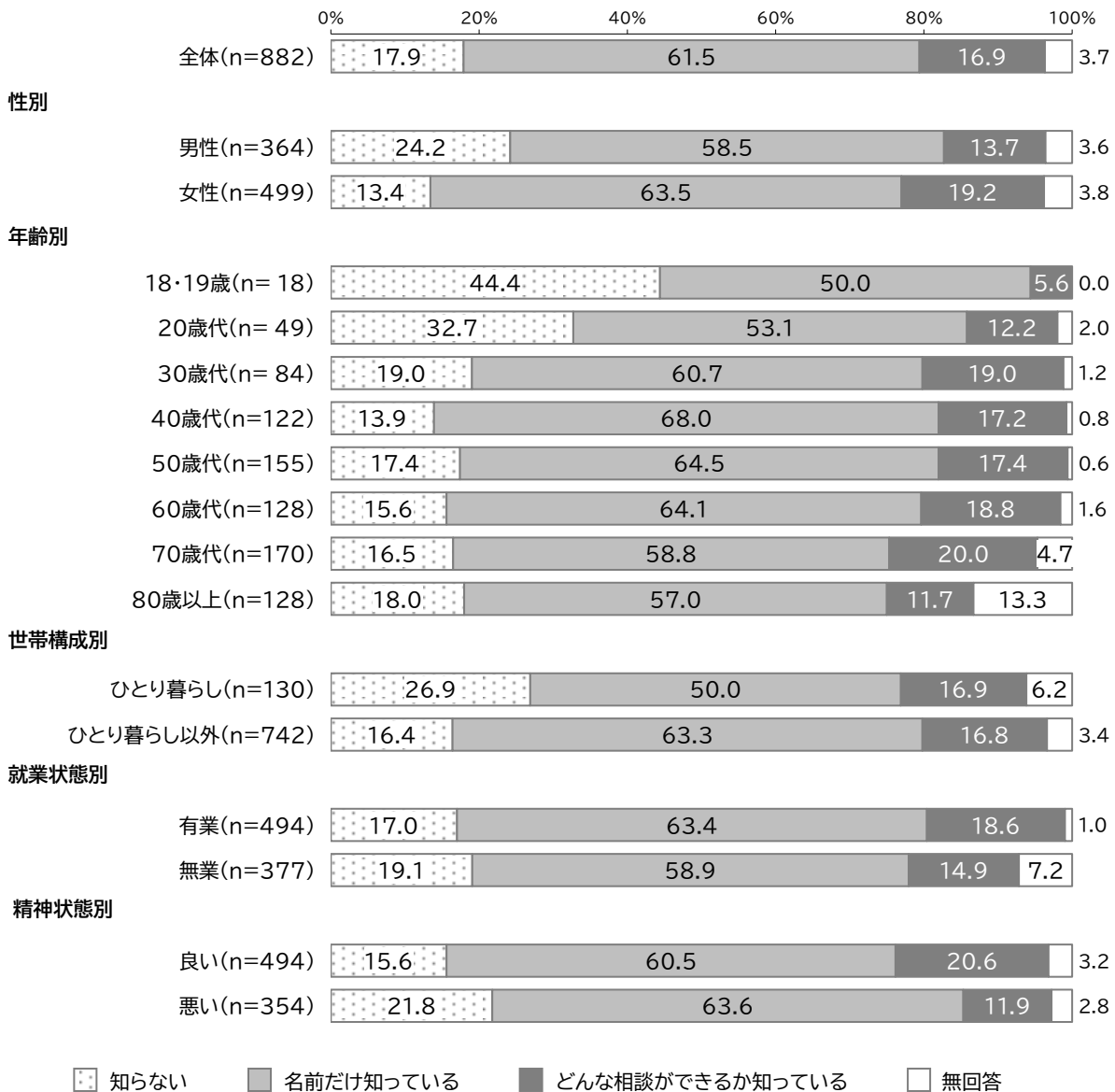
「名前だけ知っている」が 61.5%で最も高く、次いで「知らない」が 17.9%、「どんな相談ができるか知っている」が 16.9%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」は、女性よりも約 10 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」が高くなる傾向にあり、18・19 歳で4割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」は、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 10 ポイント高くなっています。

図 ①保健センター



## ②社会福祉協議会

「名前だけ知っている」が 46.4%で最も高く、次いで「知らない」が 41.0%、「どんな相談ができるか知っている」が 8.8%となっています。

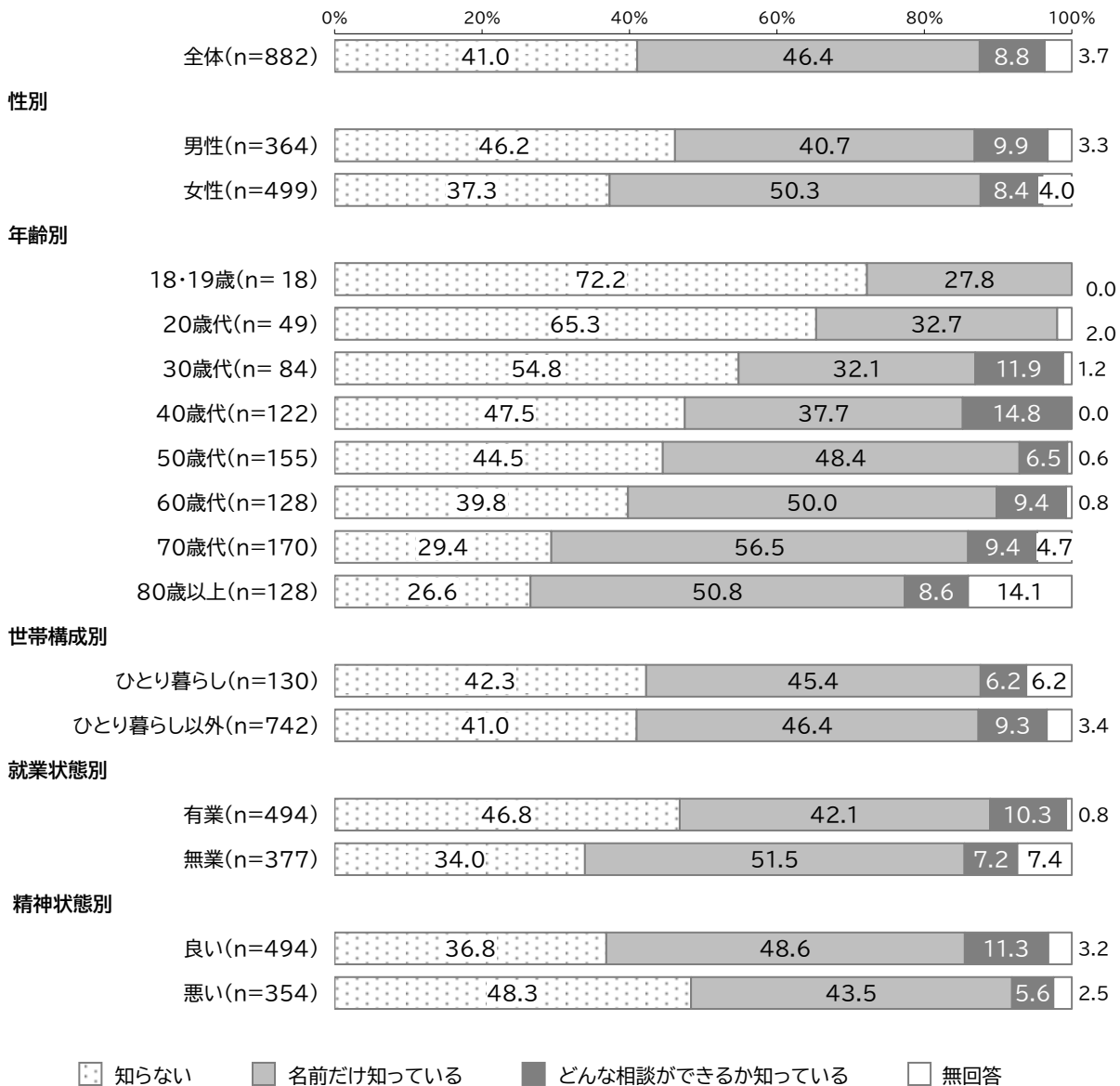
性別にみると、男性の「知らない」は、女性よりも 8.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」が高くなる傾向にあり、18・19 歳で7割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」は、無業者よりも 10 ポイント以上高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの「知らない」は、良いグループよりも 10 ポイント以上高くなっています。

図 ②社会福祉協議会



### ③コミュニティセンター、人権コミュニティセンター

「名前だけ知っている」が 59.9%で最も高く、次いで「知らない」が 26.5%、「どんな相談ができるか知っている」が 9.4%となっています。

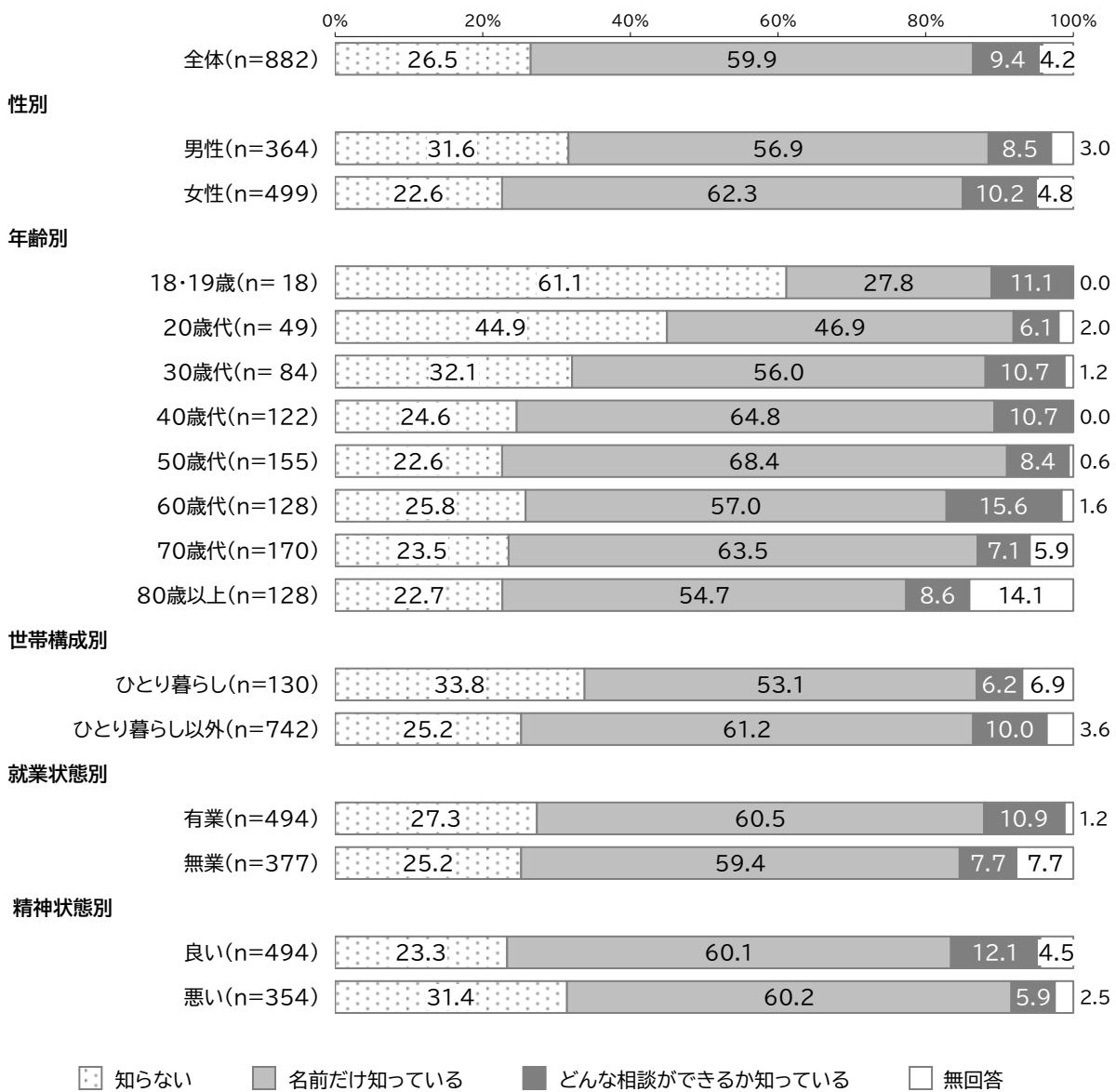
性別にみると、男性の「知らない」は、女性よりも 9.0 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」が高くなる傾向にあり、18・19 歳で6割程度となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」は、ひとり暮らし以外の世帯よりも 8.6 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの「知らない」は、良いグループよりも 8.1 ポイント高くなっています。

図 ③コミュニティセンター、人権コミュニティセンター



#### ④子ども総合支援センター「ほっぷ」

「知らない」が68.1%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」が21.0%、「どんな相談ができるか知っている」が6.2%となっています。

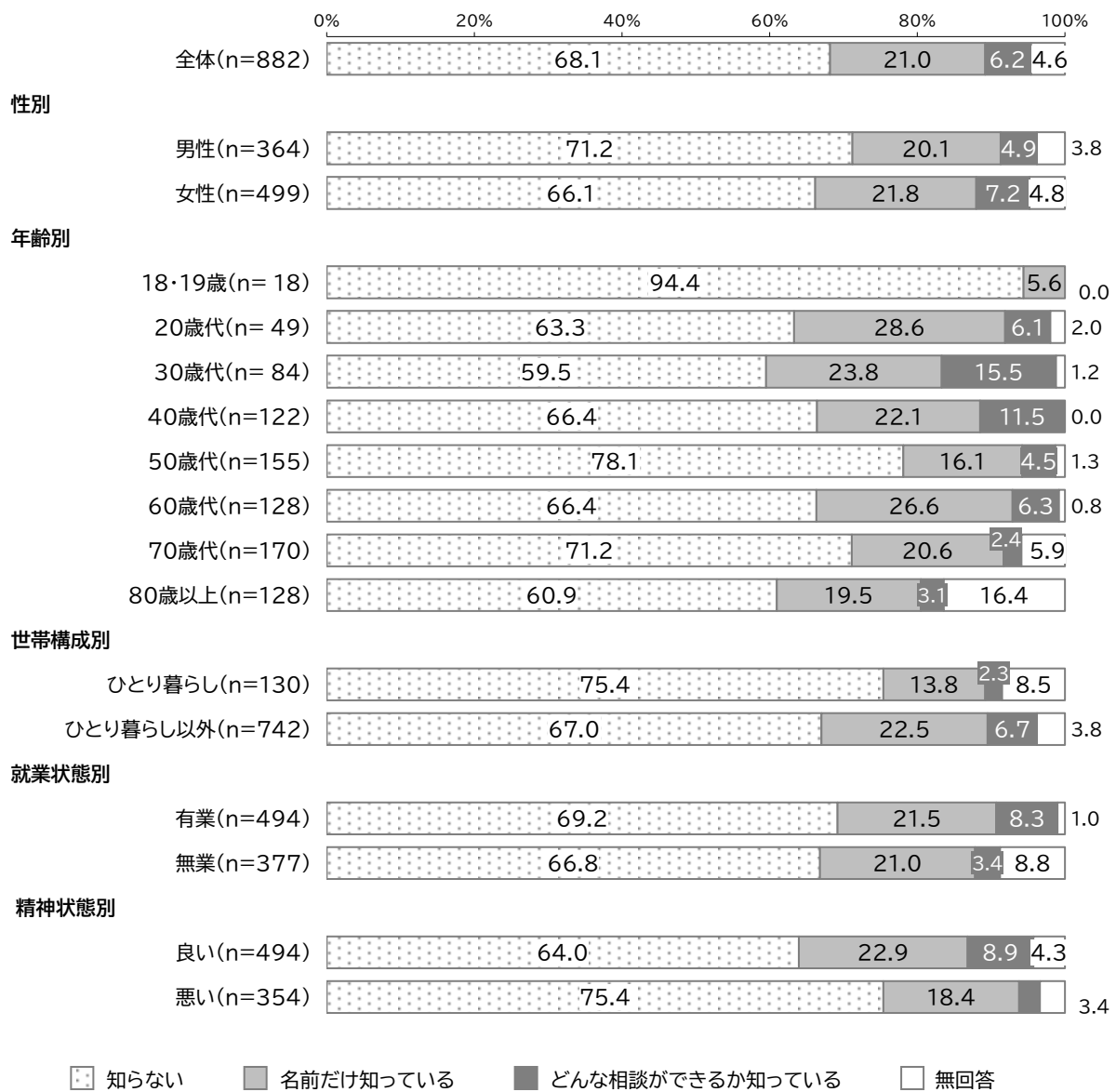
性別にみると、男性の「知らない」は、女性よりも5.1ポイント高くなっています。

年齢別にみると、18・19歳で「知らない」が9割台と、他の年代に比べて特に高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」は、ひとり暮らし以外の世帯よりも8.4ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの「知らない」は、良いグループよりも10ポイント以上高くなっています。

図 ④子ども総合支援センター「ほっぷ」



## ⑤教育センター

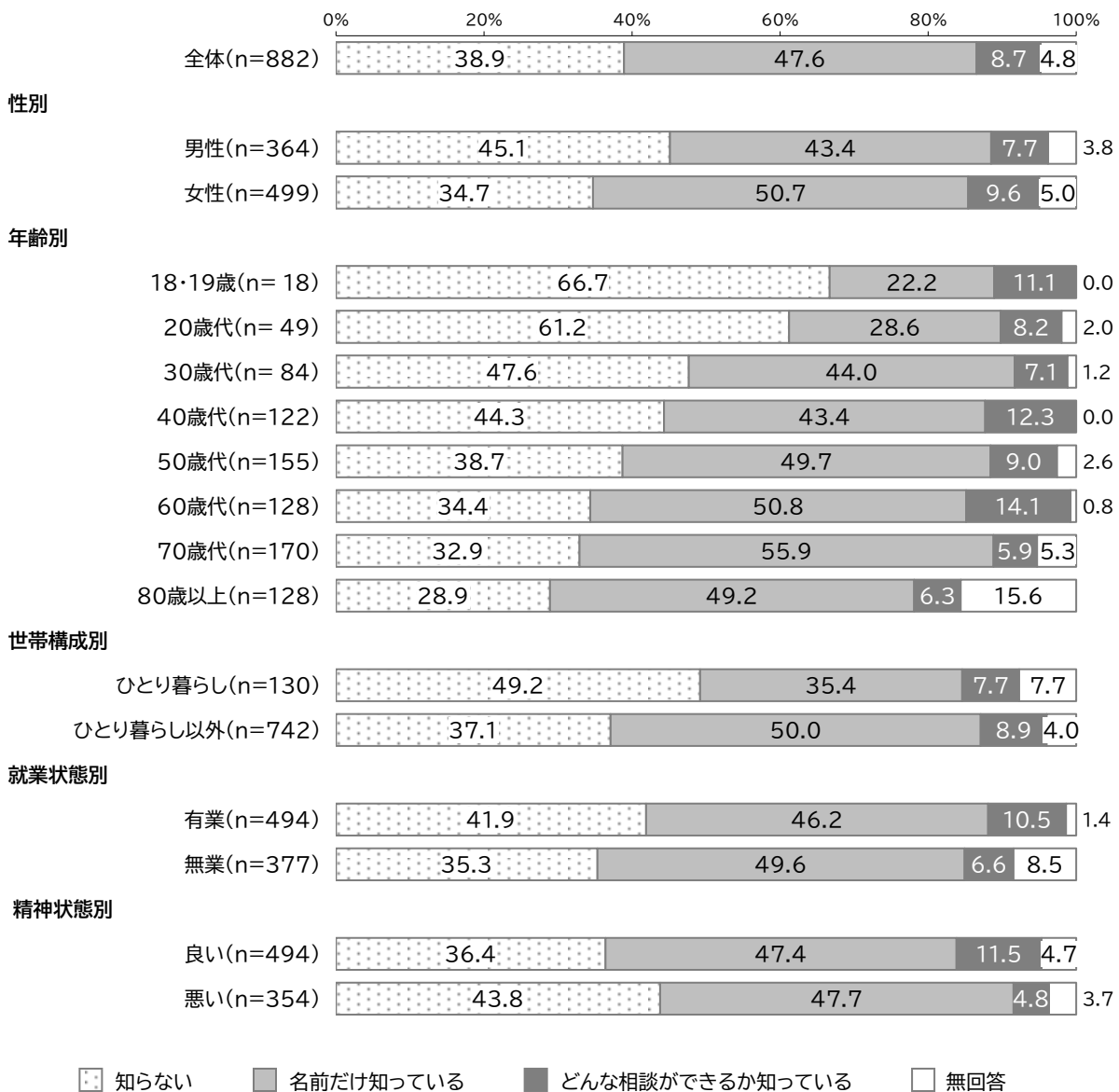
「名前だけ知っている」が 47.6%で最も高く、次いで「知らない」が 38.9%、「どんな相談ができるか知っている」が 8.7%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」は、女性よりも約 10 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」が高くなる傾向にあり、20 歳以下で6割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」は、ひとり暮らし以外の世帯よりも 10 ポイント以上高くなっています。

図 ⑤教育センター



## ⑥高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)

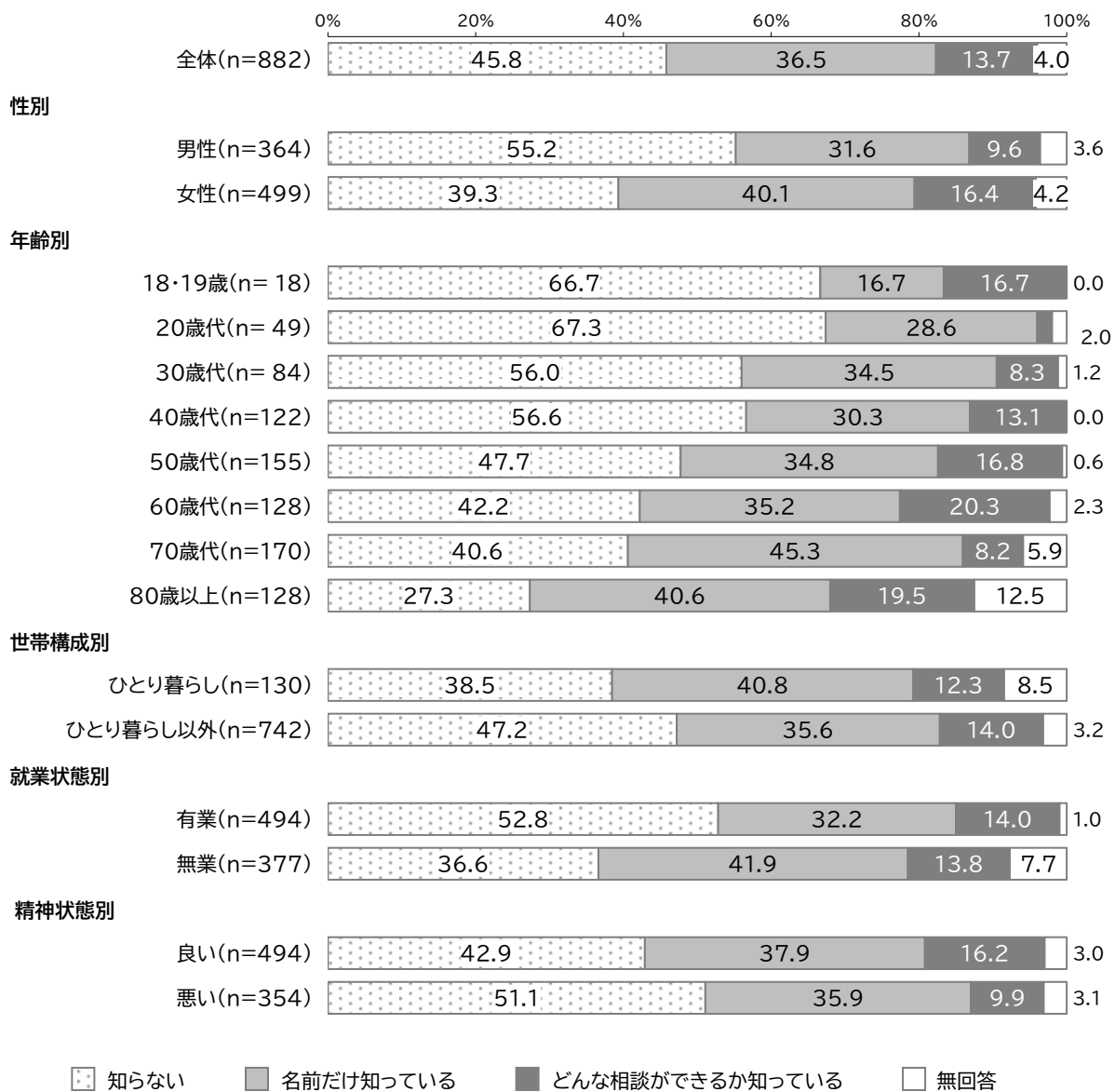
「知らない」が 45.8%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」が 36.5%、「どんな相談ができるか知っている」が 13.7%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」は、女性よりも約 15 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」が高くなる傾向にあり、20 歳以下で6割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」は、無業者よりも 15 ポイント以上高くなっています。

図 ⑥高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)





⑦障がい者相談支援事業所

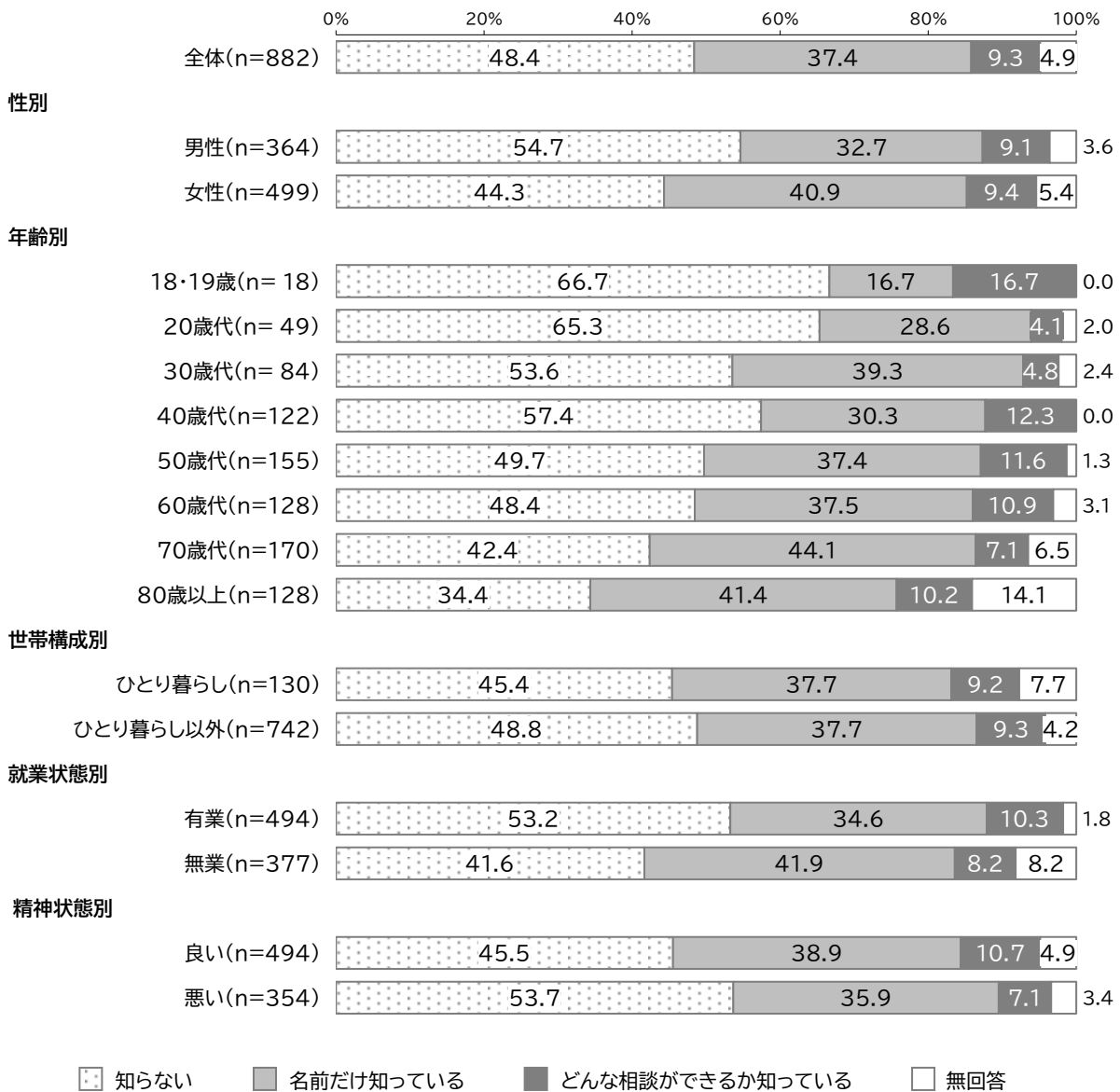
「知らない」が 48.4%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」が 37.4%、「どんな相談ができるか知っている」が 9.3%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」は、女性よりも約 10 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」が高くなる傾向にあり、20 歳以下で6割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」は、無業者よりも 10 ポイント以上高くなっています。

図 ⑦障がい者相談支援事業所



### ⑧八尾市ひきこもり等若者相談窓口

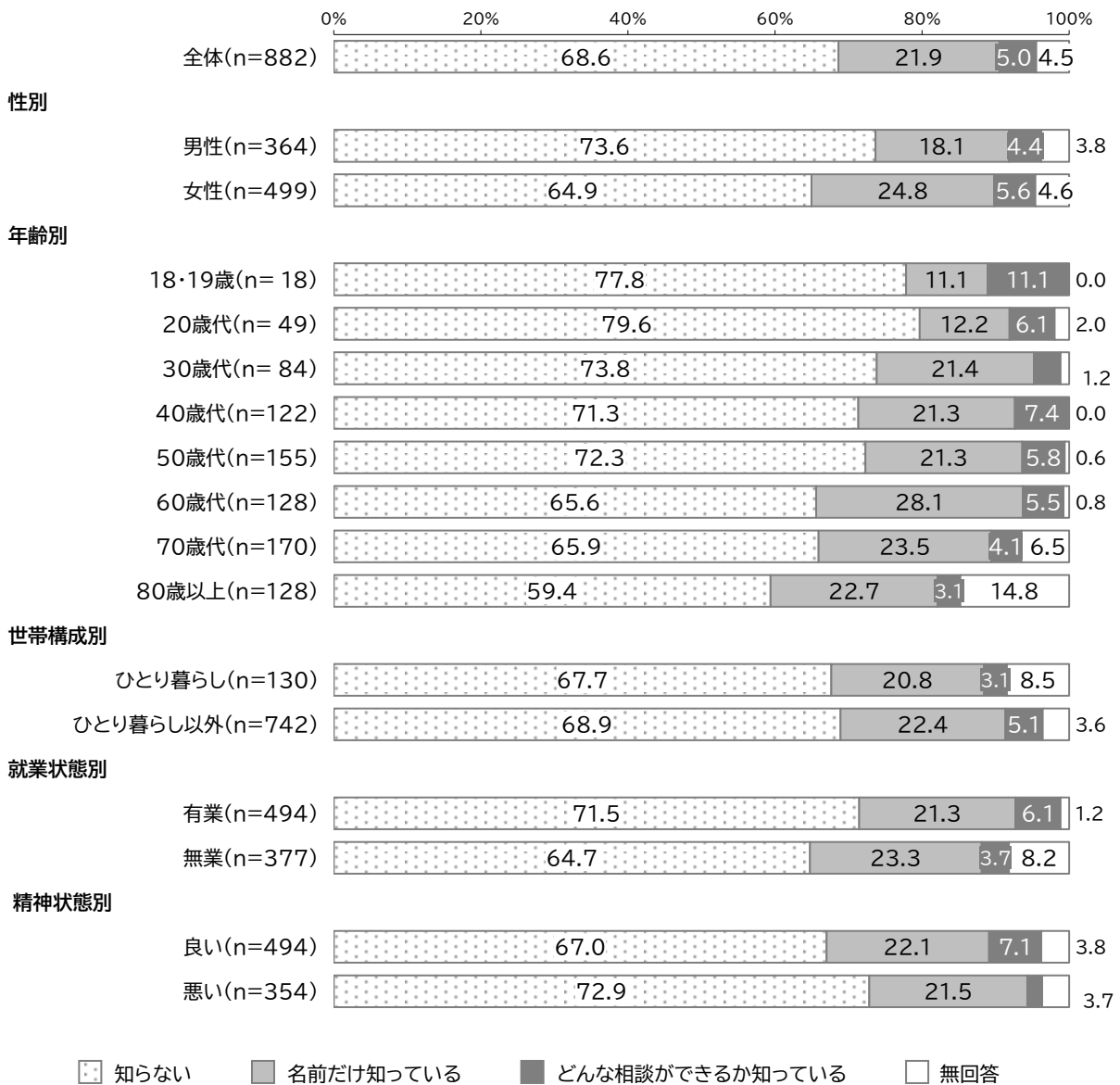
「知らない」が68.6%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」が21.9%、「どんな相談ができるか知っている」が5.0%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」は、女性よりも8.7ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」が高くなる傾向にあり、20歳代で約8割となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」は、無業者よりも6.8ポイント高くなっています。

図 ⑧八尾市ひきこもり等若者相談窓口



### ⑨ワークサポートセンター

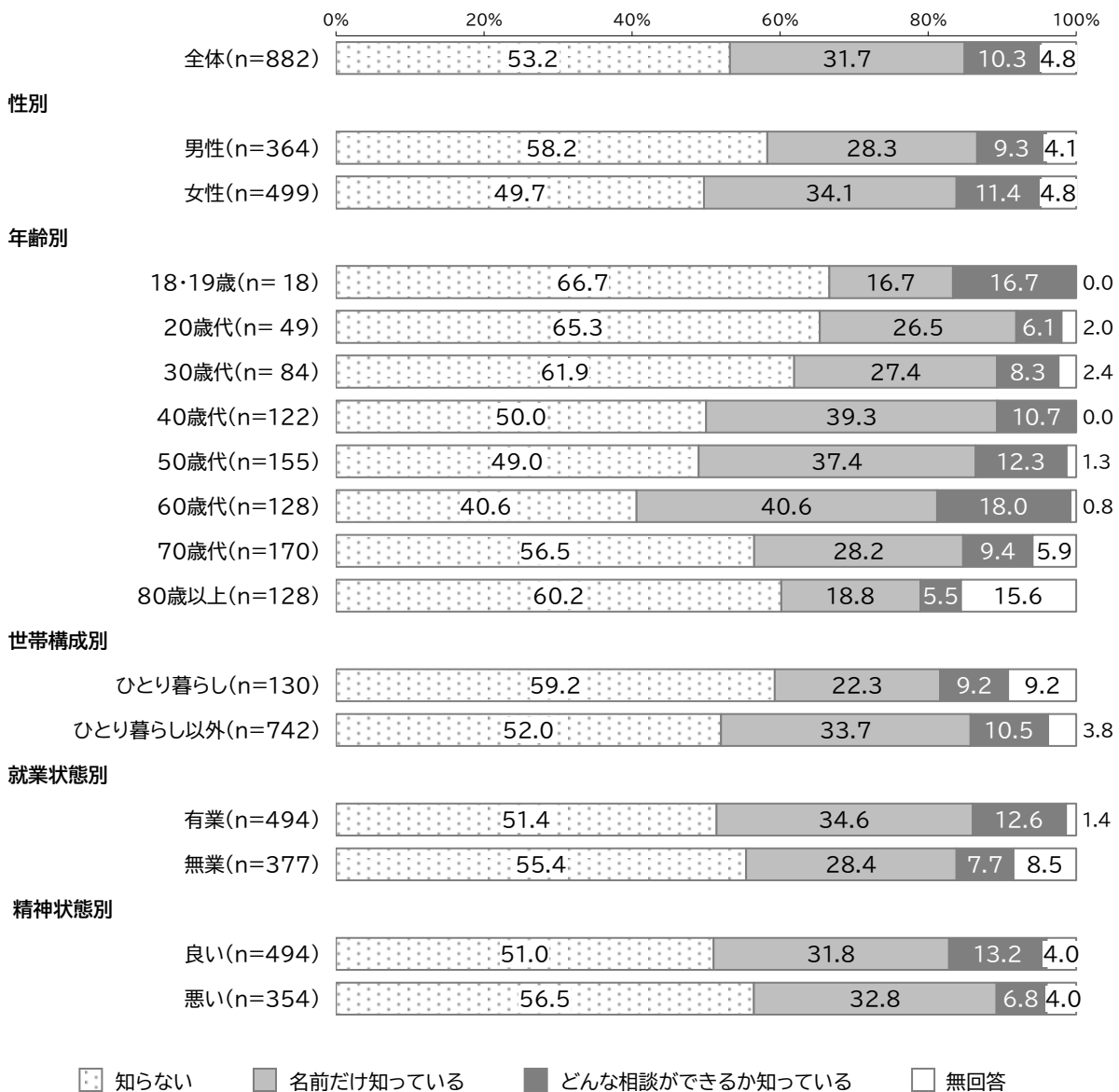
「知らない」が 53.2%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」が 31.7%、「どんな相談ができるか知っている」が 10.3%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」は、女性よりも 8.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、60 歳代で「知らない」が4割台と、他の年代に比べて低くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」は、ひとり暮らし以外の世帯よりも 7.2 ポイント高くなっています。

図 ⑨ワークサポートセンター



## ⑩男女共同参画センター「すみれ」

「知らない」が70.1%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」が21.3%、「どんな相談ができるか知っている」が4.2%となっています。

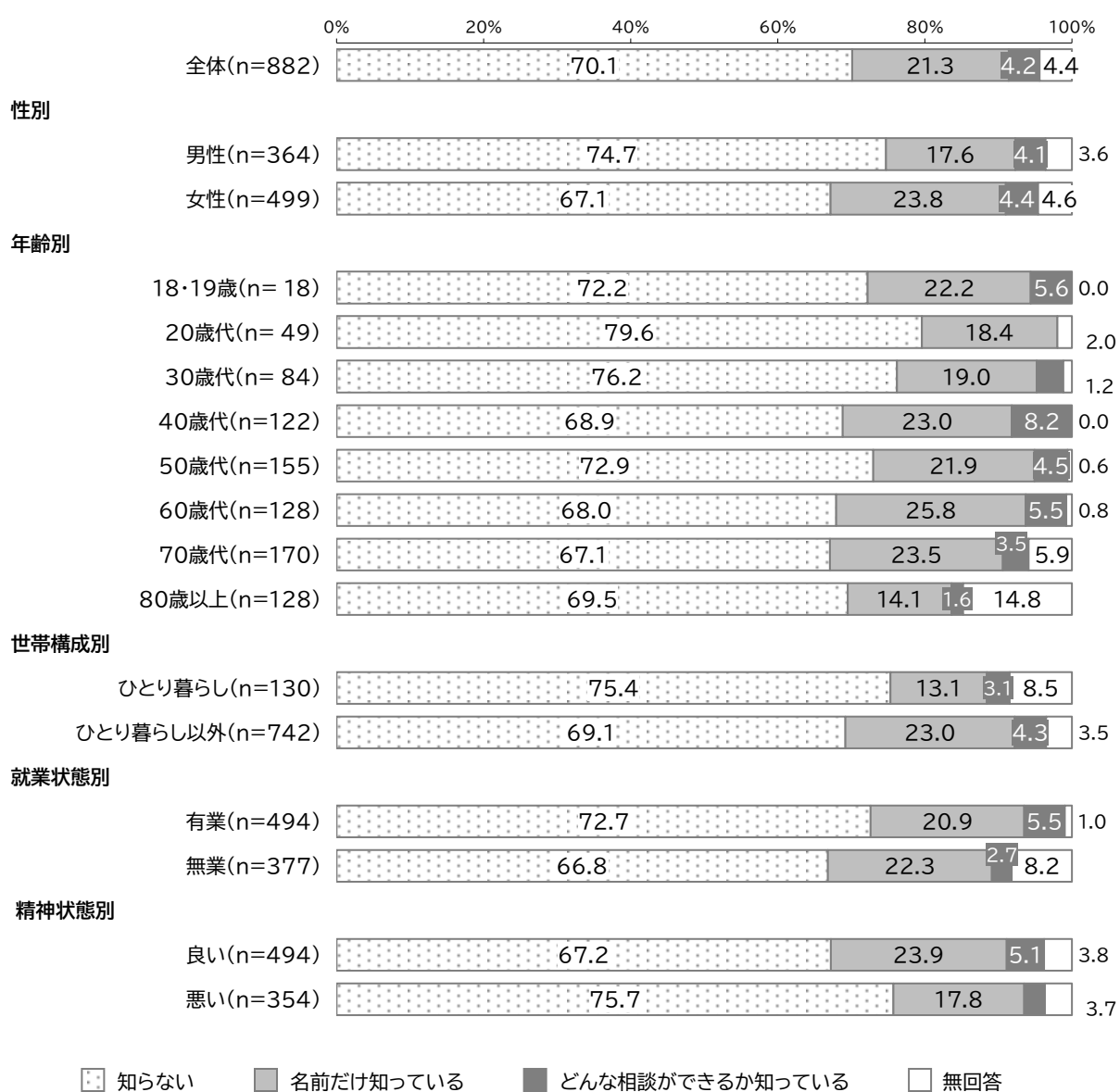
性別にみると、男性の「知らない」は、女性よりも7.6ポイント高くなっています。

年齢別にみると、いずれの年齢層も「知らない」は6～7割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」は、ひとり暮らし以外の世帯よりも6.3ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの「知らない」は、良いグループよりも8.5ポイント高くなっています。

図 ⑩男女共同参画センター「すみれ」



①無料法律相談(八尾市役所、コミュニティセンター巡回型)

「知らない」が 48.9%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」が 33.4%、「どんな相談ができるか知っている」が 13.8%となっています。

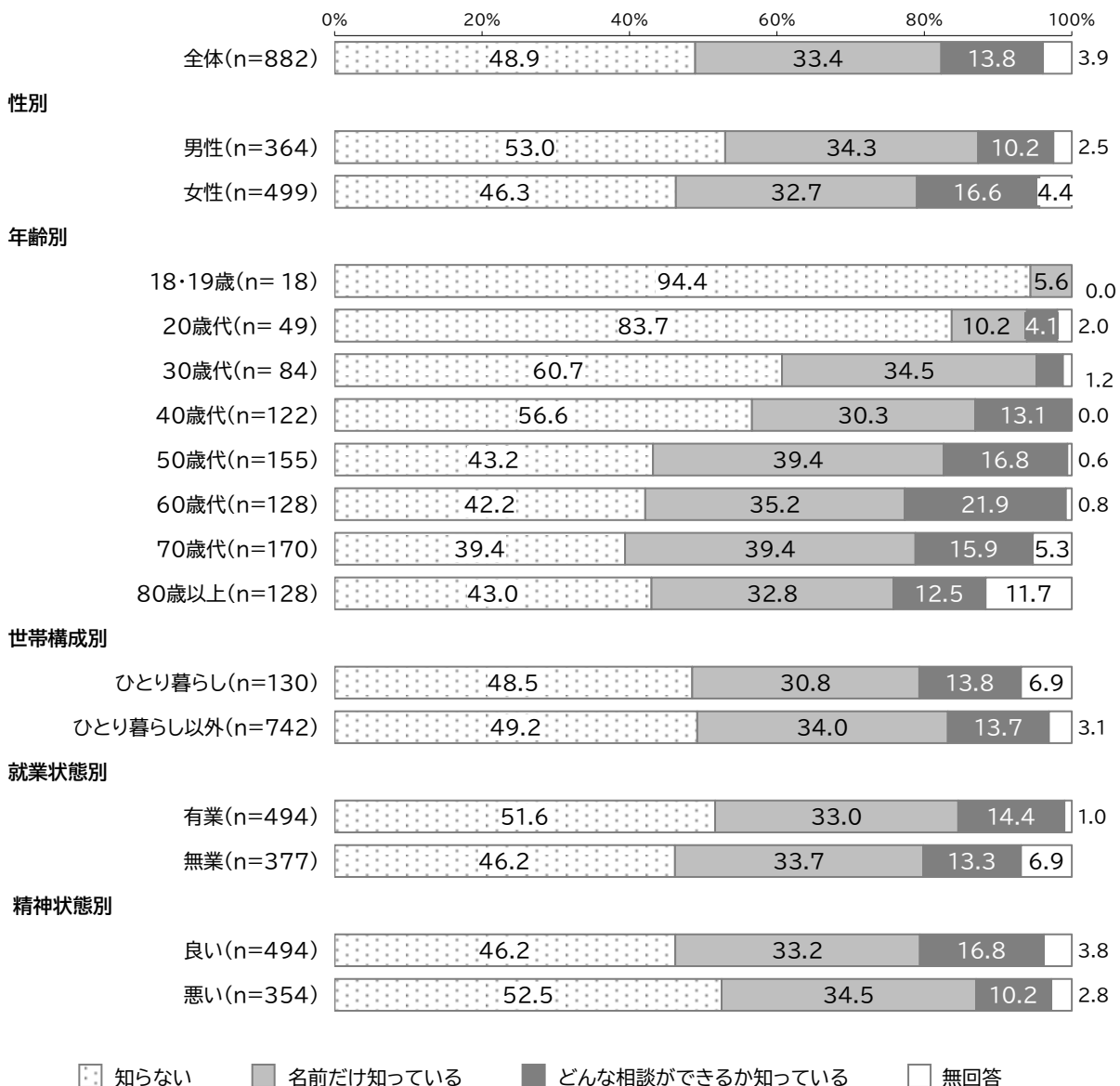
性別にみると、男性の「知らない」は、女性よりも 6.7 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」が高くなる傾向にあり、18・19 歳で9割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」は、無業者よりも 5.4 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、悪いグループの「知らない」は、良いグループよりも 6.3 ポイント高くなっています。

図 ①無料法律相談(八尾市役所、コミュニティセンター巡回型)



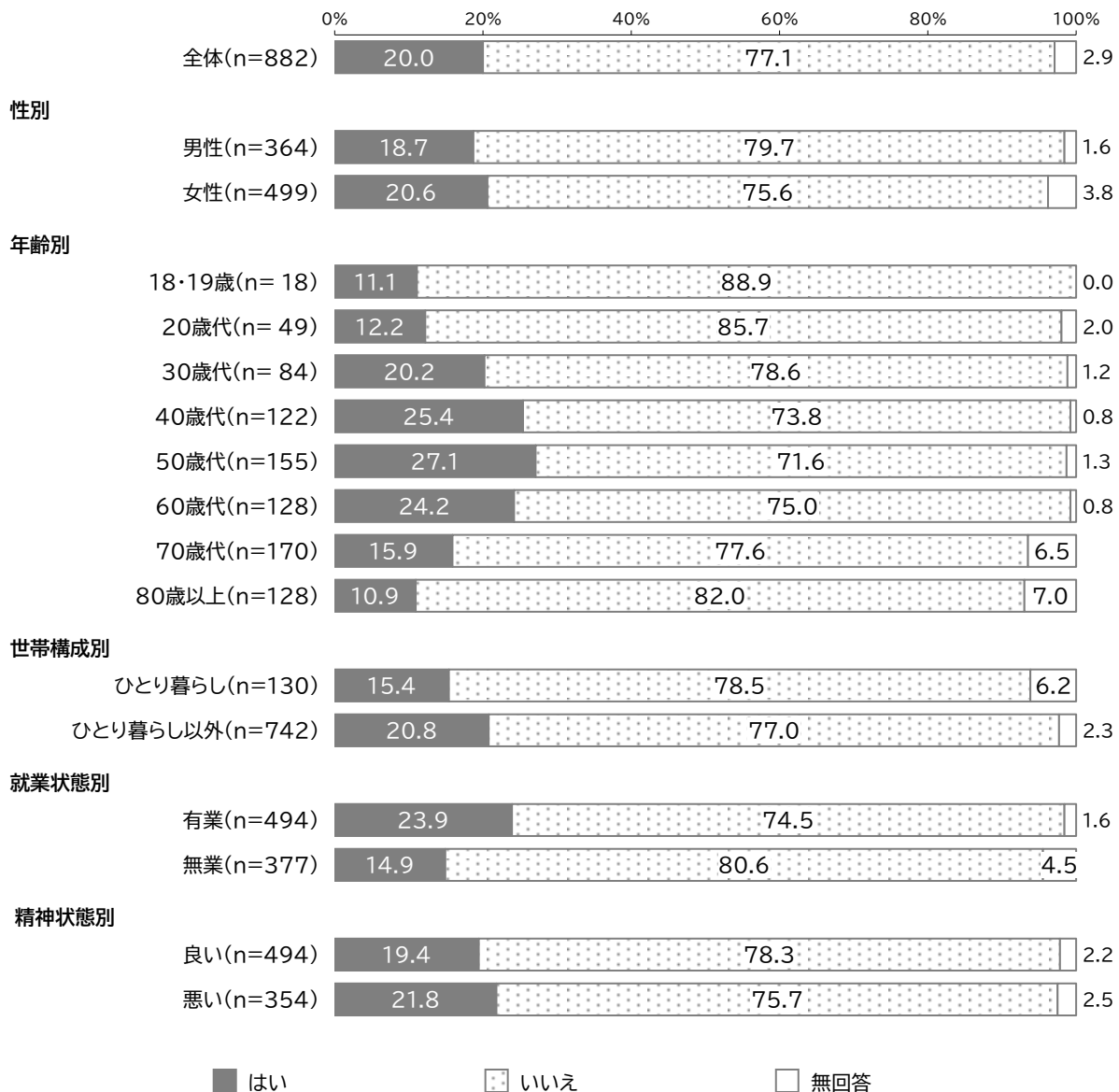
## 5 自殺対策・予防等について

### (1)身近な方の自殺を経験した方の有無

問17 あなたまたはあなたの身近な方で、身近な方の自殺（自死）を経験した方をご存知ですか。（〇は1つ）

身近な方の自殺を経験した方の有無をみると、「はい」が20.0%、「いいえ」が77.1%となっています。年齢別にみると、「はい」は20歳代～60歳代が他の年代に比べて高く、50歳代で27.1%となっています。就業状態別にみると、有業者の「はい」が、無業者よりも9.0ポイント高くなっています。

図 身近な方の自殺を経験した方の有無



## (2)身近な方の自殺を経験した方に起きた影響

問17で「1. はい」と回答された方にお聞きします。複数の事例がある場合は、直近の一例についてお答えください。

問17-1 自殺（自死）を身近に経験された方は、自殺（自死）の起こった後、どんなことで困っていましたか。該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

身近な方の自殺を経験した方に起きた影響をみると、身近な方を亡くした悲しみが61.9%で最も高く、次いで「精神的健康の悪化」が26.7%、「自殺（自死）についての家族や親族の理解」が18.8%となっています。

年齢別にみると、「身近な方を亡くした悲しみ」は50歳代～60歳代が他の年代に比べて高く、どちらの年代も7割台となっています。

状態別にみると、悪いグループの「身近な方を亡くした悲しみ」は、良いグループよりも7.5ポイント高くなっています。

図 身近な方の自殺を経験した方に起きた影響

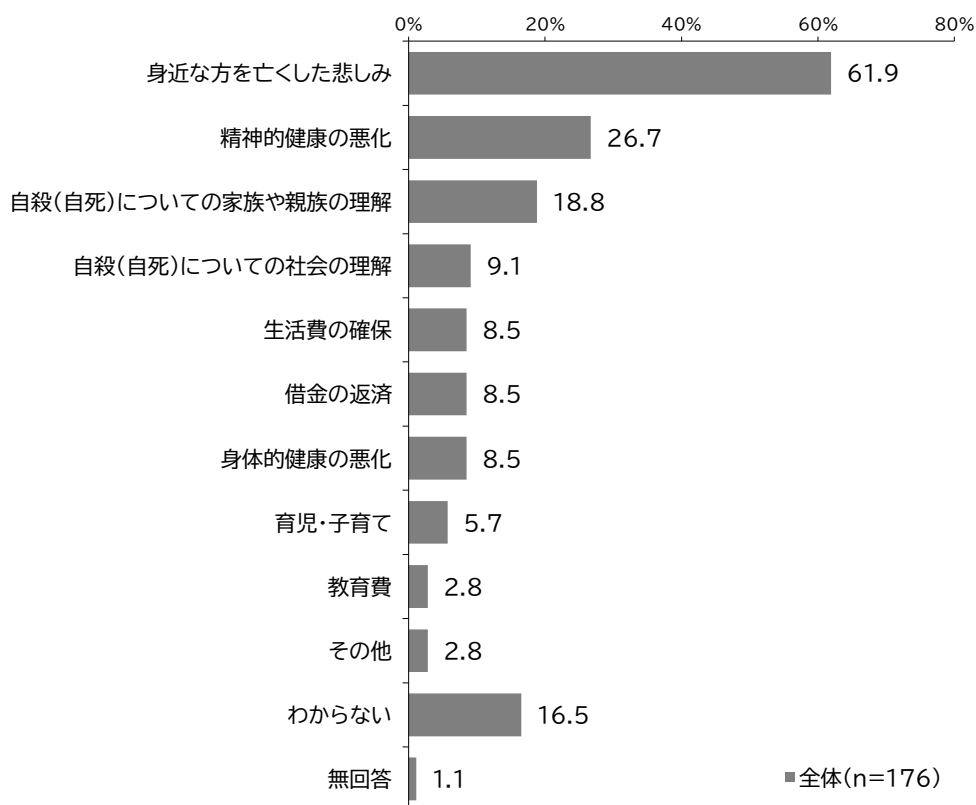


表 身近な方の自殺を経験した方に起きた影響

		回答者数(n)	身近な方を亡くした悲しみ	精神的健康の悪化	解の家族や親族の理	自殺(自死)についての社会的理解	生活費の確保	借金の返済	身体的健康の悪化	育児・子育て
全体		176	61.9	26.7	18.8	9.1	8.5	8.5	8.5	5.7
性別	男性	68	60.3	23.5	13.2	10.3	8.8	10.3	5.9	2.9
	女性	103	65.0	29.1	22.3	7.8	7.8	7.8	9.7	7.8
年齢別	18・19歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	6	83.3	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	17	52.9	29.4	11.8	5.9	11.8	5.9	17.6	5.9
	40歳代	31	67.7	38.7	16.1	9.7	9.7	9.7	6.5	3.2
	50歳代	42	76.2	26.2	23.8	11.9	9.5	11.9	4.8	4.8
	60歳代	31	74.2	35.5	22.6	16.1	3.2	9.7	6.5	9.7
	70歳代	27	37.0	11.1	18.5	3.7	11.1	11.1	7.4	7.4
	80歳以上	14	50.0	28.6	14.3	-	7.1	-	21.4	7.1
世帯構成別	ひとり暮らし	20	55.0	30.0	20.0	5.0	5.0	10.0	10.0	-
	ひとり暮らし以外	154	63.6	26.0	18.2	9.1	8.4	8.4	7.8	6.5
就業状態別	有業	118	64.4	28.0	19.5	10.2	10.2	11.0	7.6	5.9
	無業	56	57.1	23.2	16.1	5.4	3.6	3.6	8.9	5.4
精神状態別	良い	96	64.6	25.0	16.7	5.2	8.3	9.4	6.3	6.3
	悪い	77	57.1	29.9	19.5	10.4	7.8	7.8	11.7	3.9

		回答者数(n)	教育費	その他	わからない	無回答
全体		176	2.8	2.8	16.5	1.1
性別	男性	68	1.5	2.9	17.6	-
	女性	103	2.9	1.9	13.6	1.9
年齢別	18・19歳	2	-	50.0	50.0	-
	20歳代	6	-	-	16.7	-
	30歳代	17	5.9	5.9	29.4	-
	40歳代	31	3.2	-	16.1	3.2
	50歳代	42	2.4	-	11.9	-
	60歳代	31	3.2	-	9.7	-
	70歳代	27	-	7.4	14.8	-
	80歳以上	14	-	-	14.3	7.1
世帯構成別	ひとり暮らし	20	-	-	20.0	-
	ひとり暮らし以外	154	2.6	2.6	15.6	1.3
就業状態別	有業	118	3.4	1.7	16.9	0.8
	無業	56	-	3.6	16.1	1.8
精神状態別	良い	96	2.1	3.1	14.6	1.0
	悪い	77	2.6	2.6	19.5	1.3

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)



